



ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学・教授

この度、長岡に「秋山孝ポスター美術館長岡」が開館致します。歴史的建造物である美術館の建物は1925年(大正14)に建設され北越銀行宮内支店として宮内・撰田屋地区の人々に貢献しました。その建物が度重なる地震などによって老朽化し、歴史的建造物として修復され、瀟洒な美術館に生まれ変わりました。

新潟県長岡市は、いくつもの難儀を背負ってきた街です。しかし東山と信濃川からの美しい自然と恵みによって「豊かな美を感じる精神」を育んできました。デザイン都市長岡の「雪・山・川・味噌・醤油・酒・蔵」旧三国街道の宮内・撰田屋にポスターを中心とした美術館が生まれたのです。

ぼくは、この長岡市に残された歴史的な香りのする街で生まれ、先祖代々認識できない程長きに渡ってこの地に暮らしてきました。その文化と自然は、ぼくの「クリエイティブスピリット(魂)」を作り、「根源的な美意識」に大きく影響を与えました。その結果、数多くの作品が生まれました。

この美術館ができる経緯は、1999年「しなの川音楽祭」のイベントとして、新潟県立近代美術館ギャラリーにおいて「秋山孝の世界展」を3年連続開催しました。その展示作品を中心に532点の作品が「秋山孝長岡コレクション」として長岡市のコレクションとなりました。その後、2008年「秋山孝ポスター美術館長岡」の案が地元宮内・撰田屋地区の高田清太郎氏、田上紘三郎氏らの発案とともに地元多くの協力を得て実現に至りました。

美術館(ミュージアム)は紀元前3世紀エジプトのアレキサンドリアに設けられた、総合学術機関ムセイオンに由来します。本美術館はイラストレーションとポスターを国際的に研究し、そこから導びかれた必然性のある展示をします。また小林虎三郎の教育精神を重んじた長岡の歴史を大切に受発信する美術館を目指します。

この美術館を開館するにあたり多大なご支援と協力をうけオープンに至ったことを心より感謝し厚くお礼申し上げます。次第です。



秋山孝のメッセージ

世界でもめずらしい
美しい言葉です
地球は大きく広がり
世界は小さくなりました
私達の住む地球は 未知の世界です
しかし 人間社会はあまりにも小さく
なりすぎました



秋山孝の世界
センスと感性によって
美しいメッセージを発信しつづけています
ある時は人の心に安らぎを
ある時は大きな夢を与えてくれるのです



そのメッセージの宇宙が
宮内に生まれます

豊口 協

秋山孝ポスター美術館長岡・運営委員会・会長
長岡造形大学・理事長

秋山孝の人生ともいうべきポスター
そのポスターを一堂に集めた
世界でもめずらしいポスター美術館が生まれます
世界でもめずらしい
美しい言葉です



秋山孝の夢は広がりつづけています
八十五才を迎えようとしていた北越銀行宮内支店
その建造物と文化財をポスター美術館として
後世に残すことを決心したのです
そのふるさとの歴史的建造物を通して
秋山孝の豊かなメッセージを
世界の人々に送りつづけることを決めたのです
歴史と文化と創造を通して
世界でもめずらしいという
美しい言葉を送りつづけることにしたのです



秋山孝 豊口協

目 次

・ごあいさつ・秋山 孝	004
・秋山孝のメッセージ・豊口 協	005
・ポスター作品	008
・美術館・宮内・摂田屋	104
・イラストレーションポスターの巨匠たち	114
・略 歴	118







[Title] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 2009 Open
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 2009年7月12日に「秋山孝ポスター美術館長岡」が開館。イラストレーションとポスターを国際的に研究し発信するポスター美術館だ。ポスターデザインは、ポスターを掲示するためのポスター塔をモチーフとした。それを擬人化し、ポスター塔が帽子を取って声をあげてオープンを告げている。「秋山孝ポスター美術館長岡」のキャラクターとなった。



[Title] ----- Chinese Posters Takashi Akiyama
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2008
[Client] ----- 朝日新聞出版
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 2008年10月30日に秋山孝著書「Chinese Posters」が、朝日新聞出版より全国で発売された。その出版のためのポスターである。中国文化大革命期に多用された毛沢東の肖像を象徴的に扱い、イラストレーション・ポスターの持っている魅力を引き出した。中国の「赤と黄」の配色は独特なものがある。本の内容は、1949年中華人民共和国成立・1966年文化大革命を経て2008年四川大地震までの激動の中国現代史をポスターで見ることができる。



[Title] ----- Thanks Mountain - Save The Earth (Mammoth)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2008
[Client] ----- 富山市
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 「ポスターの街とやま」は、ポスター文化を大切にし、ポスタービエンナーレを22年間続けている世界に誇れる豊かな街だ。街には徐々に新しいポスター塔(ポスターギャラリー)を作り、街並を美しくしている。2008年までに3基のポスター塔が作られた。オープンのための展示ポスターを作成した。まさにエコロジーを象徴したマンモスの出現のようだ。



[Title] ----- Thanks Mountain - Save The Earth (Birds)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2008
 [Client] ----- 富山市
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 富山の街から見える立山連峰は世界で最も美しい山々だ。そこからの恵みは計り知れない喜びと豊かな生活を与えてくれる。秋に訪れる富山は、数多くの野鳥を街の中でバードウォッチング出来る。ほくの感動をデザインした。

Takashi Akiyama - 19 Miniature Books



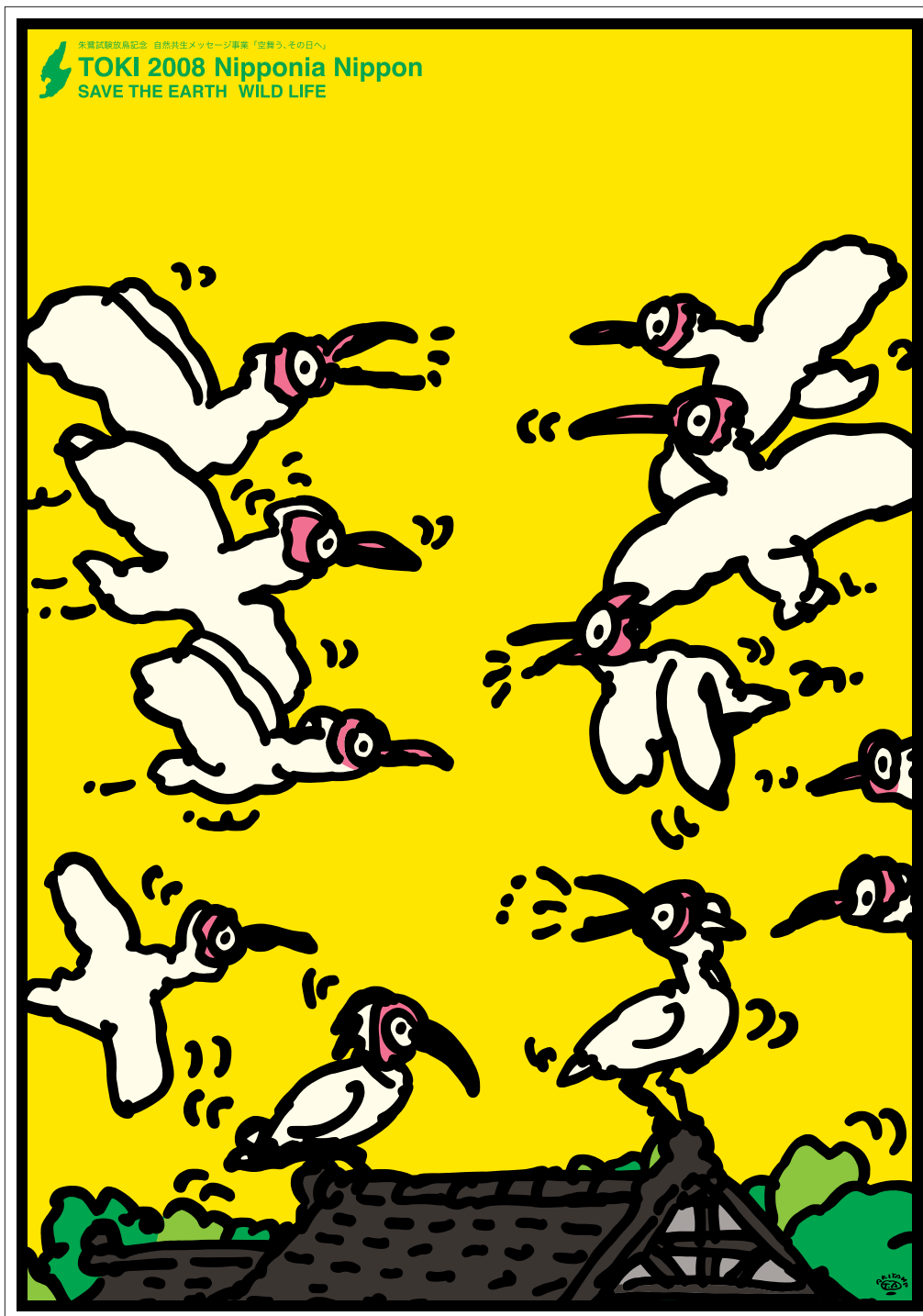
秋山孝・19冊の豆本展

2008.07.01-07.31 Malpu gallery・Ikebukuro



[Title] ----- 秋山孝・19冊の豆本展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2008
[Client] ----- マルプギャラリー（東京・池袋）
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 東京・池袋マルプギャラリーは、小さなギャラリーだったので小さな展示会にしたかった。挨拶文を次のように書いた。「小さなギャラリーでは、大きなものを展示してはいけません。小さな身体の人、大食らいしてはいけません。小さな心の人、大きなコトを言っはけません。小さな動物は、遠くへ行けません。小さな本は、小さい人が見る本です。大きな人は、ガリバーになった気分に来てください。ここは省エネ国家です」ところが19冊の豆本は、総合計548ページ、東50mmの小さな大全集になってしまった。



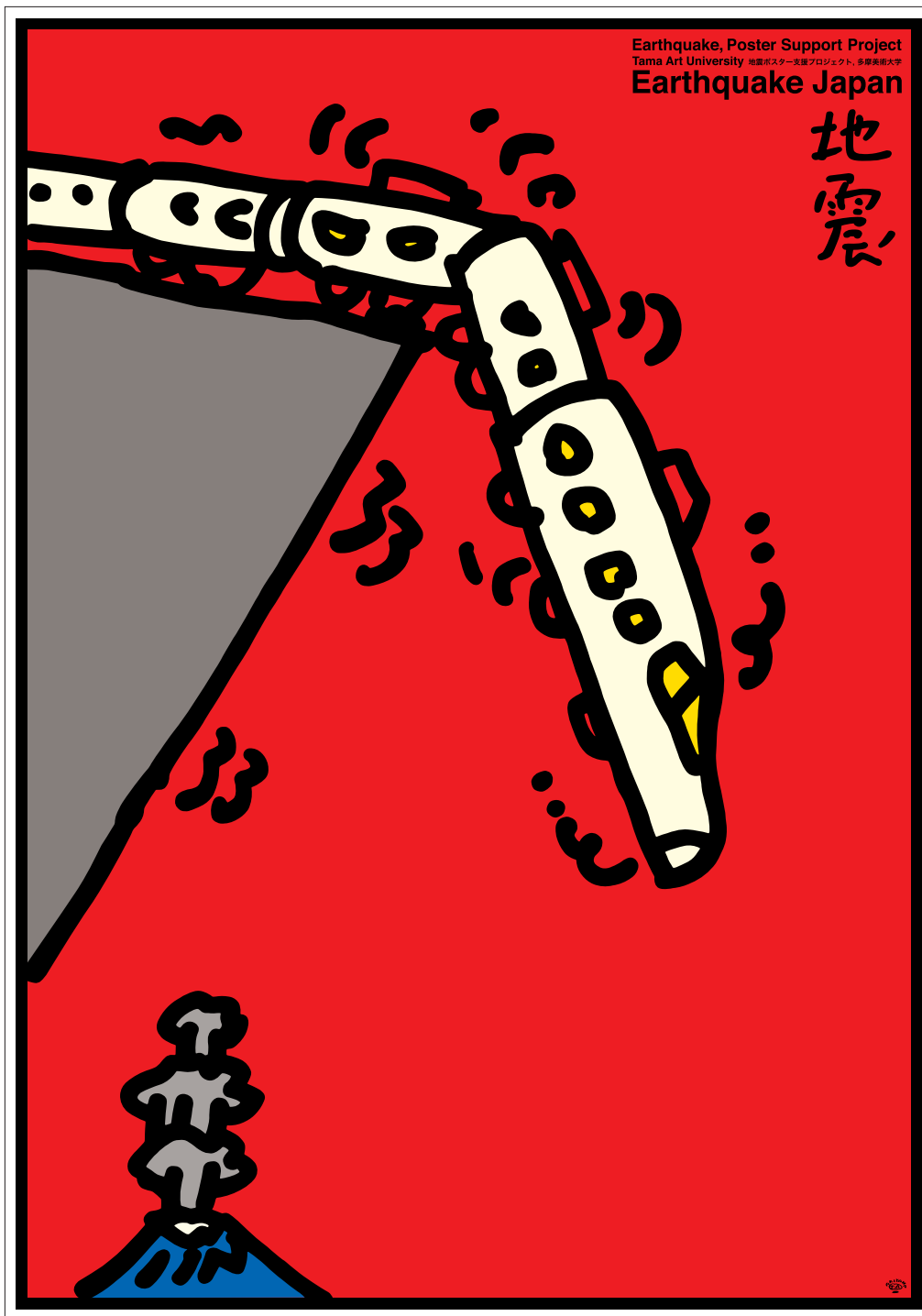
[Title] ----- TOKI 2008 Nipponia Nippon / Save The Earth - Wild Life
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2008
 [Client] ----- 新潟県、佐渡市、新潟日报社
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 2008年9月25日に新潟県佐渡市にて、朱鷺の野生復帰にむけた試験放鳥が行われた。その記念事業として、JAGDA会員による自然共生をテーマとしたポスター展「アートメッセージ展」と、特別展示「秋山孝メッセージポスター展TOKI 1983 - 2008」が開かれた。さらに、9月27日に福田繁雄、仲川純子、秋山孝3名の「記念トークショー」が行われた。残念ながら福田繁雄先生はその後ご逝去され、最後のトークショーになった。デザインは、佐渡の民家の空に悠々と朱鷺が羽ばたく吉兆を表している。27年ぶりに朱鷺が佐渡（新潟）の空に帰ってきた。



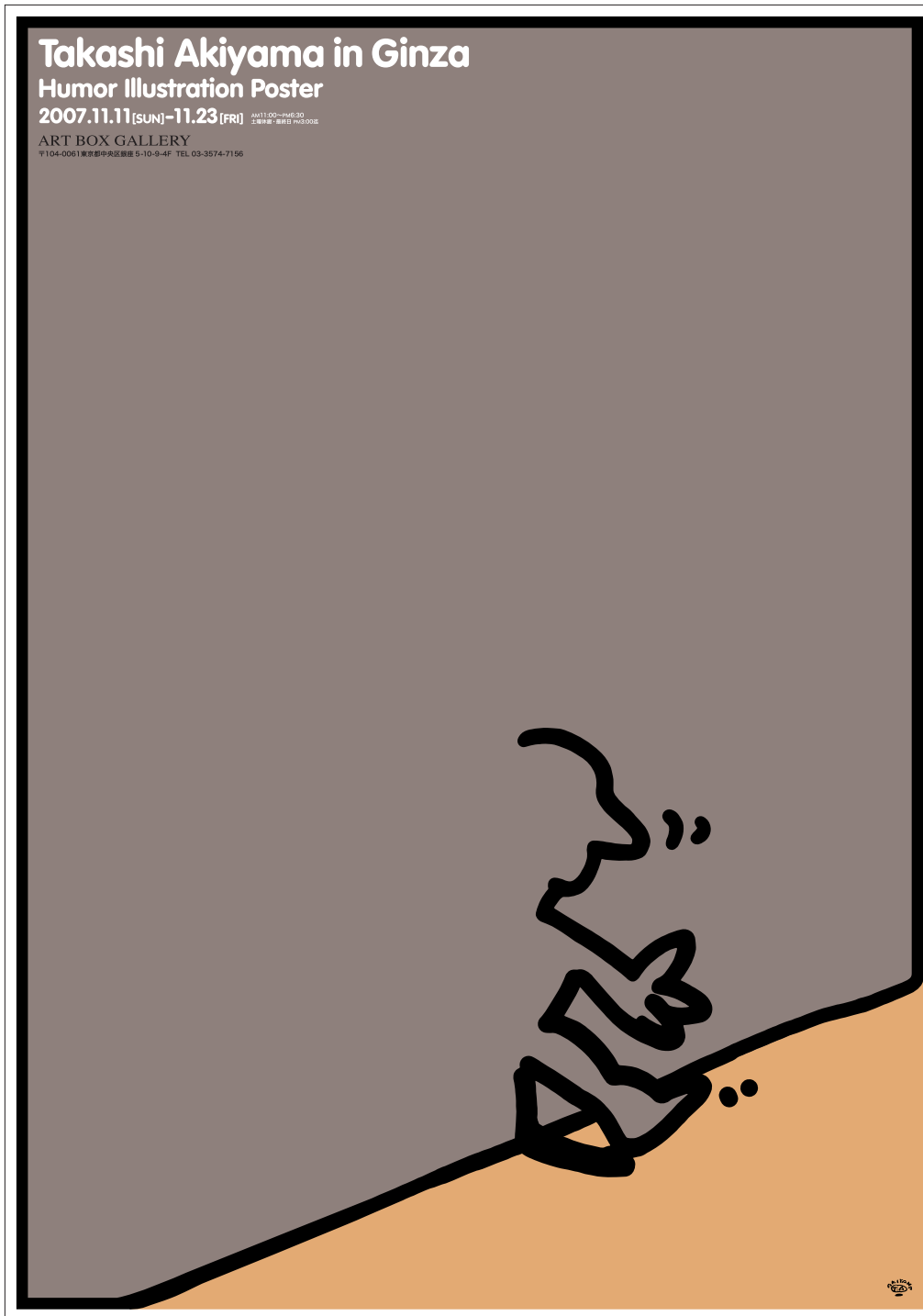
[Title] ----- Illustration Studies Tama Art University - Art
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2008
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学のパンフレット表紙に使用したイラストレーションで、それをイラストレーションスタディーズのポスターとして再デザインした。手でものを考え発案する芸術を象徴した。動脈の赤と静脈の青は創作のパッションとエネルギーを表している。



[Title] ----- 地震・Earthquake Japan (新幹線)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2008
 [Client] ----- 多摩美術大学 地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] ----- Social, Ecology

[Idea] ----- 日本の地震の歴史は、416年の遠飛鳥宮（大和国／現・奈良県明日香村）の地震から始まる。日本史上最初の地震の記録として日本書紀に記述があり、その地震は現在も続く。1995年の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）に学び、その後の新潟県中越地震では、上越新幹線が脱線したが大きな災害は防げた。それは学んだ事によってよい教訓となった。ポスターデザインは、新幹線がもし脱線した場合の恐怖をイメージイラストレーション化した。新幹線の脱線事故は多くの人命を奪う。



[Title] ----- Takashi Akiyama in Ginza - Humor Illustration Poster
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2007
[Client] ----- Art Box インターナショナル
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- イラストレーションの持っている力は計り知れない。難しい文章や理解しづらい内容をいとも簡単に伝えることができる。そのような能力をもっているコミュニケーションの手段は他にはない。銀座での個展も、イラストレーションを使ったポスターでメッセージを伝えている。ユーモアの味付けも十分そこに含まれている。ポスターデザインは、銀座のビルの壁から突然人が現れ出る「街」だ。

Takashi Akiyama in Fukushima

秋山孝のイラストレーションポスター in 福島 2007.09.01-10.31
Humor Illustration Poster

元麻布ギャラリー
MOTOYASU GALLERY 〒960-8031 福島市栄町2-14 東横イン 福島駅前口II 1F Tel:024-523-1045



[Title] ----- 秋山孝のイラストレーションポスター in 福島
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2007
[Client] ----- 元麻布ギャラリー福島
[Category] ----- Culture

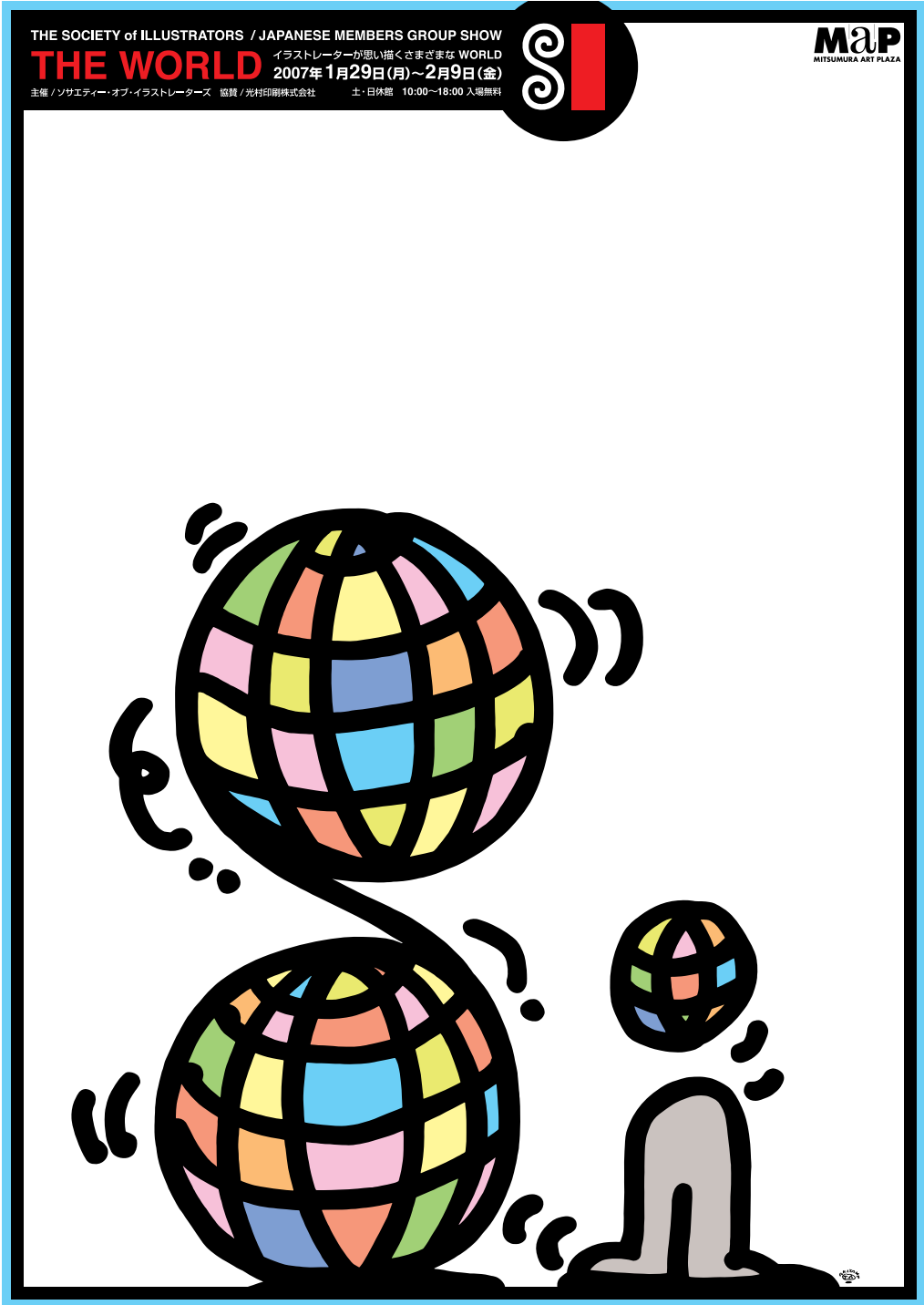
[Idea] ----- 「元麻布ギャラリー福島」のオープン記念のための個展。ポスターデザインは福島の名品こけしをモチーフとした。もともとこけしとは、東北の温泉地で文化文政の江戸末期あたりから湯治客に土産物として売られたものだ。描かれている伝統こけしは産地によって特徴に違いがあり、福島のコけしは土湯系と呼ばれている。その歩かないこけしが、ギャラリーオープンのために突然歩き出した。

THE SOCIETY of ILLUSTRATORS / JAPANESE MEMBERS GROUP SHOW
THE WORLD イラストレーターが思い描くさまざまな WORLD
2007年1月29日(月)~2月9日(金)

主催 / ソサエティ・オブ・イラストレーターズ 協賛 / 光村印刷株式会社 土・日休館 10:00~18:00 入場無料

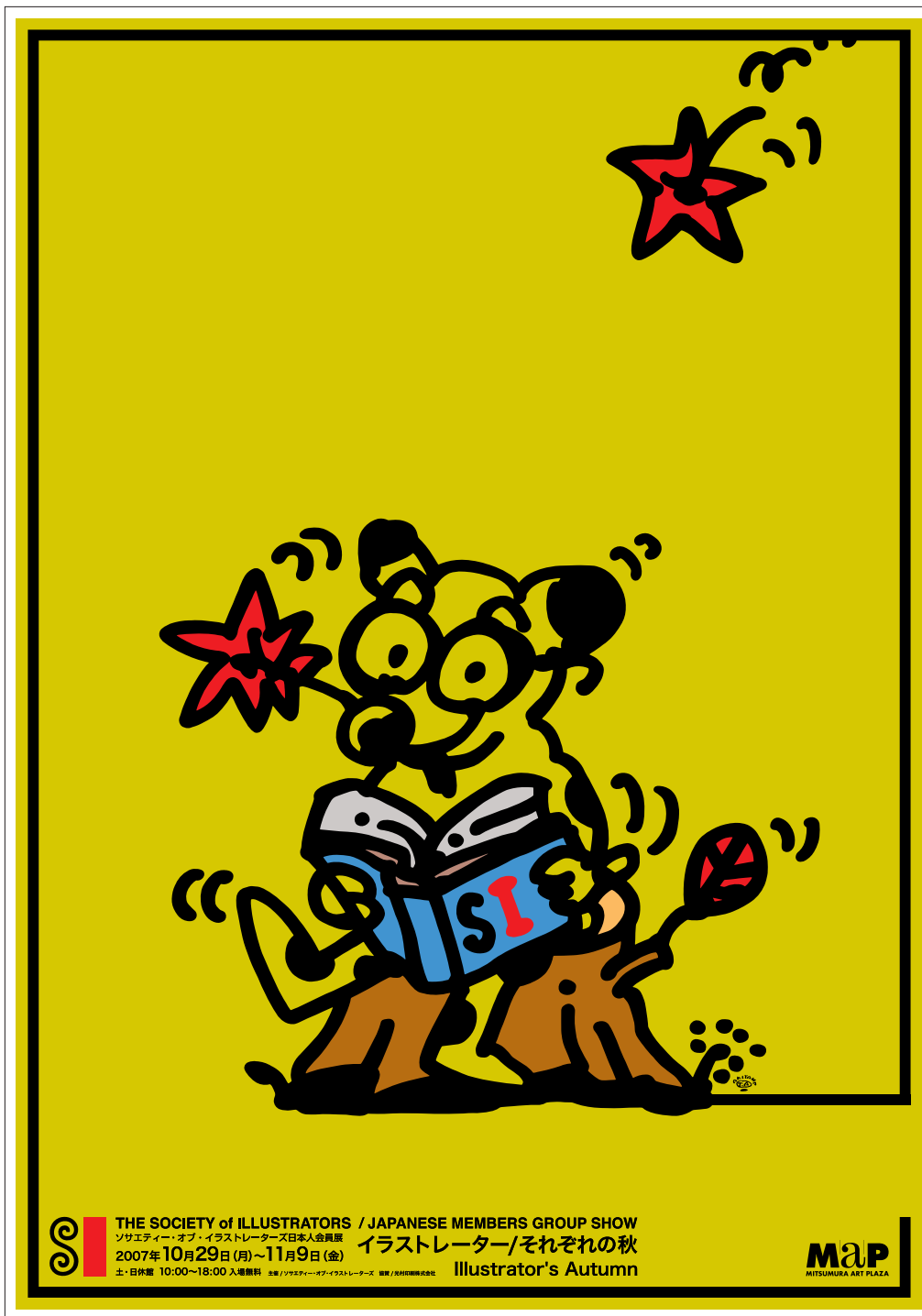


MAP
MITSUMURA ART PLAZA



[Title] ----- イラストレーターが思い描くさまざまな WORLD展・2007
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2007
[Client] ----- ソサエティ・オブ・イラストレーターズ (New York)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- ニューヨークにあるソサエティ・オブ・イラストレーターズは国際的な協会だ。略称を「SI」と呼ぶ。「SI」のロゴを「地球と人」を繋げるイラストレーションとして描いた。「SI」は1901年10人のメンバーでニューヨークに誕生した。ほくもその会員だ。



THE SOCIETY of ILLUSTRATORS / JAPANESE MEMBERS GROUP SHOW
 ソサエティ・オブ・イラストレーターズ日本人会員展
 2007年10月29日(月)~11月9日(金) イラストレーター/それぞれの秋
 土・日休館 10:00~18:00 入場無料 主催/ソサエティ・オブ・イラストレーターズ 協賛/丸の内線丸の内駅

MaP
 MITSUMURA ART PLAZA

[Title] ----- イラストレーター/それぞれの秋
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2007
 [Client] ----- ソサエティ・オブ・イラストレーターズ (New York)
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 東京・大崎のミツムラ・アート・プラザで「イラストレーター/それぞれの秋」展が開催された。芸術の秋であったり、スポーツの秋、紅葉の秋など幅広いイメージがあり、言葉には表現出来ないイラストレーターの感性が表れ出た。ぼくの秋は、眼鏡を付けた子犬がソサエティ・オブ・イラストレーターズの本を森の切り株でゆっくりと読む。そこには静かな秋の空気が漂う。秋になるとぼくは文学を楽しむ。

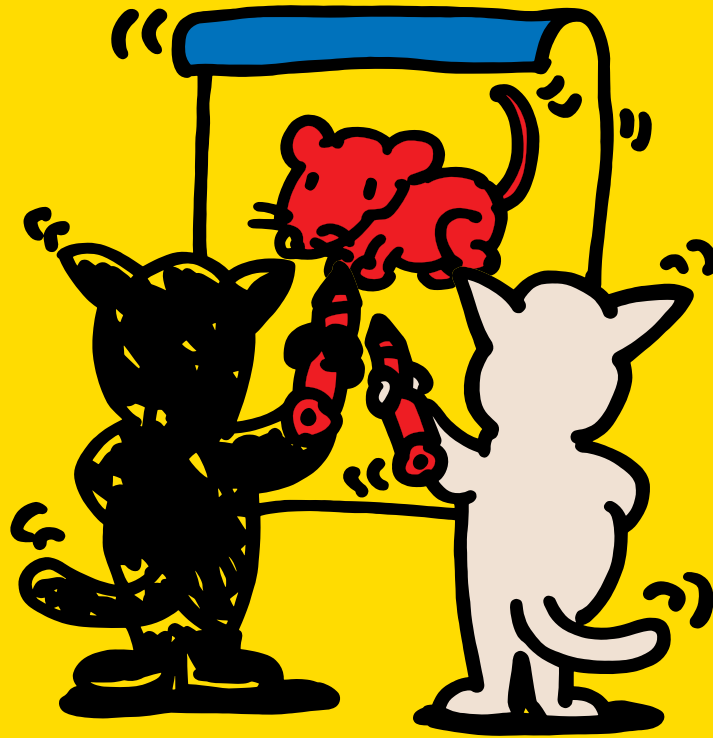


[Title] ----- 第1回中国イラストレーション芸術展 深圳
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2007
 [Client] ----- 関山月美術館 (中国・深圳市)
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 深圳市のシンボル、「月」に鄧小平の白猫と黒猫、手にはペンと筆をあしら
 い、足下にかわいい鼠がいる。翌年、中国初の深圳イラストレーション協会が設立さ
 れた。

Takashi Akiyama Illustration Poster in Shenzhen, China

秋山孝插画海报展(深圳) 2007.05.15-05.21 全国首届插画艺术展 关山月美术馆



主办：中共深圳市委宣传部 深圳市民政局 深圳市人民政府文化产业发展办公室 承办：关山月美术馆 协办：香港插画师协会 深圳市插画文化传播有限公司

[Title] ----- 秋山孝イラストレーションポスター展 in 深圳・中国
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2007
[Client] ----- 关山月美术馆 (中国・深圳市)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 経済特区深圳市を作った鄧小平の「白猫黒猫論」をイラストレーション化した。白猫と黒猫が鼠を描いている。蓮花山公園にある関山月美術館は中国を代表する国画家、関山月の名をとった瀟洒な美術館だ。



[Title] ----- SAVE THE EARTH ポスターの街とやま
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2007
[Client] ----- 富山市
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 富山市によって富山城址大通り沿いに新しいポスター塔が設置され、それを飾るポスターデザインの依頼を受けた。ポスターは人類がこれから考えたり、実行しなければならない重要な問題を人々に伝える機能を持っている。21世紀に解決しなければならない重要な問題「エコロジー」を取り上げた。誰でもがわかり、心の中にそっと入り込むために、ユーモア・イラストレーションでメッセージを送った。「限りある地球」を大切にするイメージだ。野生保護動物であるラッコが、「地球」を優しく抱いている姿のポスターをデザインした。



[Title] ----- 凱風秋山・新富嶽三十六景
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2007
 [Client] ----- 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- JAGDA会員による「グラフィックデザイナーの富嶽三十六景」ポスター展が開催された。ポスターは、新・富嶽三十六景として「凱風秋山」を描いた。秋の恵みを占う姿が、富士から湧き出てくる一瞬をとらえた。「稲穂、太陽、亀の甲羅、火」の甲骨文字「秋」が絵として浮かび上がっている。美しく晴れ晴れとした風の中に秋の山「富士」がゆったりと横たわっている姿をデザインした。



[Title] ----- マイ・ベスト1・イラストレーション・ポスター
 スチューデント会議 2007
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2007
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーション・スタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 鯉は日本を代表する重要な意味のある魚だ。それは哲学的な魚であり、人生を意味したり、美を表している。たくさんの鯉から私たちは My Best 1 Carp (イラストレーションポスター)を選んだ。それは見事な鯉であった。

多摩美術大学70周年記念事業 Celebrating the 70th Anniversary of Tama Art University
東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本
Illustration Posters in China・Korea・Japan

2007.7.1.Sun - 9.2.Sun. 10:00-18:00 休館日：7月2日(月)

主催：多摩美術大学・産経新聞社



多摩美術大学美術館
<http://www.tamabi.ac.jp/museum/>

入館料：一般300円(200円) / 大・高校生：200円(100円) / 身体障害者および中学生以下無料 ※1日1回20名以上の団体割引料金
 〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1 Tel.042-357-1251 交通：多摩センター駅(原王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)徒歩5分

Tama Art University
Museum

[Title] ----- 東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2007
 [Client] ----- 多摩美術大学
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- イラストレーションポスターから歴史の時空を超えた東方の世界を見ることが出来る。世界初の中国・韓国・日本のイラストレーションポスターの大展覧会。それは西洋にはない東洋の新たなポスター芸術文化を評価し一望するものである。中国・韓国・日本、独自のスピリチュアルなイラストレーションポスター表現の発見。ポスターデザインは東方を代表する鯉が泳いでいる姿。背中にはそれぞれの日本・中国・韓国の地図。



[Title] ----- イラストレーション・スタディーズ (Art)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2007
[Client] ----- 東京イラストレーターズ・ソサエティ
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 人類はイラストレーションを編み出した。人間の思いや考えを伝えるために、文字と絵で計り知れない量の記録を刻んできた。時空を超え真実感のあるビジュアルメッセージとして、現代の我々に訴えかけてくる。モテルはルーブルに展示されている書記座像 (BC2600~2350頃 エジプト)



[Title] ----- メッセージ・イラストレーション・ポスター
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2007
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーション・スタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- メッセージ・イラストレーションは、言葉ではないメッセージ爆弾だ。イラストレーションの持っているメッセージ性を自覚し、ポスターでビジュアルコミュニケーションする。受け手の立場や状況を理解したうえで受け手の心をつかまなければならない。そこで初めて情報の内容が理解される。伝わりさえすればなんでも良いでは、あまりにも乱暴だ。そうではなくやさしく美しくデザインされ、受け手が見たい、読みたい、知りたいという気持ちになるように促さなければならない。

The Takeo Poster Collection / Best Selection 05

Masters of Illustration Posters - Poland 1 ポーランド・イラストレーションポスターの巨匠・1

ヘンリク・トマシェフスキ / ヤン・レニツァ / ロマン・シスレヴィッチ / フランチシェク・スタロヴェイスキ
Henryk Tomaszewski / Jan Lenica / Roman Cieslewicz / Franciszek Starowieyski
2007.1.6.Sat.-4.15.Sun.



多摩美術大学美術館

<http://www.tamabi.ac.jp/museum/>

10:00-18:00 (入館は17:30まで) 休館:火曜日および2.26.Mon-3.7.Wed.3.24.Sat-3.26.Mon

入館料:一般300円(200円)/大・高校生:200円(100円)/身体障害者および中学生以下無料 ※1)内420名以上の団体割引あり

〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1 Tel042-357-1251 交通:多摩センター駅(京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)徒歩5分

Tama Art University
Museum

[Title] ----- ポーランド・イラストレーションポスターの巨匠・1
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2007
[Client] ----- 多摩美術大学美術館
[Category] ----- Culture

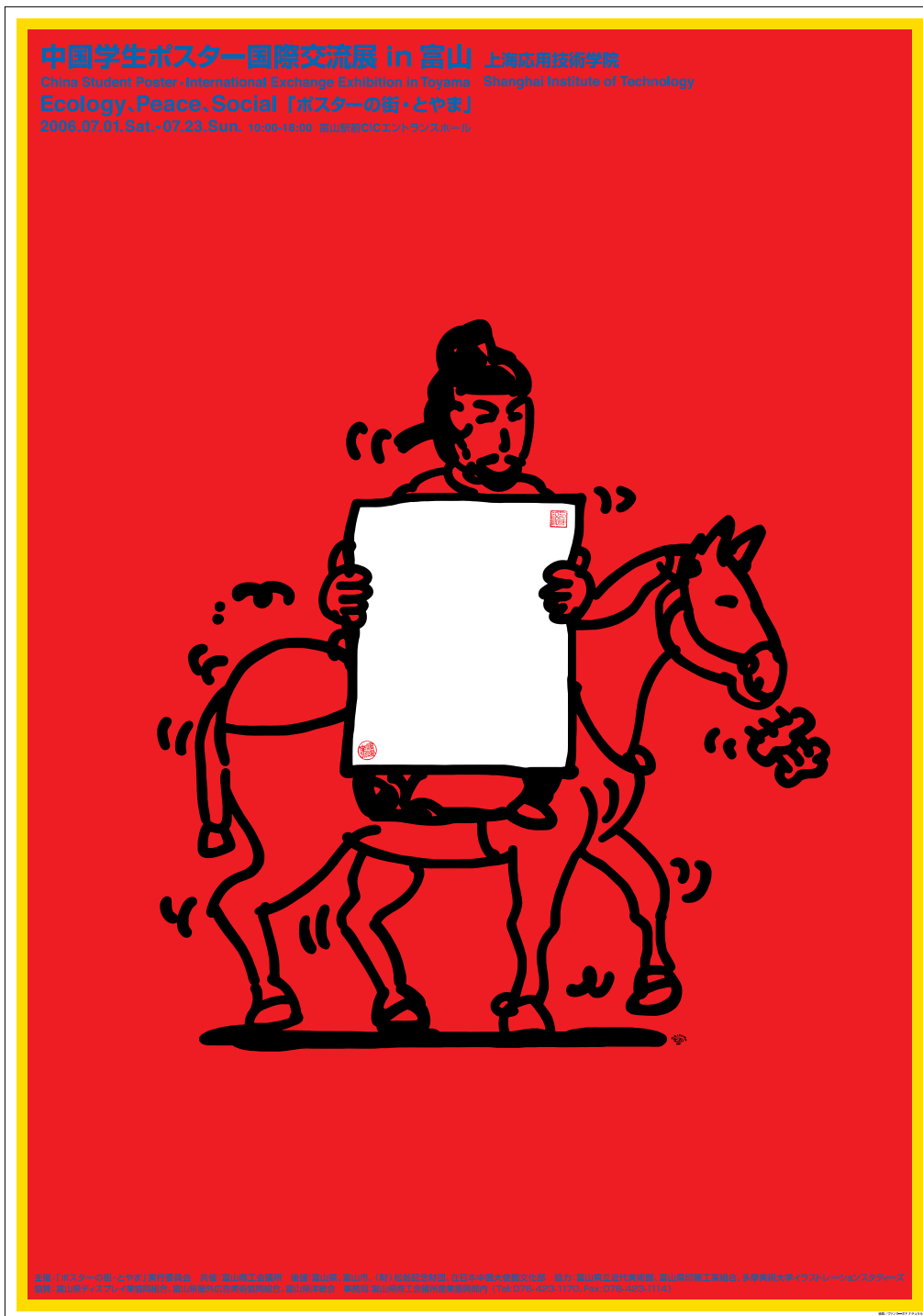
[Idea] ----- ポーランドポスターの巨匠の目と王冠。ポスターはビジュアルコミュニケーションである。「ゴッドファーザー」と呼ばれるヘンリク・トマシェフスキはじめ、レニツァ、シスレヴィッチ、スタロヴェイスキ、その目は巨匠たちの心だ。

TamaGRA Animation Festival
Illustration Studies
Tama Art University
2006.5.3.wed
Theater "SAMSA ASAGAYA"



[Title] ----- イラストレーションスタディーズ
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2006
[Client] ----- 多摩美術大学 タマグラアニメ博委員会
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 東京・ザムザ阿佐ヶ谷・ラピュタにて「タマグラアニメ博」のシンポジウム「イラストレーション学入門」を開催した。ポスターデザインは奈良県にある「高松塚古墳壁画・西壁女子群像」(7世紀末～8世紀初頭)のひとりを描いた。それは日本最古の美人画で、イラストレーション学を研究するには欠かせない名画だ。それをモチーフとしてデザインした。



[Title] ----- 中国学生ポスター国際交流展 in 富山
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2006
 [Client] ----- ポスターの街・とやま 実行委員会
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 富山県立近代美術館主催の「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」に呼応して、「中国学生ポスター国際交流展in富山」が開かれた。デザインは国際交流展のために、中国国宝名画「馬乗官公史」(1296年)に登場する人物が、白いポスターを持って現れた姿を描いた。ポスターは人々の心を繋ぐ掛け橋となる魅力を持っている。

Takashi Akiyama

Illustration Poster in Toyama

秋山孝ポスター in トヤマ 「ポスターの街・とやま」

2006.06.30.Fri.-07.20.Thu. 11:00-19:00 最終日は17:00まで 休館日:火曜日
元麻布ギャラリーTOYAMA 富山市坂町1-4-5 東横インJr.富山駅前2F Tel:076-431-5564



主催「ポスターの街・とやま」実行委員会 共催:富山県工会連所 後援:富山県、富山市、(財)松野記念財団 協力:富山県立近代美術館、富山県印刷工業組合、富山県ディスプレイ事業協同組合、富山県屋外広告芸術協同組合、富山県洋紙会
事務局:富山県商工会議所産業実行部内 Tel:076-423-1170、Fax:076-423-1114

[Title] ----- 秋山孝ポスター in トヤマ
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2006
[Client] ----- ポスターの街・とやま実行委員会
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 秋山孝の詩情あふれるユーモアとウィットは、案外自虐的である。「ポスターの街とやま」を発展させるには、ポスターを掲示するためのポスター塔が必要だ。



[Title] ----- マイ・ベスト・1・イラストレーション・ポスター
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2006
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 赤いマフラーが目をはくポスターは、イラストレーションを研究する大学院生会議のシンボルだ。鳥のさえずりは、パネルディスカッションの声。手にはMy Best 1イラストレーションポスター。ポスターの父ロートレックの名作「アリステッド・ブリュアン、彼のキャバレーにて」(1893)から発案した。

Message Illustration Poster 2006.09.25 (Mon) - 10.13 (Fri)
Illustration Studies / Tama Art University



[Title] ----- メッセージ イラストレーション ポスター展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2006
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- ポスターはいったい何を語っているのだろうか。ポスターはメッセージを含んでいるビジュアル・コミュニケーション表現だ。大きな声で叫んではない。ポスターは音も出ないし声も出ない、静かにそこに佇んでいる「沈黙の声」である。だからこそ熟考した含みのある「沈黙の声」が響き渡っているのである。聞こえない人には全く聞こえない。目で聞こえる人だけが理解できる。それこそが視覚芸術と呼ばれる所以なのである。

The Takeo Poster Collection / Best Selection 04

Masters of Illustration Posters

イラストレーションポスターの巨匠

レイモン・サヴィニャック / ヘンリク・トマシェフスキ /
ソール・スタインバーグ / アンドレ・フランソワ

2006.8.5.Sat.-10.22.Sun.



Raymond
Savignac

Henryk
Tomaszewski

Saul
Steinberg

André
François

多摩美術大学美術館

10:00-18:00 (入館は17:30まで) 休館:火曜日および9.4.Mon-9.11.Mon

<http://www.tamabiau.ac.jp/museum/>

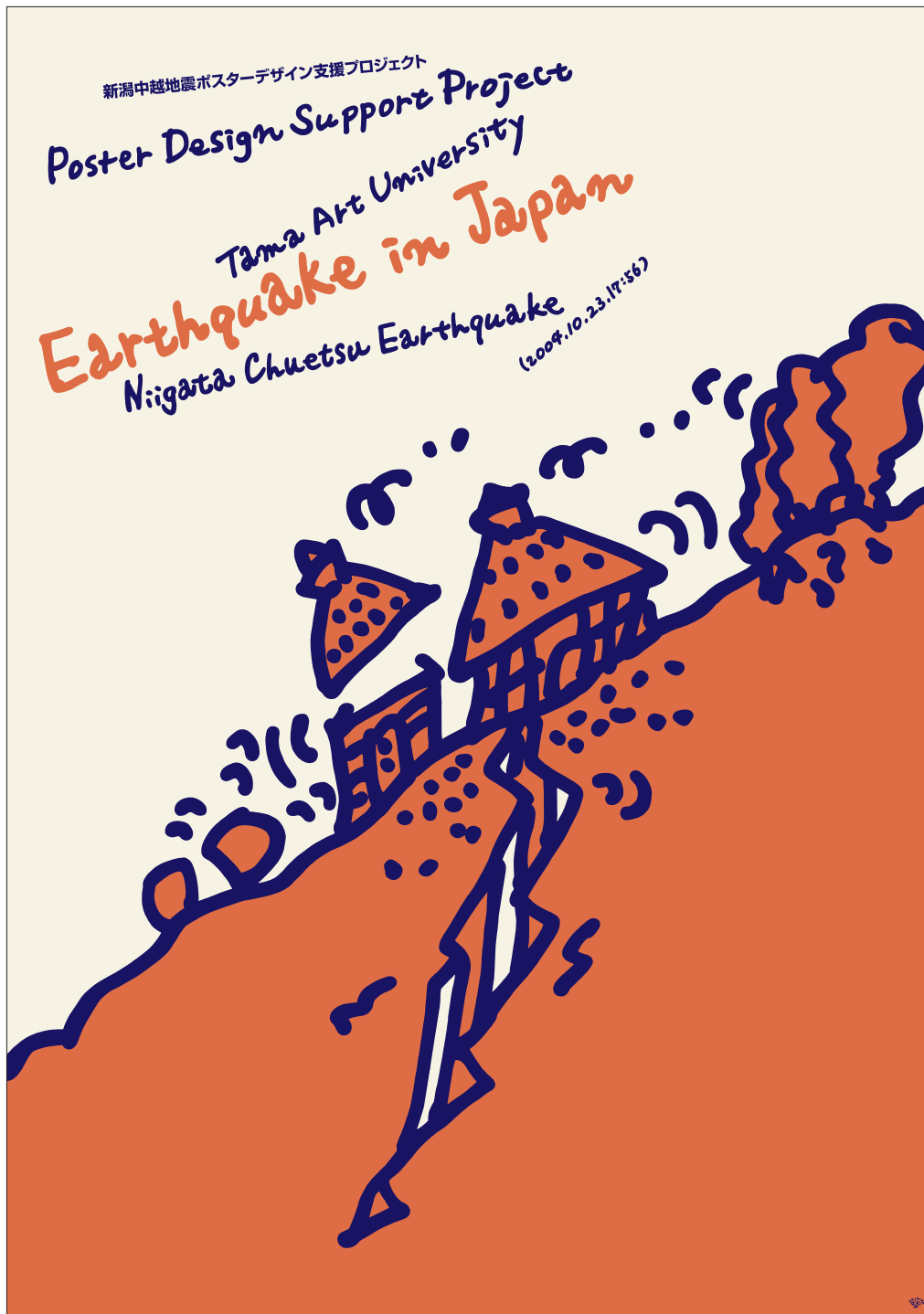
入館料:一般300円(200円)/大・高校生:200円(100円)/身体障害者および中学生以下無料 x(1)内は2006以上の団体割引価格

〒206-0033 東京都多摩市道台1-33-1 Tel.042-357-1251 交通:多摩センター駅(京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)徒歩5分

Tama Art University
Museum

[Title] ----- イラストレーションポスターの巨匠展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2006
[Client] ----- 多摩美術大学美術館
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- このイラストレーションポスターの巨匠4人は、長生き(84歳~95歳)をし、晩年全員がメガネをかけていた。そのメガネの奥から現れ出るユーモアは計り知れない。



[Title] ----- Earthquake in Japan
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2006
 [Client] ----- 多摩美術大学 新潟県中越地震ポスターデザイン支援プロジェクト
 [Category] ----- Social, Ecology

[Idea] ----- 2004年10月23日17時56分ごろ、新潟県中越地方を震源とする震度6強の新潟県中越地震が発生した。「新潟県中越地震ポスターデザイン支援プロジェクト」は、災害支援においてデザイナーのできることは何かということから、ポスターの力を使い災害を忘れず記録することを目的にスタートした。この記録は、客観的なことばやドキュメント写真とは異なり、イラストレーションにしかできない内面的なイメージ表現である。地震国日本における地震災害を未然に防ぐ活動の1つとして、現在もなおこのプロジェクトは続いている。

THE SOCIETY of ILLUSTRATORS
JAPANESE MEMBERS GROUP SHOW

装丁と装画の密月 挿画家、乱歩に挑む!

2005年10月31日(月)~11月12日(土)

11/3(木/文化の日) 11/5(土) 11/6(日) 休館 10:00~18:00 入場無料

主催=ソサエティ・オブ・イラストレーターズ

協賛=光村印刷株式会社

M&P
www.m&p.co.jp



[Title] ----- 装丁と装画の密月展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2005
[Client] ----- ソサエティ・オブ・イラストレーターズ (New York)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 「怪人二十面相」をモチーフとしてデザインをした。手には江戸川乱歩のポートレイトの本を持ち、怪人二十面相がたたずんでいる姿を描いた。展覧会タイトルの意味は、装丁家と挿画家はミステリーを含んだ「密」的關係で「蜜」ではないということを表している。



相撲古今力士似顔挿絵之図

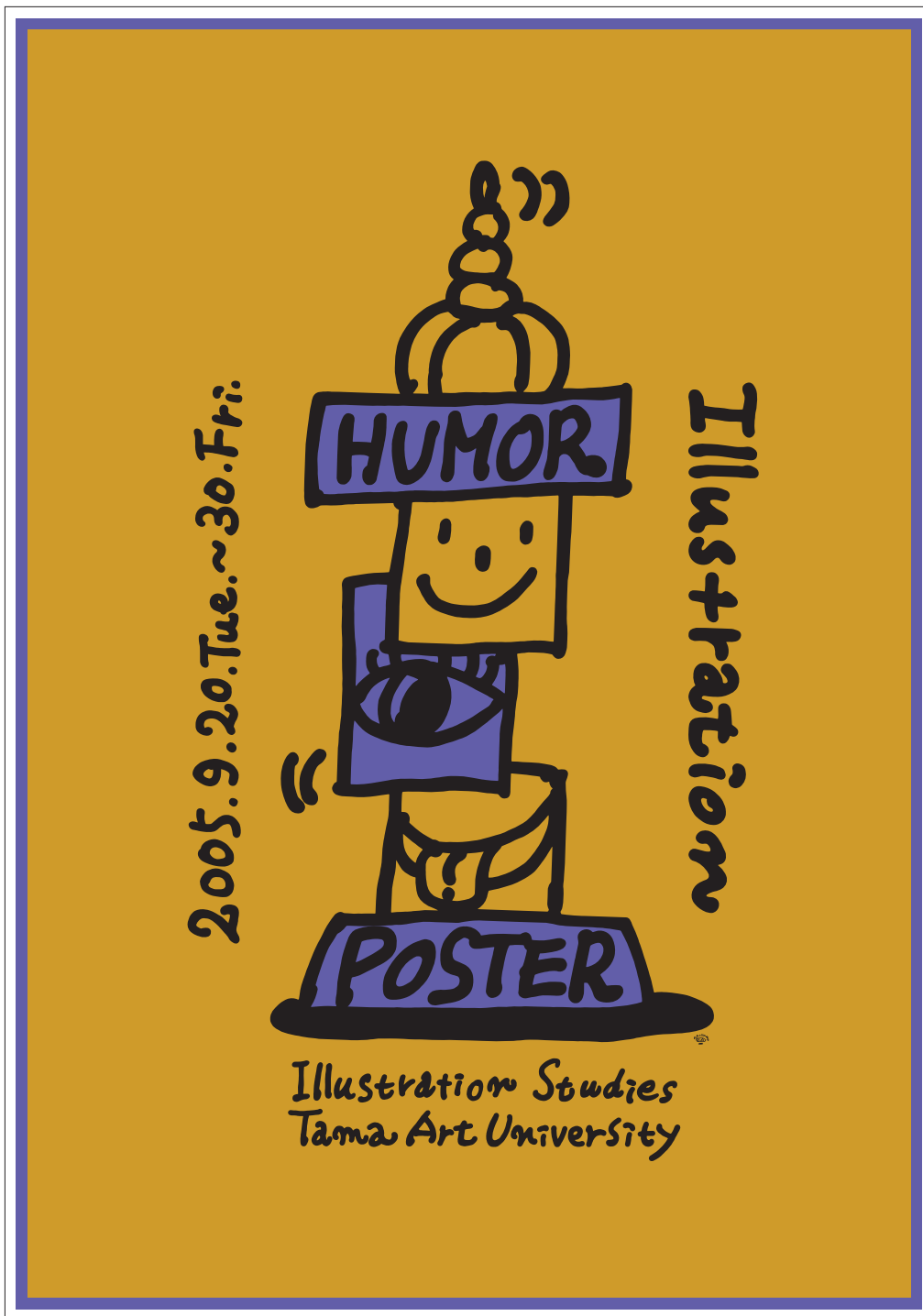
Finn Nygaard · Denmark

秋山孝画

Takashi Akiyama

[Title] ----- Finn Nygaard · Denmark
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2005
 [Client] ----- デンマーク美術館
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- デンマーク美術館で開催された「フィン・ニュゴール・ウィズ・フレンズ」展のためのポスター。身体の大きいフィン・ニュゴールはデンマーク人、身体の小さいぼくは日本人。この国際的友情を伝えるためにデザインした。しかし、ぼくと彼は表現者として同じ土俵に立つライバルだ。一度は勝ってみたい。日本では国技である相撲の力士は神とされている。ライバル、フィン・ニュゴールはぼくにとっての強い神だ。



[Title] ----- ユーモア イラストレーションポスター展
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2005
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- パリやヨーロッパ各都市でおなじみのポスター塔をヒントとして、そこから発するユーモアイラストレーションポスターの世界を象徴的に表現をした。ポスターをこよなく愛する人には、ポスター塔は大切なシンボルである。ポスターと目が笑っている。

Tama Art Univ.,Tokyo National Univ.of Fine Arts and Music,Musashino Art Univ.,Tokyo Kogei Univ.,Tokyo Zokei Univ.,Joshiibi Univ.

Illustration of Art Students in Tokyo

Piezo Graph & Paper Etching / EPSON / Tama Art University

東京6美大・イラストレーション表現展

多摩美術大学、東京芸術大学、武蔵野美術大学、東京工芸大学、東京造形大学、女子美術大学
多摩美術大学 八王子校舎 テキスタイル棟ギャラリー

2005.07.04.Mon-07.15.Fri



[Title] ----- 東京6美大・イラストレーション表現展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Ink Jet Printing
[Date] ----- 2005
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 日本初の試み、EPSONとの共同企画で展覧会とシンポジウムを開催した。近年印刷メディアのパーソナルプリントとして発達したプリンタ技術を検証し、その特徴を再認識するものだ。学生にとって今では欠かせない大型出力用プリンタは、簡易な印刷表現として重要な位置を占めている。ポスターアイデアは6枚のプリントされている状態を6美大と置換え、お互いに響きあっている状態を表現した。

7th Congress - Japan Society for Animation Studies - in Tama Art University

第7回 日本アニメーション学会大会 in 多摩美

多摩美術大学創立70周年記念事業企画



「優れたアニメーションは、一枚一枚の優れた
イラストレーションの積み重ねから生まれる」展

秋山孝クラス+片山雅博クラス(表現コース)

2005-6-25-sat - 26-sun 10:00-17:00

多摩美術大学 八王子キャンパス メディアセンター1F メディアホール



主催-第7回日本アニメーション学会大会 in 多摩美実行委員会 共催-日本アニメーション学会・多摩美術大学 協力-日本アニメーション協会

JSAS

[Title] ----- 優れたアニメーションは、一枚一枚の優れたイラストレーション
の積み重ねから生まれる展

[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)

[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)

[Date] ----- 2005

[Client] ----- 第7回 日本アニメーション学会大会 in 多摩美実行委員会

[Category] ----- Education

[Idea] ----- アニメーションにとって、いかに一枚一枚のイラストレーションが大切かを訴えた。アニメーションは一枚一枚のイラストレーションを正確に、そして緻密に動かし、はかりしれない創作の集中力と忍耐力で出来上がる。そこには、厳しい描写力と表現力が鍛えられている必要がある。



[Title] ----- 暗中摸索
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2005
[Client] ----- 台湾東方技術学院・台湾文化プレミアムデザイン教学資源
センター・台湾ポスターデザイン協会
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 「台湾国際漢字ポスター展」は、台湾における中国の新しいデザインを目指して成語をテーマとし、開催された展覧会である。そこに「暗中摸索」の3点シリーズを出品した。漢字文化における成語において、隋唐佳話に登場する「暗中摸索」の成語を選んだ。ぼくの創作活動は日々「暗中摸索」である。



[Title] ----- フレンドシップ展・イラストレーションと版画
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2005
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学イラストレーション・スタディーズの主催で、版画専攻との共同企画による展覧会を開催した。「フレンドシップ展」は、異なった分野とのジョイント交流展で、考え方の違いやその魅力を理解するためのものである。ポスターアイデアは版画とイラストレーションの共通性と違いを表すために、二つのプリント紙が重なり合っているところを表した。それが友情（フレンドシップ）であり、違いでもある。この兄弟関係は魅力的な違いがあるので、版画とイラストレーションを検証する価値がある。



[Title] ----- 秋山孝のユーモア・イラストレーション・ポスター展 in 秋田
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2005
 [Client] ----- 秋田公立美術工芸短期大学
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 秋田名物「竿燈(かんとう)まつり」の竿燈をモチーフに、左ききのぼくが祭りの楽しさとねぶり流しの五穀豊饒や技芸上達の願いを擬人化し描いた。秋田公立美術工芸短期大学開学10周年・付属高等学院創立50周年記念事業アトリエももさだオープン記念企画として展覧会と講演会が開催された。



[Title] ----- Give me some water - Save The Earth
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2005
[Client] ----- 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 水面に立ち上がる波の形が人間のシルエットとなり、「Give me some water. (水をください)」とつぶやくシーンを描き「Save The Earth (地球環境保護)」を促すデザインとした。20世紀から21世紀に入って、人類はエコロジーの問題を第一優先にあげている。沖縄県那覇市でJAGDA総会が開催され、それに伴い市民ギャラリーでポスター展が開かれた。

Friendship Illustration and Surface Design

Tama Art University

2004.6.21-7.9



[Title] ----- フレンドシップ展・イラストレーションとサーフェスデザイン
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2004
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- イラストレーションとサーフェスデザインは、なかなか相容れない両者だ。それらが友情を結ぶことによって、理解しあうことをビジュアル化した。シャンパンで乾杯したときに、飛び出した気泡が一方のシャンパングラスと響きあい、橋ができるという象徴を表現した。この両者の展覧会の意義は、実はイラストレーションと文様の違いを明白にする試みであった。

Takashi Akiyama

Eco Poster

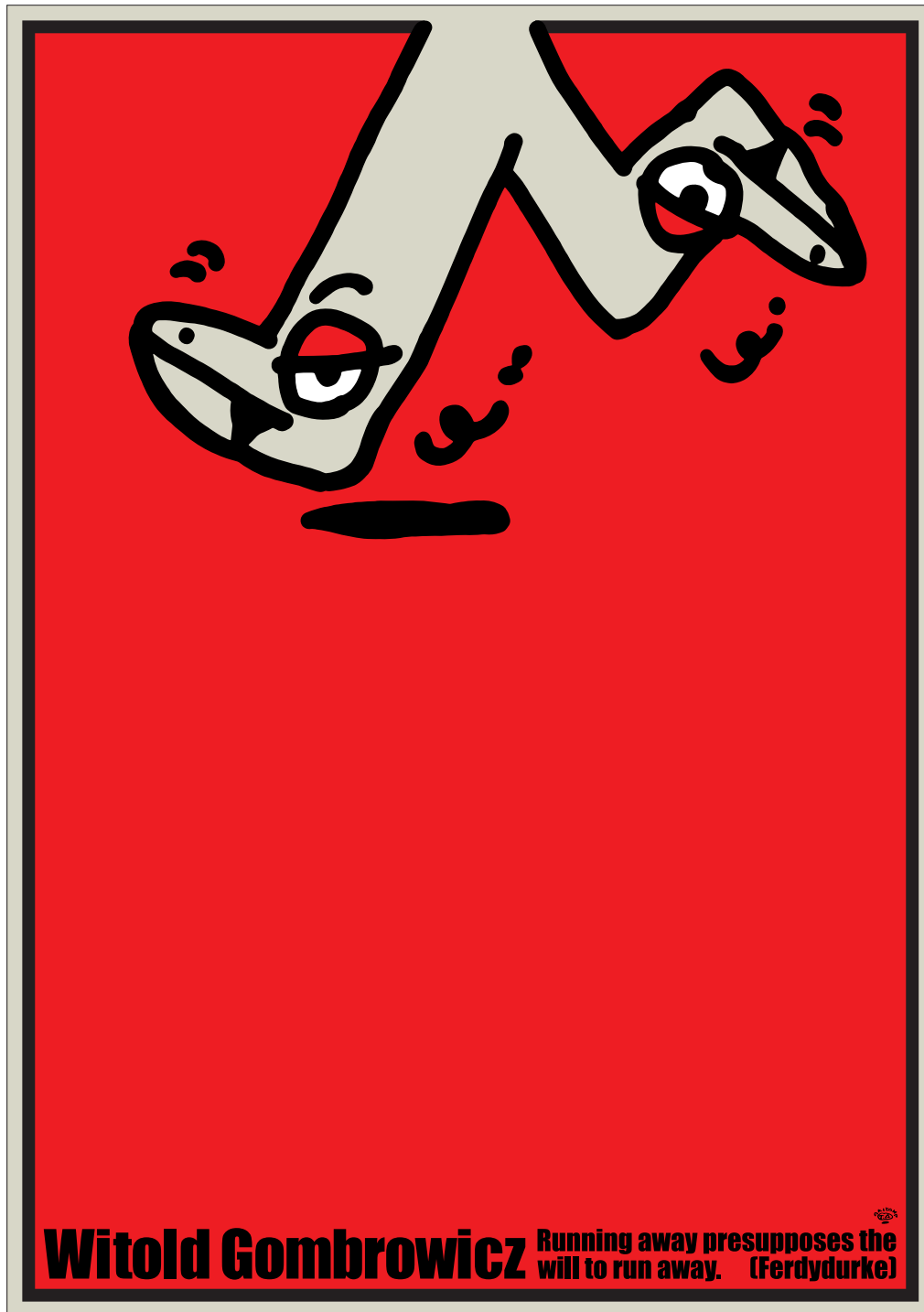
2004.8.23 - 9.01

PIZZA



[Title] ----- 秋山孝 エコポスター
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2004
[Client] ----- 原宿・ギャラリーピザ
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 163本のけやき並木の表参道にあるギャラリーピザは、エコをテーマとしている。そこで「秋山孝 エコポスター展」を開催した。かぐや姫は、光り輝く竹から現れ出る。そのかぐや姫物語のシーンをイメージしてビジュアルを作り上げた。竹の中から新地球が生まれた。



[Title] ----- Witold Gombrowicz (ヴィットールド・ゴンブローピッチ)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2004
[Client] ----- ワルシャワ・ヴィラノフポスター美術館
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- ヴィットールド・ゴンブローピッチ生誕100周年を記念してコンクールが開催された。著作「フェルディドゥルケ」の名言「逃走することは逃走する意志を前提とする」をビジュアル化した。背景の赤い色はポーランドの国旗の赤だ。ポスターには、記念するための視覚的象徴としての役割がある。それは、絵画とは異なりテキストと図像からなるビジュアルコミュニケーションの特徴だ。日本ではこのようなポスター展は開かれないが、今後ポスター文化を考えればぜひ実現したいものである。

THE SOCIETY of ILLUSTRATORS
JAPANESE MEMBERS GROUP SHOW

[Calendae]=月を呼んだ日

2004年9月27日(月)~10月8日(金) [日曜休館]
10:00~18:00 入場無料

主催= ソサエティ・オブ・イラストレーターズ
協賛= 光村印刷株式会社

M&P
MITSUMURA ART PLAZA



[Title] ----- Calendae=月を呼んだ日
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2004
[Client] ----- ソサエティ・オブ・イラストレーターズ (New York)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 東京・大崎にある光村印刷株式会社のミツムラ・アート・プラザのギャラリーで行われた「Calendae=月を呼んだ日」の展覧会だ。イラストレーター24人のオリジナルカレンダーを展示した。月夜の晩に山に住む猿が、幸運の「ツキ」をつかむというシーンを描いた。「月」と「運のツキ」をかけてイメージし、ビジュアルを制作した。しかも漆黒の背景に青紫のラインで、不思議な月夜の晩の世界を描いた。



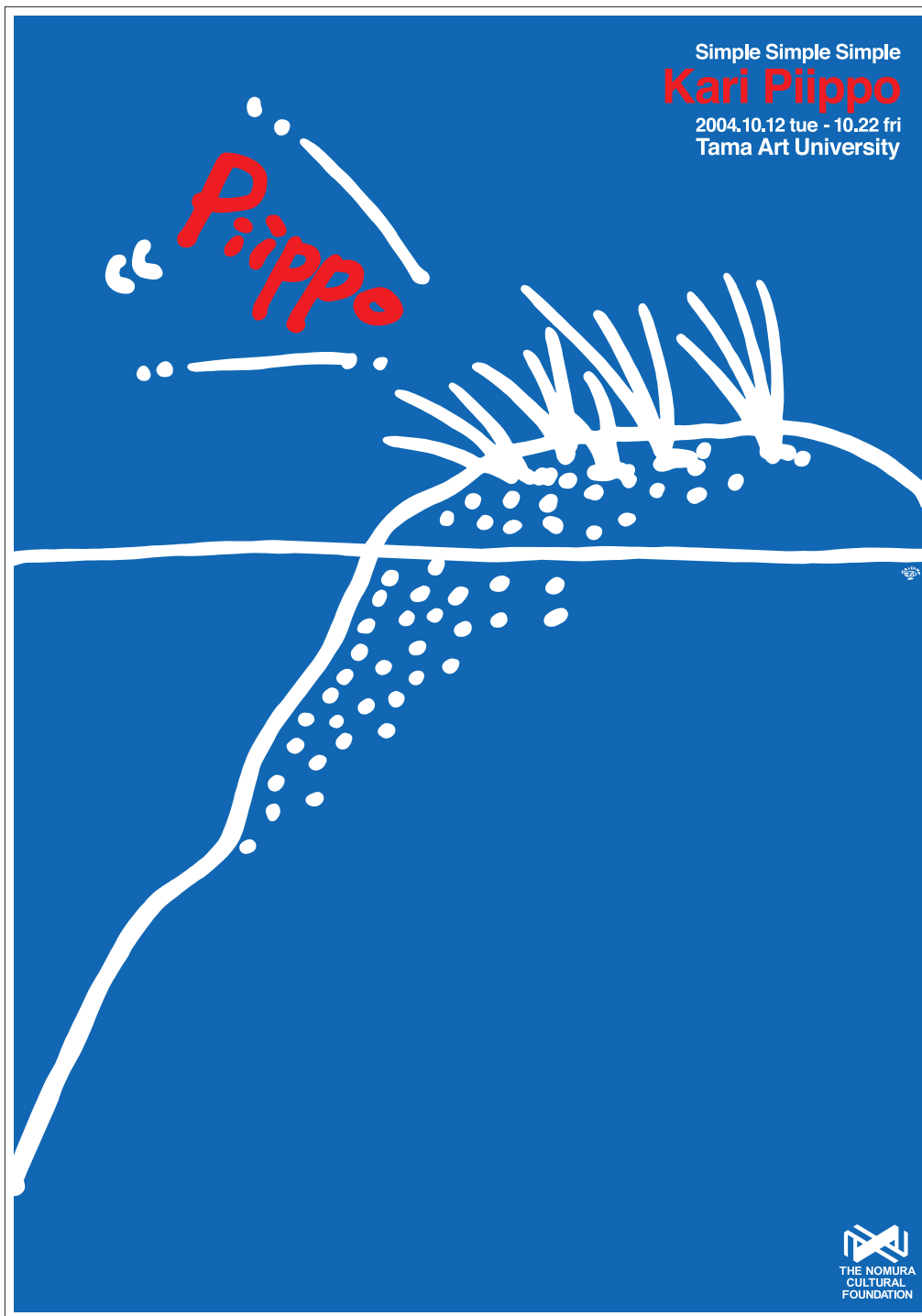
[Title] ----- メッセージ イラストレーション ・ ポスター in トヤマ
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2004
 [Client] ----- ポスターの街・とやま実行委員会
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- エコロジーポスターは魅力的な表現とストレートなメッセージが絡み合っ
 て、社会に送る重要な美的コミュニケーション能力を持っている。地球上で絶滅した
 恐竜の尾に地球が配置され、バランスをとっている姿を描いた。自然環境は見事なバ
 ランスで調和のとれた美しさがあり、それを我々は理解したい。



[Title] ----- Graffiti Illustration
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2004
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- グラフィティ（落書き）の持つ気楽さ、自由さと親しみのある造形性は、人類が共有できるビジュアルコミュニケーションの根本的な力を持っている。グラフィティは人が寝静まった夜に描かれる。なぜならば人々に嫌われる存在だからだ。そこでポスターのデザインは夜中に手にランタンを持ち、照らしているイメージだ。ランタンの中では、三日月が光り輝いている。文字はグラフィティ特有の手描き文字にしてある。



[Title] ----- Simple Simple Simple Kari Piippo
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2004
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 2004年度より多摩美術大学グラフィックデザイン学科客員教授として招聘したフィンランドのカリ・ピッポの展覧会を開催するための告知ポスターである。「カリ・ピッポ」をイラストレーションで表した。「カリ」は岩礁で、「ピッポ」は小さな雑草を意味する。小さな雑草が自分の名前を「Piippo」と呼んでいるところをイラストレーションで表現した。

Takashi Akiyama 秋山孝
Humor Illustration Poster in China

Shanghai 上海应用技术学院 29-30.Oct.2004
Shanghai Institute of Technology

Beijing 清華大學美術學院 01-06.Nov.2004
Academy of Arts & Design, Tsinghua University



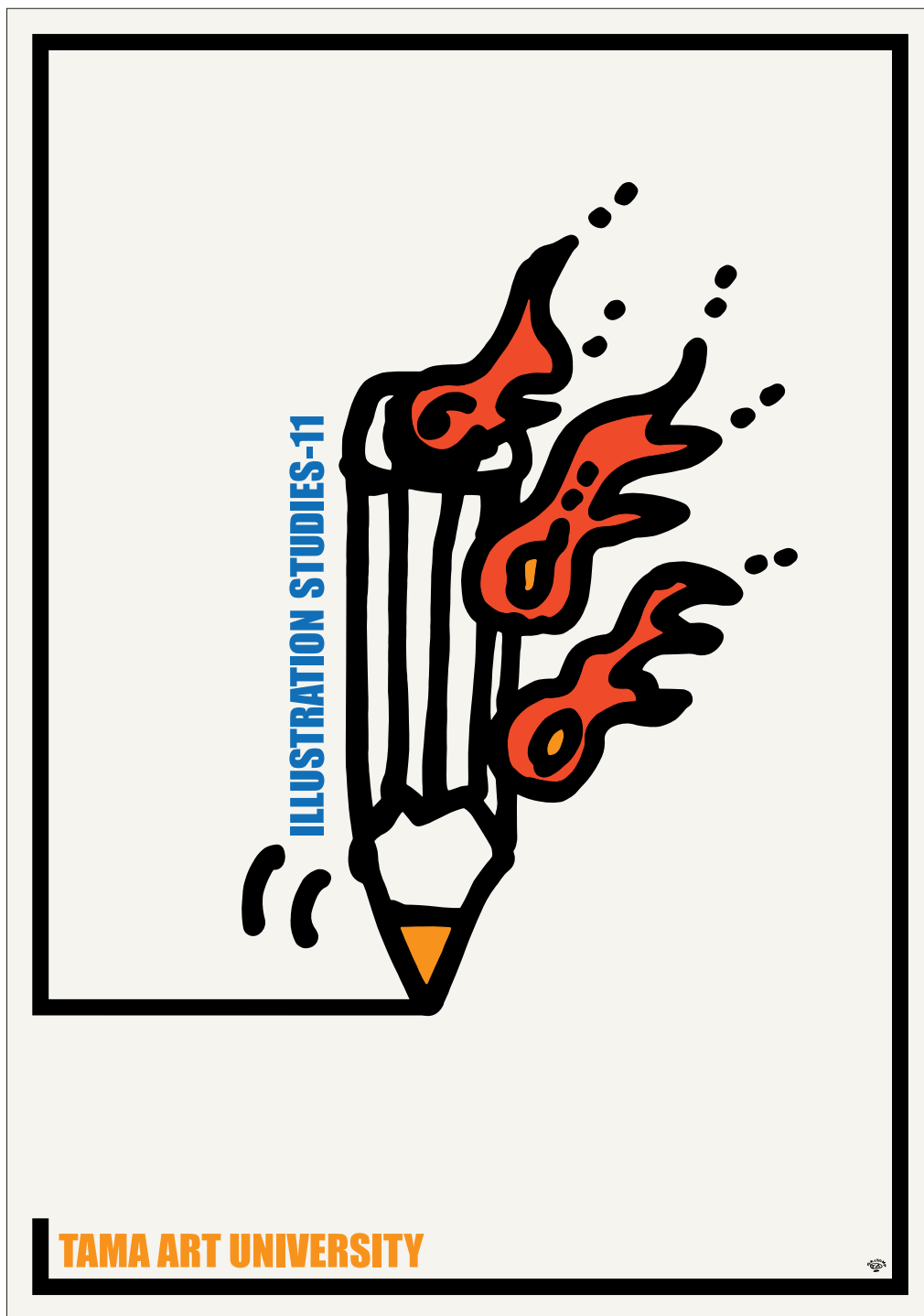
[Title] ----- 秋山孝ユーモアイラストレーションポスター展・中国
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2004
[Client] ----- 清華大學美術學院 (北京)・上海応用技術学院 (上海)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 真っ赤な空を背景に黄金の屋根の上でタンチョウが乱舞する、吉兆を示す意味を表している。ぼくは若いときからバードウォッチャーであり、またバードカーパーであった。この吉兆を表す情景はバードウォッチャーにとって、希望と夢を見る思いがする。ぼくが初めて中国で行なう個展が、北京の清華大學美術学院創立85周年記念と、上海応用技術学院の芸術棟の落成記念展のための記念展として開催された。



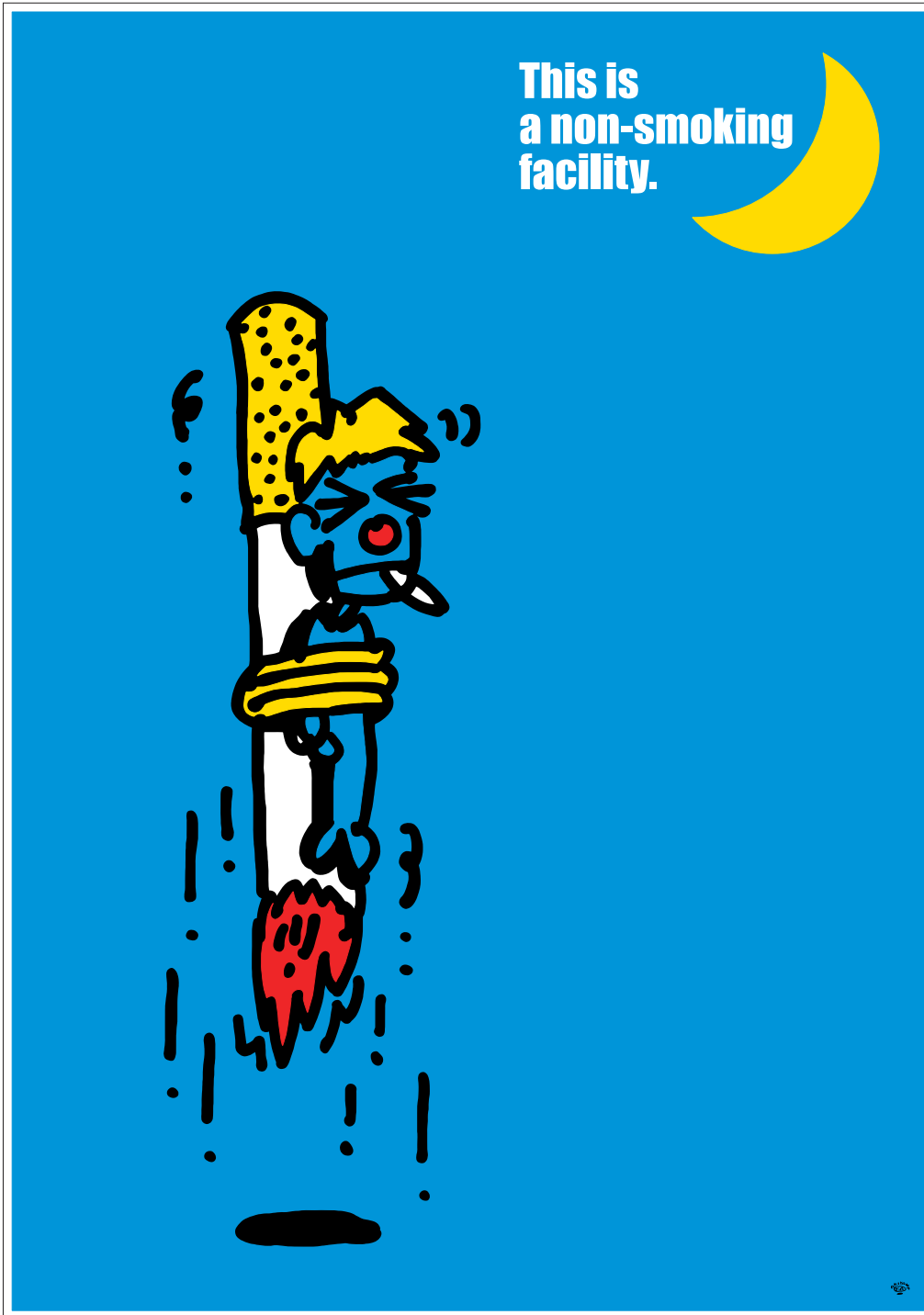
[Title] ----- Green Consumer (緑の消費者)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2003
 [Client] ----- 新潟県
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 新潟県「買い物で暮らしをかえよう」ごみ半減県民運動実行委員会の依頼で、キャラクター「グリーンコンシューマ君」を制作した。「グリーンコンシューマ」というのは、環境や健康を大切に買い物をする消費者のことをいう。4R活動とは、「refuse (断る) 必要なことを断り。reduce (減らす) ゴミ化するものは買わない。reuse (再利用する) 繰り返し使う。recycle (再資源化) 堆肥化飼料化する」を意味する。「葉っぱ = グリーン = 自然 = 環境」をモチーフとして、キャラクター制作を試みた。



[Title] ----- Illustration Studies -11 Tama Art University
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2003
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- このポスターは、多摩美術大学のイラストレーション学研究のためのもので、イラストレーション学研究の認知を国際的にさせるために制作したものである。イラストレーションを多角的に検証し、新たな方向と領域を発見すべく「Illustration Studies」の目的として意義あると考えている。鉛筆が燃えているということは、表現者や研究者の研究心が燃えていることを暗示している。それをポスターのビジュアルとした。



[Title] ----- This is a non-smoking facility・ここは喫煙施設ではありません
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2003
[Client] ----- ワシントン・ポスト (U.S.A)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- アメリカ最大の新聞「ワシントンポスト」から、ウィークエンド版表紙のイラストレーションの依頼がきた。テーマは「クリーン・ザ・エア」で、喫煙をテーマとした内容だった。その掲載は2003年9月12日のカラー版の表紙となった。禁煙についてはぼくも異論はなく、禁煙に対して同感する。そこでビジュアルコミュニケーションの表現として、タバコのロケットに身体が縛られ飛ばされていくイメージを描き、キャッチコピーとして「ここは喫煙施設ではありません」とつけた。



[Title] ----- Visualogue
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2003
 [Client] ----- Icograda・世界グラフィックデザイン会議・名古屋
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 「Icograda・世界グラフィックデザイン会議・名古屋」の展示会のポスターである。「Visualogue」という言葉は、visual(視覚的)とdialogue(対話)を組み合わせた造語で、「新しい対話の形」を意味している。グラフィックデザインは目(視覚)で対話する「情報の美」だ。会議で心が燃え、熱い視線のぶつかり合う目をポスターデザインした。



鯉の滝登り
Homage Jun Tabohashi

[Title] ----- オマージュ、田保橋 淳
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2002
 [Client] ----- 多摩美術大学 田保橋淳 退職記念展委員会
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 多摩美術大学グラフィックデザイン学科学科長田保橋淳教授の「田保橋淳へのオマージュ展」のために制作したものである。場所は多摩美術大学デザイン棟ギャラリーで行なった。一方、多摩美術大学美術館でも「重層する鏡像曼陀羅華 田保橋淳展」が大々的に開催された。田保橋淳の創作の力強さを「鯉の滝登り」にたとえ江戸時代の浮世絵からアレンジし表現を試みた。2つの展覧会は、ほくがプロデュースした。



[Title] ----- Illustration Studies 6
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2002
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 1997年の「Fax Art Project Tokyo-Helsinki」展の辺りから、イラストレーション学研究をし始める動機となった。「イラストレーションとは何か」という疑問から始まったものだ。イラストレーションは、グラフィックデザインの基本となる図像の一つで、ビジュアルメッセージを伝えるには最良の手法だと考えている。それは、目で見て手で描く両者の思考から生まれる。



[Title] ----- Message Illustration Poster 2002
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2002
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションプロジェクト
 [Category] ----- Education

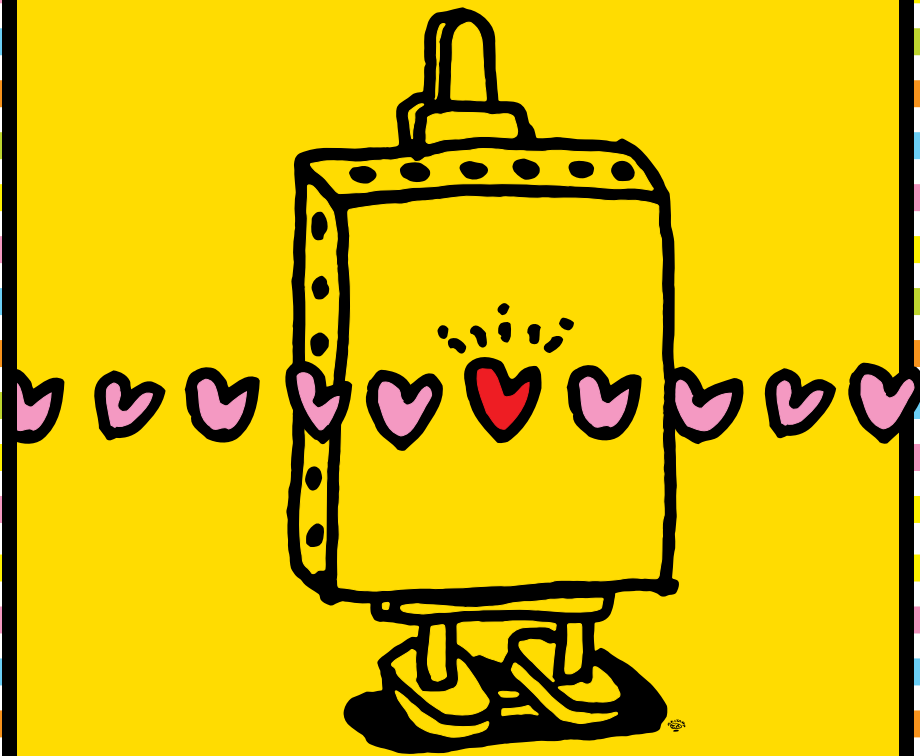
[Idea] ----- 銀座・王子製紙、モンsoon・ラボで開催された学生作品展「Message Illustration Poster 2002」のポスター作品だ。目的は、学生作品を社会に発表するためだ。その学生が伝えたいビジュアルメッセージを、ポスター作品として発表した。学生作品展のポスターデザインは、仔犬が崖の上で遠吠をし、お互いにコミュニケーションしている姿を象徴化した。このメッセージの音が遥か彼方まで鳴り響いた。

小さな美の感情展

2002年7月20日(土)～10月20日(日)

会場：八王子駅ビルNOW 9F、10F レストラン街

主催：多摩美術大学、八王子ターミナルビル(株)



後援：八王子市、八王子市教育委員会、八王子市学園都市推進会議、八王子商工会議所、JR東日本 八王子支社
お問合せ：八王子ターミナルビル(株) 東京都八王子市旭町1-1 Tel.0426-25-1182 多摩美術大学 東京都八王子市鷺水2-1723 Tel.0426-76-8611

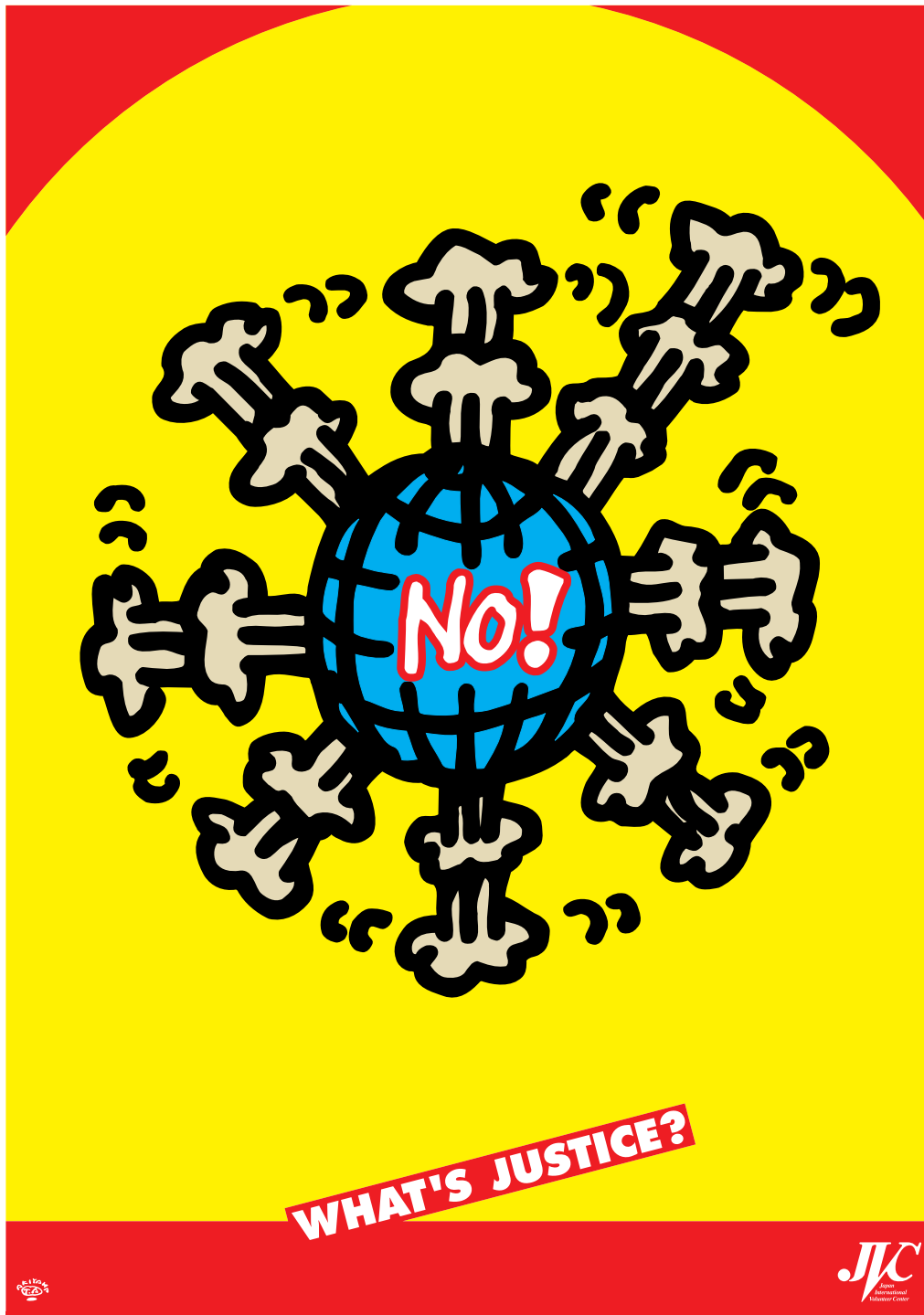
[Title] ----- 小さな美の感情展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2002
[Client] ----- 多摩美術大学、八王子ターミナルビル
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 「小さな美の感情展」は、八王子駅ビルNOWの小作品チャリティー展である。小さな作品を制作するのは簡単なようだが難しく、日常の美の発見や感動が重要だ。それを逃さずつかまえて作り上げる小作品は、まるで心臓の鼓動のようだ。だからこそ人々の心を打ち、芸術的な喜びを分かち合える。ポスターデザインは、キャンパスの前で小さな鼓動が規則的に打ち続けている様子をデザインしている。しかし、そのひとつひとつは微妙に異なり気持ちの動きを表している。



[Title] ----- メッセージ イラストレーション ポスター展
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2001
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションプロジェクト
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- イラストレーションを受講している3年生の展覧会告知ポスターである。イラストレーションを勉強していく中で、イラストレーションがどのようにメディアにおいて活躍するかを学ぶために「メッセージ・イラストレーション・ポスター」というタイトルで制作している。学生達の作品が銀座という華やかな街で目にさらされる教育的効果は絶大なものがある。ポスターデザインは、ポスター塔の頂上で鳥がメッセージを歌っているシーンを描いた。



[Title] ----- What's justice? ・何が正義か
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2001
[Client] ----- 日本国際ボランティアセンター (JVC)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- イラク戦争のボランティア活動のために制作したポスターだ。21世紀は戦争のない時代がやってくると信じていた。ところがそんなことはなくてまた戦争が起きてしまった。人間は同じ過ちを繰り返す動物だと思うと情けなくなる。「何が正義か、何が悪か」それを問うよりも戦争をやらないという強い意志の方が価値がある。しかし、現状はどうもそんなに甘くはなく国益優先の方が重大事だ。地球が怒りのために爆発をしNO!と叫んでいる。



[Title] ----- サンフランシスコ・アースデイ2000
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2000
[Client] ----- サンフランシスコ・アースデイ組織委員会
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- アースデイは国際的に自然保護を訴えるイベントで、さまざまな文化的な催事がありサンフランシスコ・シビックセンタープラザでは、音楽会やシンポジウムを行い、市民団体などが参加した。またゴールデンゲイトブリッジの自動車を止めて自転車だけのデモンストレーションを行った。このポスターは、サンフランシスコの至るところに掲示された。月桂樹に地球のキャラクターを配しサンフランシスコペイに朝日が昇っているデザインを考えた。



[Title] ----- Coexistence・共存 (whale)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 2000
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- このポスターはエコロジーポスター展のために制作した。「Coexistence」は「共存」という意味だ。3匹のクジラが噴水のようにしぶきをあげ、協力して生命体の住む地球を守っている姿を描いた。クジラは、北半球から南半球までの距離をコミュニケーションできる種類がいると言われている。しかも、IWC（国際捕鯨委員会）は1892年商業捕鯨を全面禁止する決定をした。日本の南氷洋捕鯨は1987年に、翌年に沿岸捕鯨も終止符を打った。



[Title] ----- Illustration Studies Tama Art University
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 2000
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学の共同研究で「イラストレーション学の確立」を旗印に1998年から研究をスタートした。そのプロジェクトの告知と研究のビジュアルシンボルとして制作し、一步一步着実に歩む姿を描いた。イラストレーションは、文字によるコミュニケーションとは異なり、絵（図像）を使用したビジュアルコミュニケーションを生業としている。イラストレーション表現は、一目で理解でき国際的な視覚言語の役割を持っている。



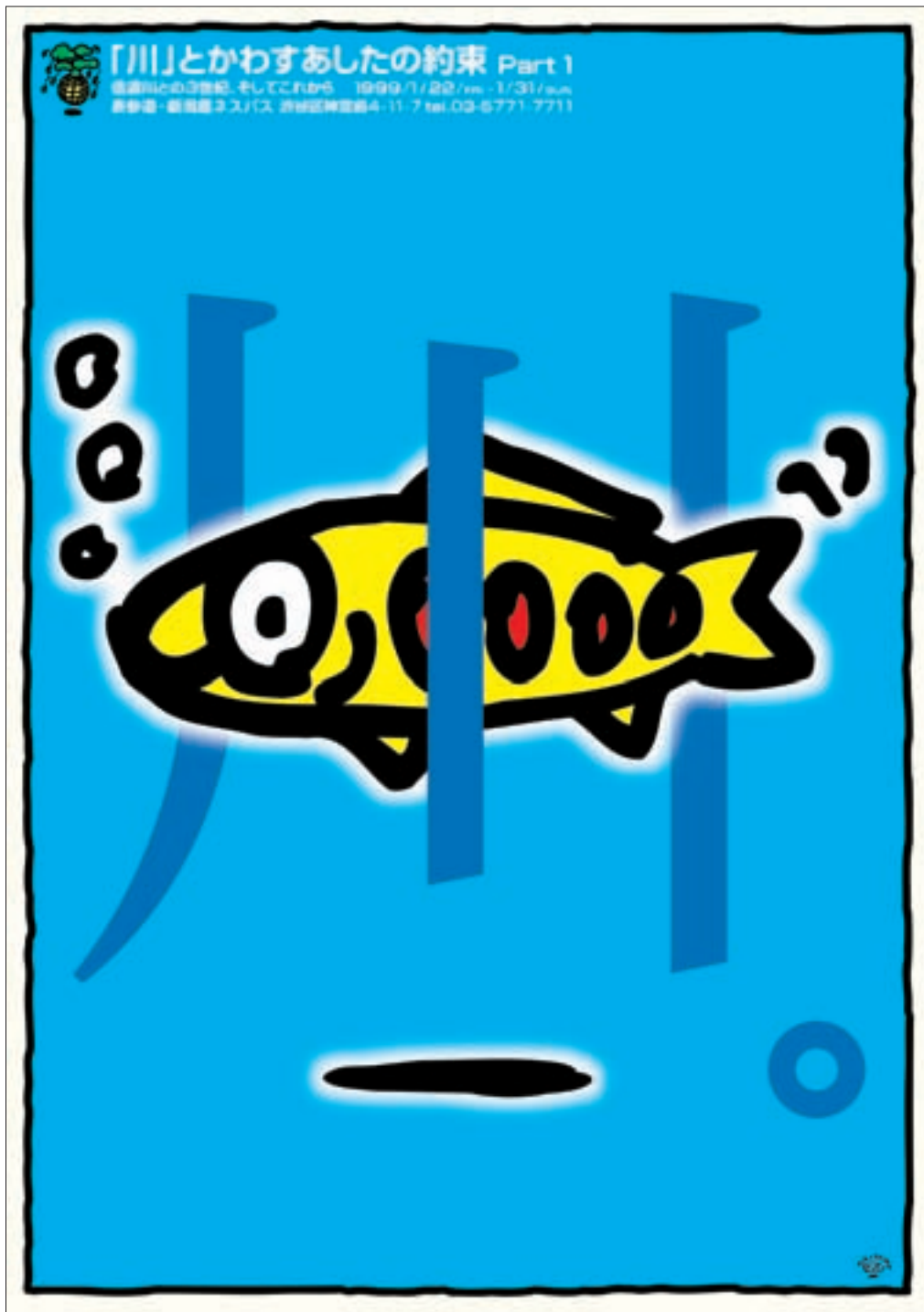
[Title] ----- No! LAND MINE (No!地雷)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1998
[Client] ----- 地雷廃絶日本キャンペーン
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 地雷廃絶キャンペーンは、国際平和ノーベル賞を受賞したキャンペーンで世界中に知られている。カンボジアはじめアジア、アフリカ、中東などで地雷の被害が問題になっている。この除去は、非常に危険で地道な作業だが国際的に重要だ。そこでこのポスターの役割は、活動しているボランティアの人々の活動理念の象徴的なビジュアルとして、勇気や希望を与えるものである。そして、だれもが地雷の危険を理解でき記憶に残るデザインを旨とした。



[Title] ----- No! インド核実験 1998
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1998
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Social

[Idea] ----- インド独立の指導者ガンジーは、自力で糸を紡ぎ、無抵抗主義を貫いた。人類において誰もが尊敬の念をいだく偉人である。その偉大な指導者をもちながら、保持し、実行してはならない核実験を行ったことはなんとも嘆かわしい。それを反対するために制作したポスターである。インドの知、ガンジーが額に汗をかき怒っているイラストレーションを描きポスターのデザインとした。顔は怒りに震え真っ赤になり、信号色の黄色と黒それにバックは天空を表す青で表現した。



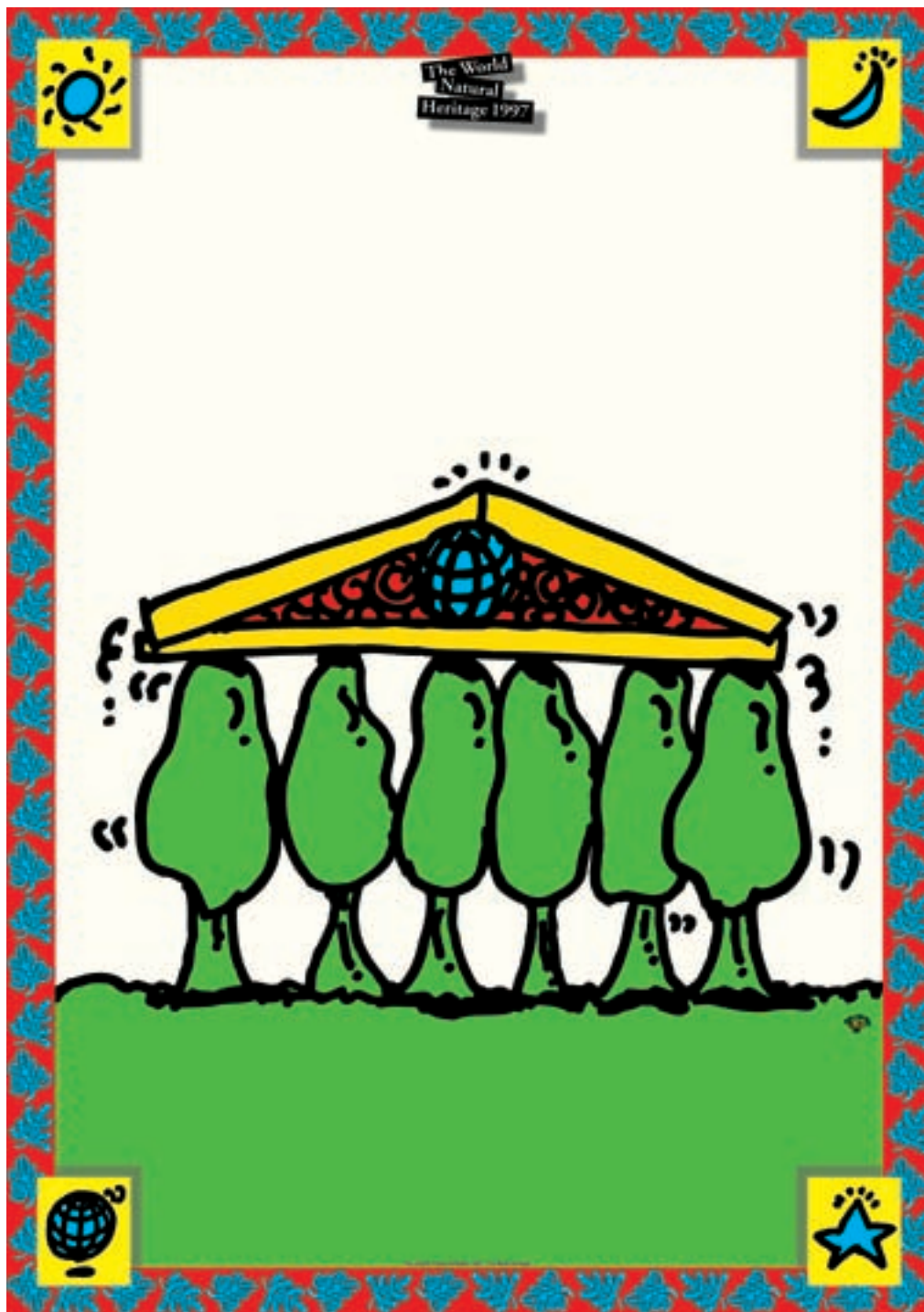
[Title] ----- 川とかわすあしたの約束
 [Size] ----- 841 x 594 mm (A1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 1998
 [Client] ----- 表参道・新潟館ネスパス
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 「川とかわすあしたの約束」「信濃川との3世紀、そしてこれから」というイベントが表参道・新潟館ネスパスで開催された。新潟の最大の川、信濃川をとりあげ、多角的に分析しユニークな展示、物産紹介やトークショーなどを企画し多くの人が集まった。ポスターデザインは、川という文字の象形文字的な扱いと川魚の神ヤマメをモチーフとした。川の文字は、ある時は川の杭にも見えるようレイアウトし、ヤマメの周囲は神の輝きをデザインに織り込んだ。



[Title] ----- Fax Art・東京・ヘルシンキ
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 1997
 [Client] ----- 多摩美術大学 Fax Artプロジェクト
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- Fax Artプロジェクトは、秋山孝クラスとヘルシンキ美術大学アルトマ&ピッポ・クラスとのジョイントプロジェクトだ。同時間に東京とヘルシンキの学生たちの作品をFaxで相互交換するという新しい試みの授業である。それを社会に発表し、学生の感性、考え方、問題意識の違いなどを検証することを目的にした。イラストレーションは、つねに時間性、時代性が重要なファクターとして考えられている。そこで学生達は、言葉を超え、イラストレーションが活躍する新たな領域を発見した。



[Title] ----- 世界自然遺産1997
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 1997
 [Client] ----- 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 世界遺産をテーマとした展覧会に出品した。世界遺産は、1972年の第17回ユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」のことだ。これによって、遺産の保護活動に向けた世界中の人びとの国際協力が推進され、日本は1992年にこの条約を批准し締約国となった。このポスターのアイデアは、世界遺産条約を自然が支えているイメージをビジュアル化したもので、自然の重要性を訴えるために、このようなイラストレーションのアイデアが生まれた。



[Title] ----- Stop Gun 八王子スーパー強盗事件
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 1997
 [Client] ----- 八王子警察署
 [Category] ----- Social

[Idea] ----- 1995年、東京都八王子市のスーパーマーケット事務所で、女性従業員3名が拳銃を使用した犯人に殺害された事件があった。殺害事件キャンペーンの目的は(1)情報を収集する(2)事件を風化させない(3)拳銃を持つことをやめる。ポスターのデザインは、拳銃がぼるぼるに崩れ落ちるイラストレーションを描き、周辺に多くの目を配列し、見逃さないイメージを作り上げた。この事件の早期解決と銃の廃絶を願い、このポスターは、多くの交番や警察署またバス車内に貼られ注目された。



[Title] ----- コーニュ国際自然映画祭 (イタリア)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1997
[Client] ----- コーニュ国際自然映画祭
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- イタリア北部モンテ・ピアンコがそびえる町コーニュで開催される国際自然映画祭の告知ポスターである。「コーニュ国際自然映画祭」は世界各国から参加し、1週間ほどこの町でエコロジーをテーマとした映画が上映される。美しいアルプスの麓を背景に自然の大切さと価値を認識するものである。ポスターは国際保護動物であるアイベックス (スタンベッコ) をモチーフとし、アルプスの崖に住む習性をイメージし自然映画を映写するデザインを作り上げた。



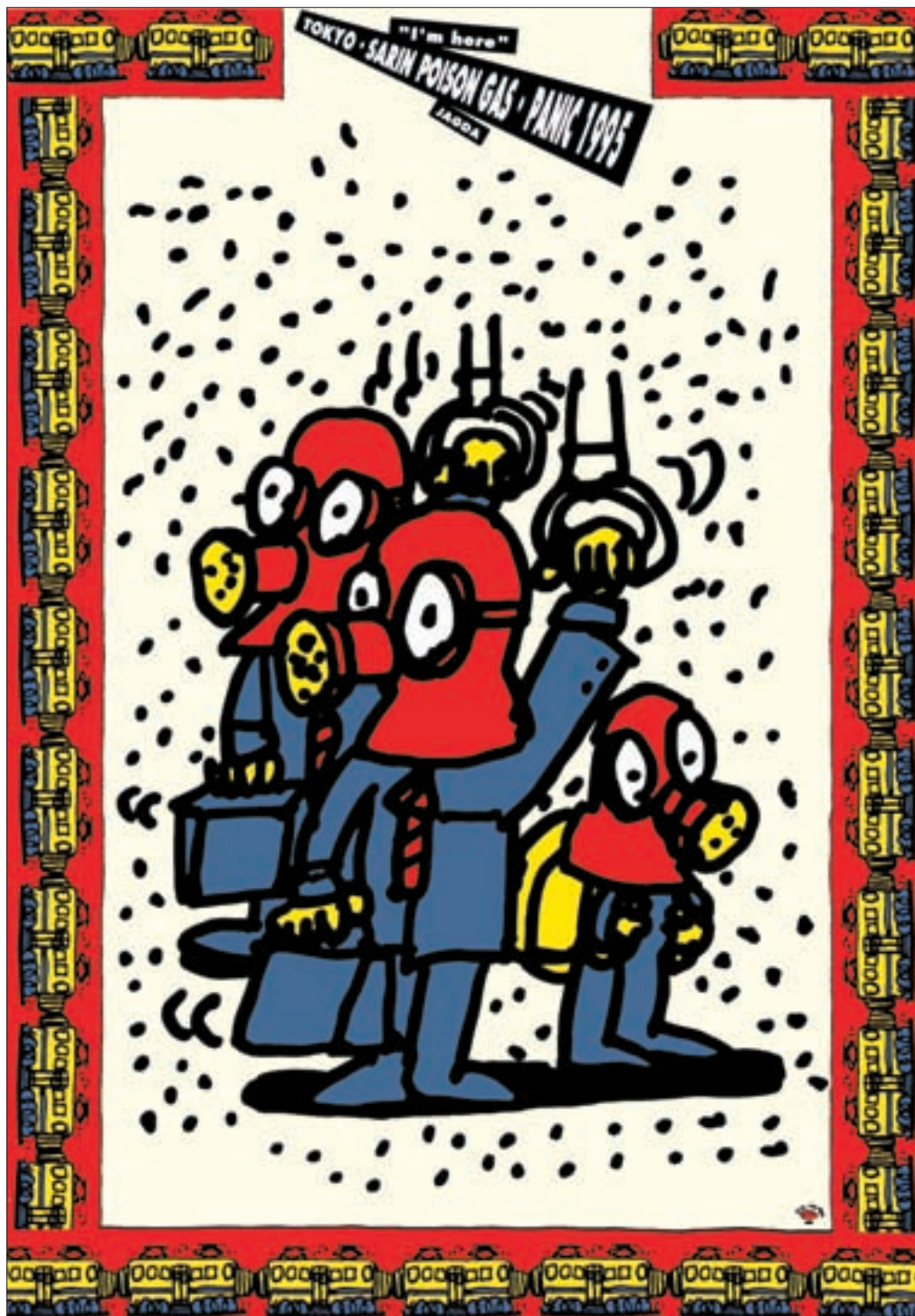
[Title] ----- Save The Earth - Wild Life
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1996
[Client] ----- マルチメディア夢工房
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 東京高田馬場にマルチメディア夢工房が出来た。それを記念して秋山孝の「Save The Earth」の展覧会が開催された。10枚シリーズの内の1点。ポスターデザインは、樹木が成長していくかのように鳥が羽ばたく自然のエネルギーを表現した。教科書の表紙デザインとしても使用された。



[Title] ----- Tokyo Image Panic 1995 (Earthquake)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 1995
 [Client] ----- 東京イラストレーターズ・ソサエティ (TIS)
 [Category] ----- Social

[Idea] ----- 1995年1月17日午前5時46分、淡路島北端を震源とし、M7.2の大きな地震、阪神大震災を記録したイラストレーションポスターである。地震を象徴するナマズをユーモラスに使い、家屋やビルが激しく揺れている状態を描いた。災害時の情報からくる心の混乱を描いている。そしてその周辺の東京では情報による精神的パニックが起きた。周辺にテレビを描いているのはそれを象徴している。



[Title] ----- 東京・地下鉄サリン事件1995・I'm Here
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 1995
 [Client] ----- 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)
 [Category] ----- Social

[Idea] ----- 東京・地下鉄サリン事件は、死者12人、重軽症者約5500人。オウム真理教が関与。この卑劣な行為は日本中を震撼させ、日本の安全神話に大きな影を落とした。ポスターデザインは、事件直後に行われた日本グラフィックデザイナー協会のテーマ「I'm here」の展覧会で、ぼくは上記の事件をとりあげ危険な無差別テロを問題としメッセージを送った。表現されているイラストレーションは、電車の中でもガスマスクが必要になる時代を風刺している。



[Title] ----- Thanks Mountain (bird)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 1995
 [Client] ----- デサント
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- スポーツウェアの専門メーカーのデサントから、秋山孝のブランド「Thanks Mountain」が70アイテムのスキーウェアとグッズとして発売された。スキーの楽しみは滑る行為だけではなく、そこにある山の風景を含む環境の美しさを共有することだ。山に感謝をし、お互いに尊重しあうことが大切だ。そのメッセージを着るウェアをデザインした。サンクスマウンテン！



[Title] ----- 写楽生誕200年祭ポスター展 1794 - 1994
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 1994
 [Client] ----- 毎日新聞社
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 写楽、生誕200年を記念するポスター展の作品である。東洲斎写楽になりかわって「大童山土俵入」を描いた。ユーモアたっぷりの大童山は、地球を手にしたエロゾー土俵入が得意で、現代のファンを楽しませている。ほかの作品を語るときに、江戸時代の浮世絵の芸術性や日本の独創性などから色濃く影響を受けていることを言わざるを得ない。そのシンプルでみごとな線描、カラフルで大胆な色面、それに印刷技術はグラフィックデザインの基本であり、ほかの教科書のようなものだ。

World AIDS Poster & Takashi Akiyama AIDS Poster Exhibition
1993.11.2
Ritsumeikan University



[Title] ----- World AIDS Poster & Takashi Akiyama AIDS Poster
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1993
[Client] ----- 立命館大学・学園祭委員会
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 立命館大学の学園祭で「World AIDS Poster & Takashi Akiyama AIDS Poster」の展示を行った。ポスターのサブタイトルは「Kick Aids」である。ポスターデザインは、大学生のシンボルの椅子が学生達の心配なエイズを元気にはじき飛ばしている様子をイメージした。



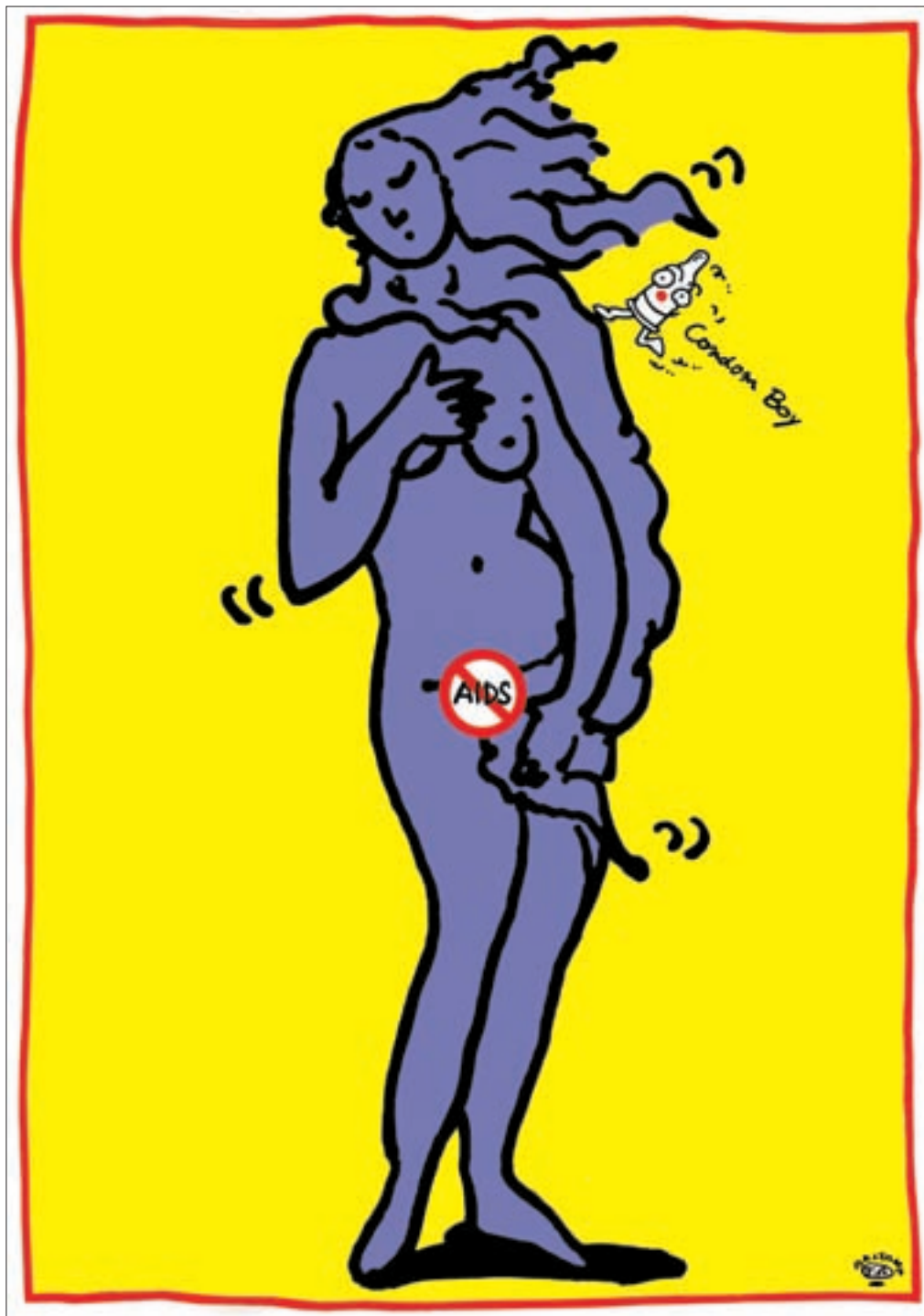
[Title] ----- Japan Ecology Poster in Warsaw
 [Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 1992
 [Client] ----- ポーランド日本友好協会 (ワルシャワ)
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- ポーランド日本友好協会主催によるエコロジーポスター展がワルシャワで開かれた。出品者は青葉益輝、秋山孝、U.G. サトー、松永真である。ポスターアイデアは、ともに赤色の自然を象徴する太陽「日の丸(日本の国旗)」大地を象徴するポーランドの国旗。この二つを重ねてポーランド日本友好のエコロジーポスターをデザインした。このシンプルでおおらかな抽象的なデザインを、ぼくはかなり気に入っている。



[Title] ----- ストップエイズキャンペーン
Takashi Akiyama コンドームくんとエイズウイルスくん
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1992
[Client] ----- ガーディアンガーデン (リクルート)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 渋谷・ガーディアンガーデンで「Takashi Akiyama コンドームくんとエイズウイルスくん」を開催した。キャンペーンのためのシンボルマークは、インターネットで理解できるように、赤の禁止の記号の中に黒のエイズという手描き文字をあしらった。キャラクターは「コンドームくん」という名前をつけ、キャラクター化し生命のいびきを与えた。



[Title] ----- Aids Condom Boy (venus)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1992
[Client] ----- ガーディアンガーデン (リクルート)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 15世紀にボッティチェリによって描かれたヴィーナス(女神)を題材に、女性の大切さと女性に対してのエイズの知識を持てるようなビジュアル表現をした。



[Title] ----- Aids Condom Boy (man)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1992
[Client] ----- ガーディアンガーデン (リクルート)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- エイズの問題は性による感染が中心だ、男性器がグロテスクにならないように山に見立てて偏見無く理解できるようユーモラスにデザインした。コンドームくんが登っている。



[Title] ----- Aids Condom Boy (lady)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 1992
[Client] ----- ガーディアンガーデン (リクルート)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 男性版と対のポスターで女性を抽象的に表現することによって、偏見を無くしエイズ感染の危険を知らせるためのポスターである。Yの字が面白い。



[Title] ----- Takashi Akiyama Aids Poster Exhibition in Atomi College
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 1992
 [Client] ----- 跡見学園女子大学・学園祭委員会
 [Category] ----- Social

[Idea] ----- 1992年日本中の大学生がエイズに対する問題を学園祭のテーマとして取り上げた。早々に名乗りを上げた跡見学園女子大学では、シンポジウムや「AIDS POSTER EXHIBITION ATOMI COLLEGE」というタイトルで秋山孝の展覧会を開催した。ポスターのサブタイトルは「Kick Aids」だ。ポスターデザインは「鉄腕アトム」と「アトム」をかけて明るく元気な強いキャラクターを作りKick Aidsを促した。



[Title] ----- Peace
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1991
[Client] ----- イスラエル美術館
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 湾岸戦争が続く中制作した。フセインがピエロになるまでのプロセスを描いた。ピエロからリターンして反対側に戻るとブッシュになる。二人ともピエロだということを暗示している。ポスターに浮かび上がる文字は、ヴィクトリーの「V」をデザインした。



[Title] ----- Wild Life Help (oil bird)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1991
[Client] ----- イスラエル美術館
[Category] ----- Social

[Idea] ----- このポスターは、イスラエル美術館の依頼で1991年の湾岸戦争を反対する展覧会のために制作した。湾岸戦争で流れた重油で鶉が重油まみれになった。全身重油まみれになった鶉を洗い落とすボランティアの姿は、この価値のない戦争を訴えているように映った。これをモチーフとして画面上部を赤、画面半分以上を黒にし対比的効果を作り上げ、体全体をレントゲン写真のようにし鳥の骨格を描いた。



[Title] ----- Save Tokyo Bay
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1990
[Client] ----- 船橋市漁業共同組合
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 東京湾の天然資源を守るプロジェクトのために制作したポスター。東京湾を代表する生鮮魚イワシの群れる習性をハートの形にしデザインした。1989年10月から1990年9月まで「月刊myふなばし」にて、船橋市漁業協同組合の「Save Tokyo Bay」のメッセージ広告を連載した。東京湾と自然のしくみを人々に理解してもらうためのキャンペーンだ。



[Title] ----- Bird Art Week (manet)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1989
[Client] ----- ストライプハウス美術館
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- ストライプハウス美術館で行われた個展「バードアートウィーク」のための三部作の一つ。マネの名作「笛吹きをベース」に、トキのさえずりが聞こえてくるようなバードアートウィークにしたかった。さぞかし美しい音色に違いない。



[Title] ----- Bird Art Week (raijin)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1989
[Client] ----- ストライプハウス美術館
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 5月のバードアートウィークにちなんで、宗達を描く雷神から発想し、絶滅の危機に瀕するトキの雷神をデザインした。天空を支配する雷神と、学問の神トキの結合だ。トキの風神は1988年「JAPAN」のポスターでイラストレーションにした。

SICK
THE EARTH



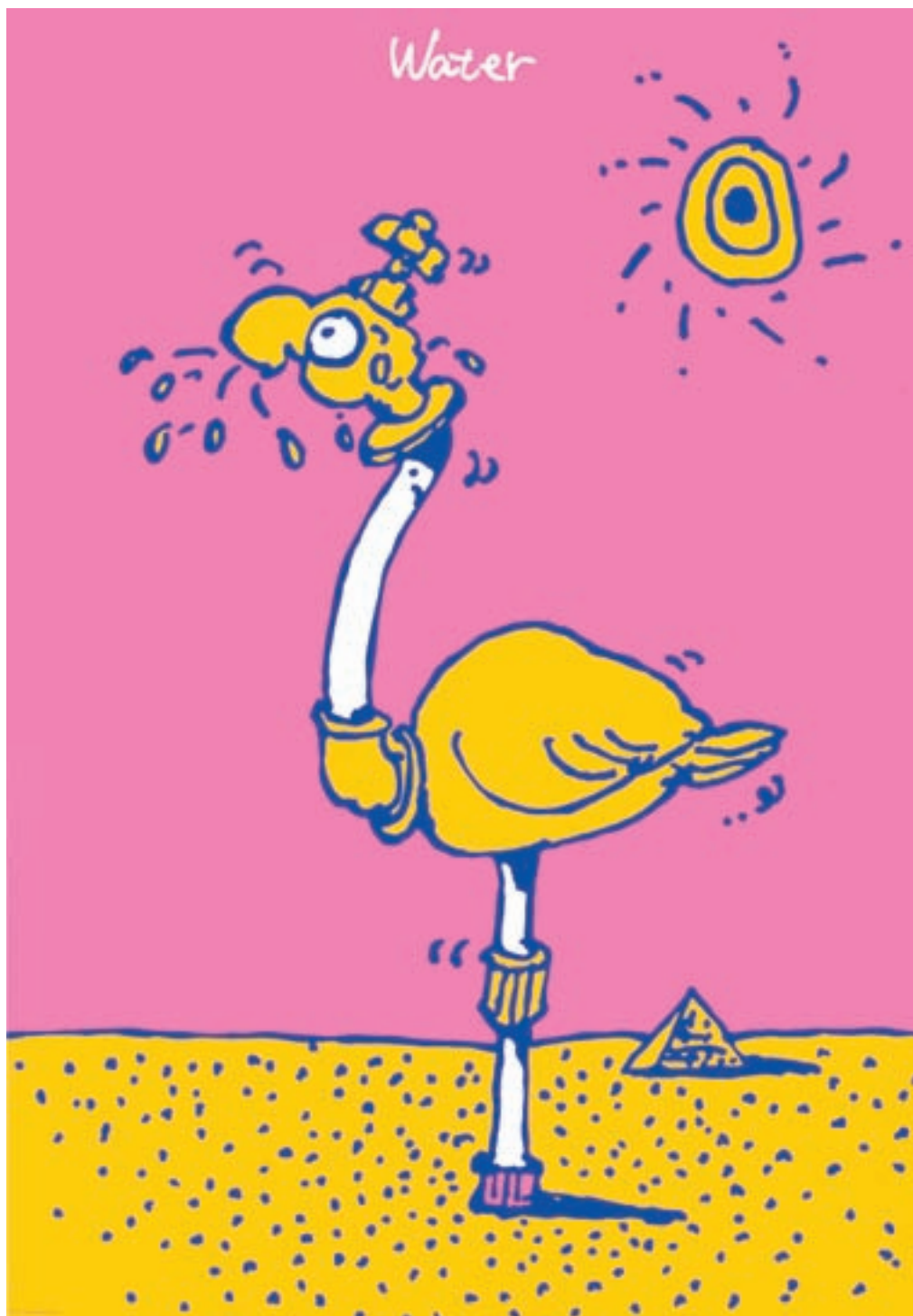
[Title] ----- Sick-The Earth
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1987
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 「地球」をテーマに制作した"The Earth"シリーズ4部作の一つだ。現在の地球には60億を超える私たち人間がいる。地球がひとつの生物と考えれば、擬人化することは容易にできる。この疲れ切ったように思われる地球をモチーフにしデザインをした。そして、危機を感じさせる黄色をバックに「病める地球」を表現した。



[Title] ----- Heart - The Earth
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1987
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- "The Earth"シリーズのこの作品は、平和の象徴ハトに抱かれる地球の卵をイメージした。ハトの温もりは、優しさに満ち安心できる懐のようだ。回復にはうってつけの場所だ。1991年環境庁・環境月間のポスターに、このイラストレーションを使った。



[Title] ----- ウォーター (水鳥蛇口)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy(Silk screen)
[Date] ----- 1987
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 砂漠化によって鳥が生活していけなくなることを諷刺した作品。水が最も大切な自然の恵みだということを訴えたかった。なにしろ水は大切だ。理解してもらうために、色彩とタッチは明るく軽いイラストレーション表現を試みた。



[Title] ----- Peace Face
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1988
[Client] ----- 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- JAGDA平和ポスター展に出品した作品。夜空と夜飛ぶ鳥の軌跡を男性の顔に見立て、そこに平和のメッセージを織り込んだものである。夜空にできる一瞬だ。



[Title] ----- Love Peace
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1986
[Client] ----- 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)
[Category] ----- Social

[Idea] ----- JAGDA平和ポスター展に出品した作品だ。平和や愛のことを二人は議論している。しかし、頭上には既に大きすぎるミサイルの頭がある。その影の中に行んでいるが二人とも気づかない。



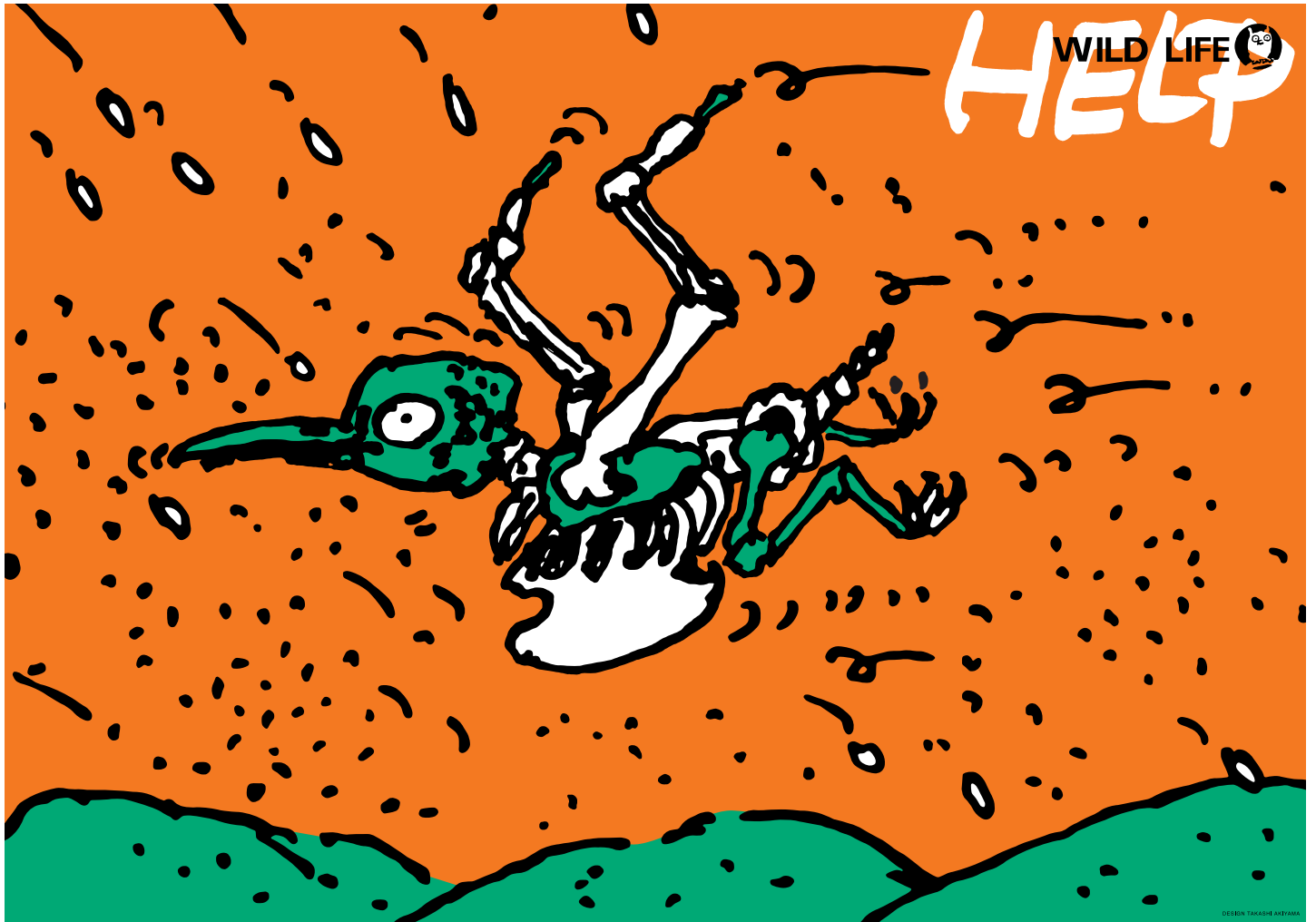
[Title] ----- 線 (天・地・海・鳥)
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1985
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 線の可能性を表した作品で、中心の線は地平線であり水平線である。自然の姿を一本の線で表現した。四隅に配された漢字は、天、地、鳥、海と書かれ、見方によって描かれたものが変化する、回転ポスターと呼んでいる。天が上になれば下方は果てしなく広がる大地。鳥が上になれば下方は大海原に渡り鳥が飛んでいる。



[Title] ----- 第2回バードカービング展
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 1984
 [Client] ----- バードカービングクラブ・財団法人日本鳥類保護連盟
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 木彫で鳥を彫り展示し、鳥類保護を訴えるクラブ「バードカービングクラブ」は1982年にぼくが設立した。その第2回の展覧会のためのポスターだ。木から鳥を作り上げるバードカービングであることから、生えている木がそのまま鳥になっているイラストレーションを描いた。



DESIGN TAKASHI ARIYAMA

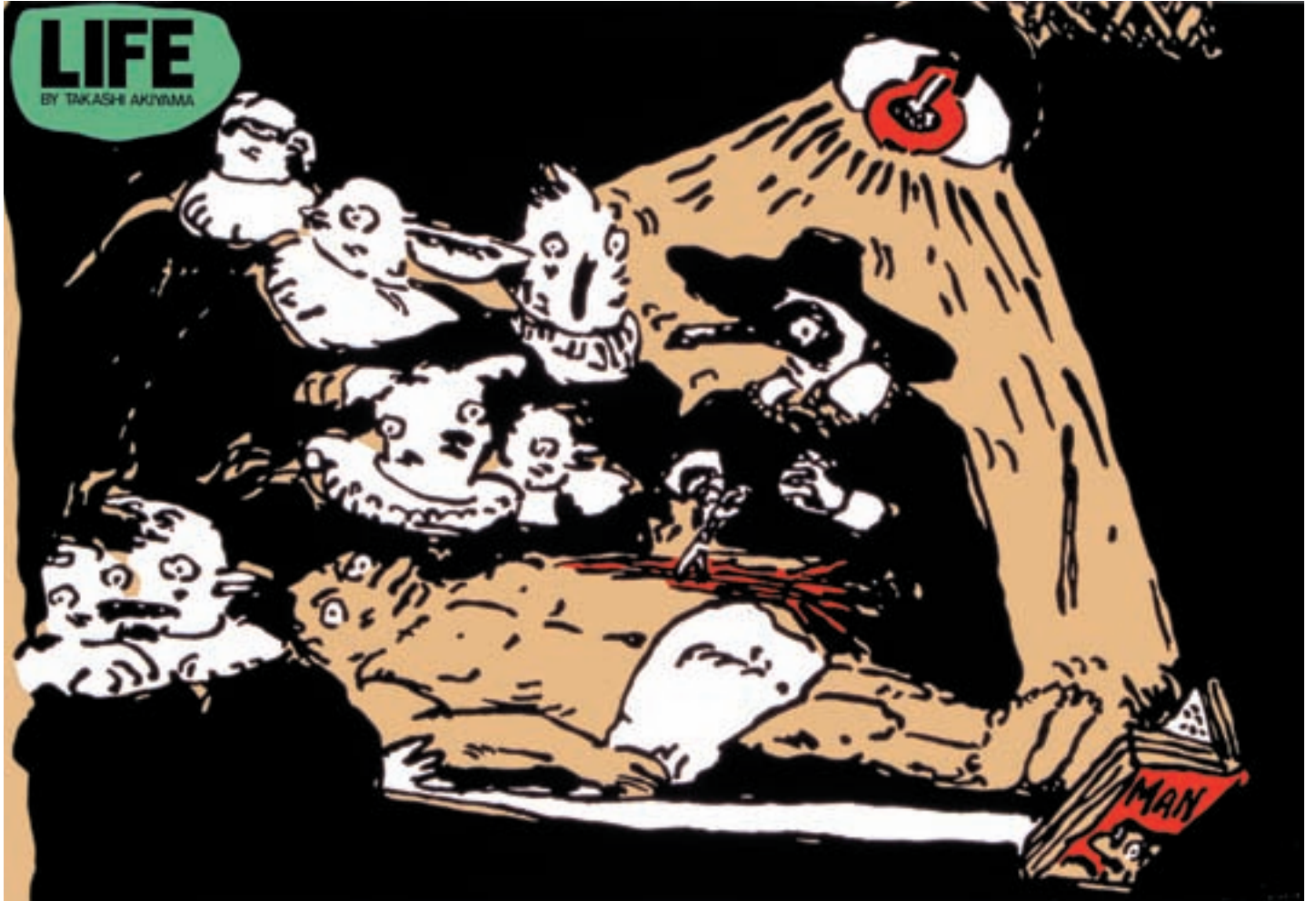
[Title] ----- WILD LIFE-HELP (骨格鳥)
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1984
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- このWILD LIFE-HELPの作品は、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレで金賞を受賞した作品だ。酸性雨が話題になっている時代であった。その中で浮かんだイメージは、鳥の骨だけが空を飛ぶ姿だ。それをすぐにスケッチした。2年後にチェルノブイリの原発事故が起きた。



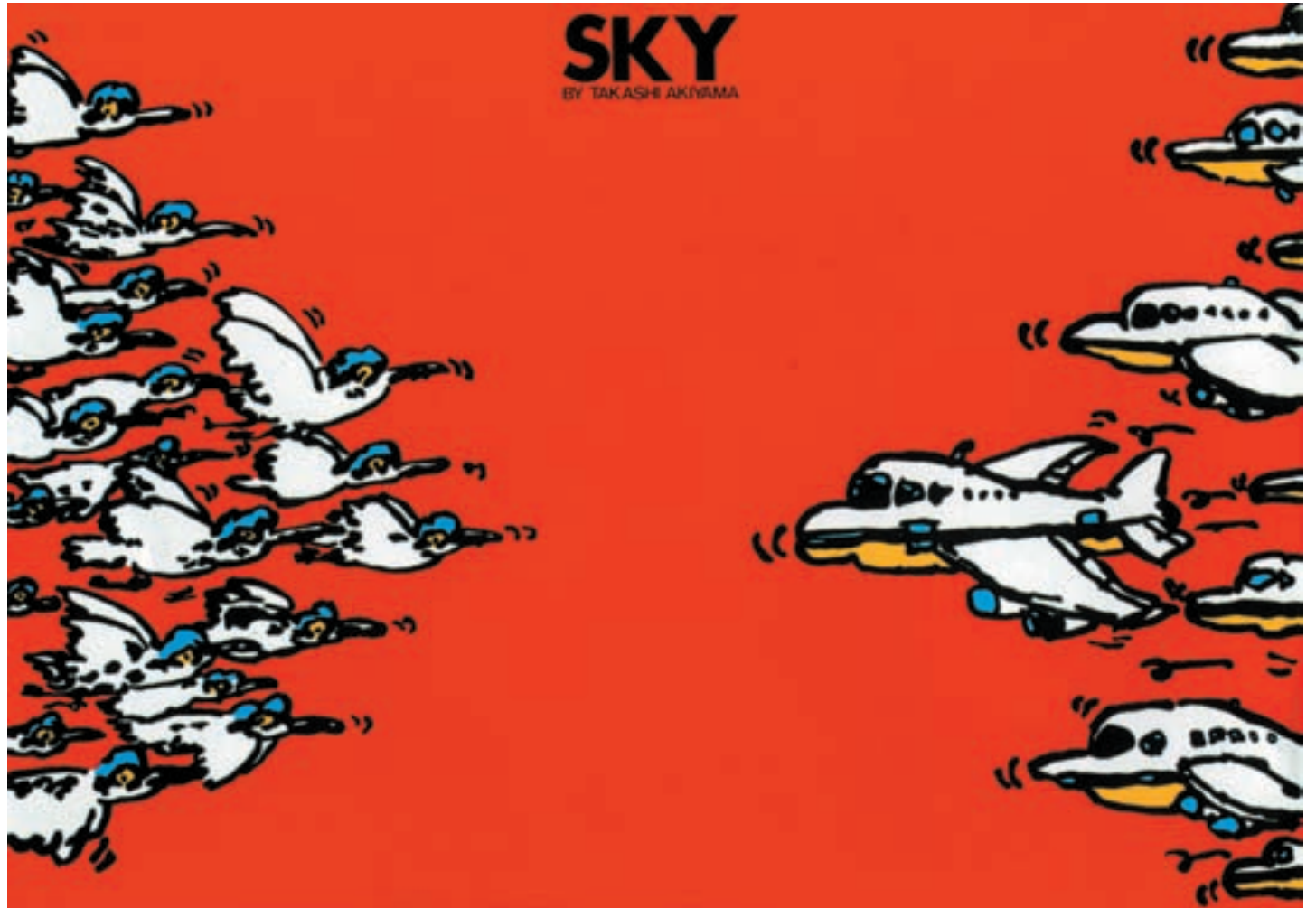
[Title] ----- アフリカ自然保護 (ハンター)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1984
[Client] ----- アフリカ統一機構加盟全大使館、(社)アフリカ協会
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 「AFRICA MONTH」のポスターコンクールの出品作(3部作)である。32歳の若い時に制作したものだ。今とは違い印刷コストが高くやり繰りをして印刷した。製版フィルムまで色別に自分で作り、印刷所には大きなフィルムで入稿した。当時、日本の高度経済成長に多くの矛盾を感じ批判的立場であった。もちろん全てが自主制作で自分の考えのメッセージを伝える事に終始していた。色はアフリカ色の特色を作り印刷し、文字の「A」の懷にアフリカの地図を入れた。



[Title] ----- Life
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1983
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 1982年に出版したイラスト集「Little Museum」の中のイラストレーションを使い、鳥類保護を促すためのポスターだ。レンブラントの「解剖学講義」のパロディでもある。



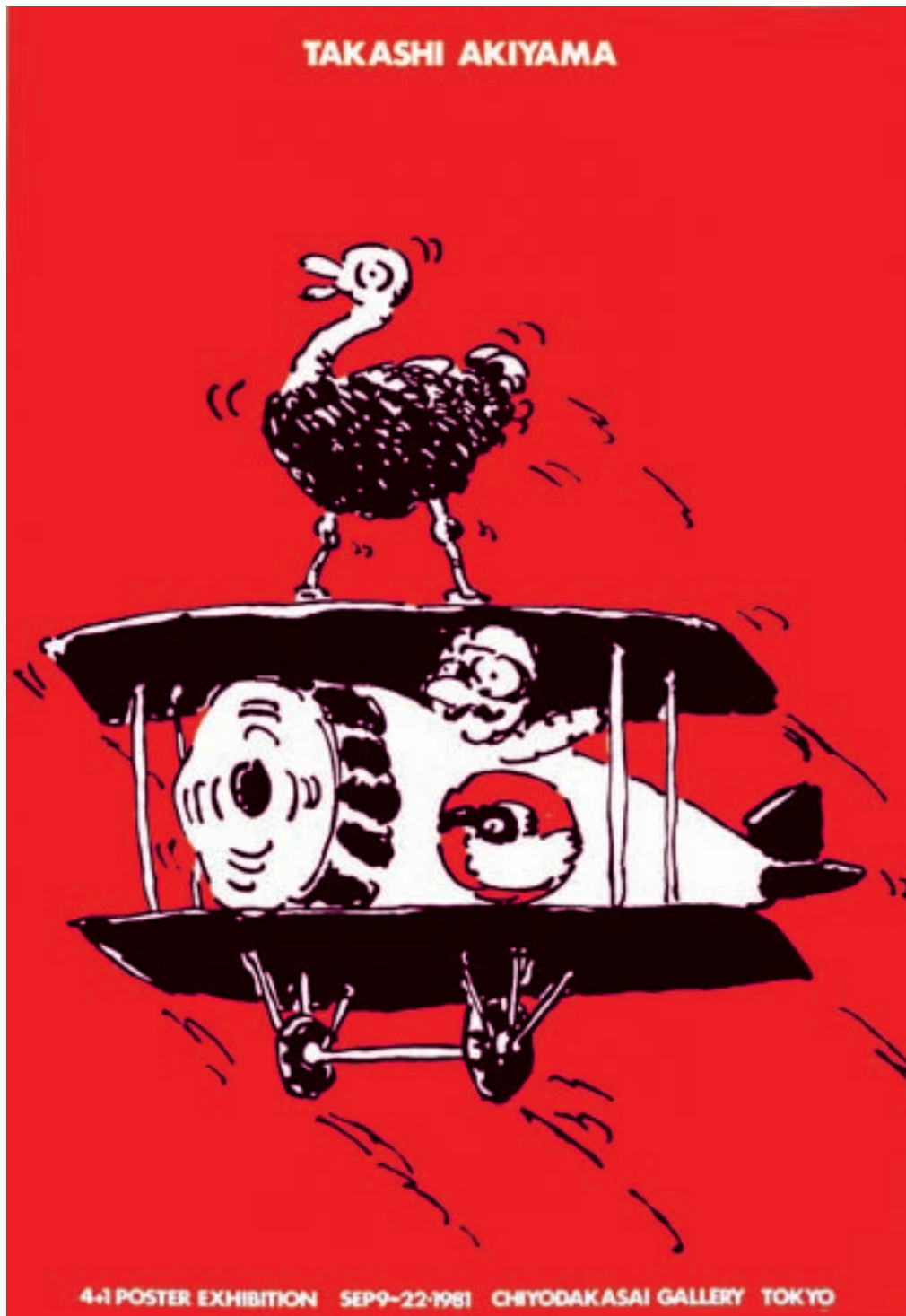
[Title] ----- Sky
[Size] ----- 728 x 1030 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1983
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 自然保護のためのポスター。鳥が飛行機の行く手を阻んでいるのか、飛行機が鳥の行く手を阻んでいるのか。とにかくこのままでは鳥が死ぬか飛行機が墜落するかだ。全共闘運動が盛んだった頃「右手にジャーナル、左手にパンチ」といわれ当時の学生層にもよく購読されていた「週刊朝日ジャーナル」の表紙絵になった。



[Title] ----- Bird - Keeper (owl)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
[Date] ----- 1982
[Client] ----- 秋山孝事務所
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- Bird - Keeperのシリーズは3枚シリーズで、NAAC展に出品しTGC賞を受賞したものだ。フクロウの子どもを羽の中で守っているのは彼らの親だ。森や野鳥を守らなければならない存在と、守る義務のある立場とを母性愛を通して表現した。5羽のヒナの中には優秀なヒナもいるが、目が不自由などの障害を持ったヒナもいる。



[Title] ----- Takashi Akiyama (4+1 Poster Exhibition)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Serigraphy (Silk screen)
 [Date] ----- 1981
 [Client] ----- 4+1 Poster Exhibition
 [Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 千代田火災ギャラリーで、東京藝術大学大学院福田繁雄クラス院生1年2年生の四人でやった秋山孝、太田豊、蓮見智幸、藤掛正邦のポスター展。それに福田繁雄先生を加えて、「4 + 1」というタイトルをつけた。ポスターのアイデアは飛べないダチョウが二枚羽の練習機に乗り、悠々と空を飛んでいる姿を描いた。まるでぼくたちの創作による旅立ちを暗示するかのようだ。もう既に福田繁雄先生、蓮見智幸は他界した。





1916年(大正5)に六十九銀行(現北越銀行)の煉瓦づくりの本店が竣工された。現在は取り壊されて存在していない。瀟洒なデザインの旧北越銀行宮内支店も本店のビクトリア様式から由来するものに違いない。この写真は、北越銀行創業130年記念「130年物語」の表紙に使用されたものだ。



足場の幕が取れ、修復された「秋山孝ポスター美術館長岡」正面の姿が現われた。(2009年4月27日13時57分撮影)歴史的建造物である美術館の建物は1925年(大正14)に建設され、北越銀行宮内支店として宮内・摂田屋地区周辺の人々に貢献した。



東南(後部)から見る「秋山孝ポスター美術館長岡」。写真画面左の壁面を「地の壁」と呼んでいる。正面に近い窓ガラスは、度重なる地震でひび割れた。それを忘れないために保存した。



醸造の街撰田屋は、旧三国街道に沿ってできた。醤油蔵のある「越のむらさき」醤油桶(1928年製造杉材で重さ約1t、1.8ℓ瓶で約5千本)と受付玄関に飾られていた雪積もる風景の写真(1981年1月)。水豊かに流れる川は福島江。



旧三国街道「越のむらさき」から「吉乃川」方面を眺める。(2008年11月29日14時7分撮影)



摂田屋を過ぎて蓬平に向かう横枕あたりからみた東山。わずかに残雪がある。(2007年3月18日16時11分撮影)



中越酒造株式会社 元造 川の吉 酒 長岡



吉澤仁太郎 元造 酒ニラフサ那機 酒造 長岡



長谷川弥吉 元造 酒 初日初 酒造 長岡



星野本店 元造 酒 油 酒造 長岡

長岡に統合される前の古志郡上組村時代の
 広告イラストレーションで、「醸造の街・撰
 田屋」を伺い知ることができる。(時代不明)



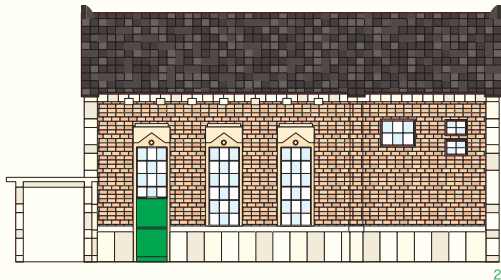
左官・河上伊吉の日本一美しいコテ絵の「機那サフラン酒・蔵」(登録有形文化財)。左ページにあるサフラン酒(吉澤仁太郎)の屋敷にこの蔵はまだ登場していない。美術館オープニングの展示第2会場。

APM news 001

秋山孝ポスター美術館 長岡

金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）

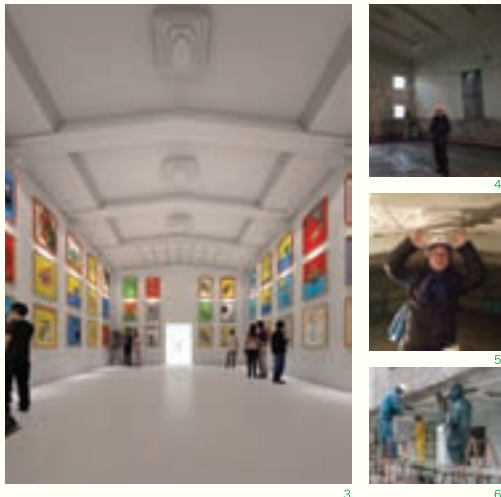
歴史的建造物・秋山孝ポスター美術館長岡 修復中



火をくい止めた美術館「火の壁」と、中越地震を生き延びた美術館「地の壁」の名を持つ

新潟県長岡市は、いくつもの難儀を背負ってきた町です。それは、1868年(慶応4)の戊申の役、1945年(昭和20)第二次大戦において県内唯一焼夷弾投下による空襲被災を受け多くの人々がなくなり、また2004年(平成16)新潟県中越地震においても大きな災害を受けました。その都度、力強く立ち上がり生き抜いてきました。

長岡市には、復興にあたり大切にしてきたものに「未来に向けての教育」があります。それは人々に歴史を通して街の誇りを作り上げ、それを支えるのが 東山と信濃川からの美しい自然と恵みです。その結果小さな街にも関わらず博物館や美術館が多くあり、「豊かな美を感じる精神」を育ててきました。デザイン都市長岡に、世界でも類のないポスターを中心とした瀟洒な美術館が生まれます。



フレンチトラスト(鉄骨造) 85年の歴史的建造物の美術館

本館は1925年(大正14)、豪雪地帯で活躍したフレンチトラスト(鉄骨造)を持つ、鉄筋コンクリート造の建造物で銀行として建築されました。その歴史的建造物は、20年(大9)に長岡貯蓄銀行宮内支店として開設されたが、21年(大10)長岡商業銀行と改名し、25年(大14)に新築されました。29年(昭4)六十九銀行に合併し、42年(昭17)北越銀行宮内支店となり、さらに45年(昭20)第二次大戦空襲による火災にも遭遇し、その後、70年(昭45)に田上商店倉庫となりました。築後85年を迎えようとする大正時代の趣を残す歴史的建築物です。

「雪・山・川・味噌・醤油・酒・蔵」旧三国街道の宮内・摂田屋

長岡市に残された歴史的な香りのする街、旧三国街道に沿ってこの街ができた。旧三国街道を走る摂田屋は、江戸時代には天領に組み込まれ、殿様でも籠を降りて歩かれた。別名「殿様街道」の名前を持っている。史跡・名所があり、歴史的散策が楽しめる。摂田屋は蔵の生きた博物館の変遷を楽しめる。左官・河上伊吉の日本一美しいコテ絵の「機那サフラン酒」の蔵、ツタの絡まる「吉乃川(極上吉乃川)」の酒蔵、「長谷川酒造(初日正宗)」の酒蔵、「越のむらさき」の醤油蔵。星野本店(ヤマホシサンの醤油)、手作り味噌の星六、河井継之助率いる長岡藩が北越戊辰戦争の始まりを告げた光福寺、絵雑誌「コドモノクニ」創刊に関わった童画家の川上四郎の誕生の地などを持つ街、宮内・摂田屋。



- 1: 秋山孝ポスター美術館長岡・入口(西側) 美の壁
 2: 秋山孝ポスター美術館長岡(南側) 地の壁
 3: ギャラリー完成予想図
 4,8: 展示室・修復中
 5: 展示室天井・修復中
 6: 正面雁木および(西側) 美の壁
 7: 金庫扉(旧北越銀行)
 9: 瓦葺替え
 10: 左から高田清太郎、秋山孝、渡辺斉

秋山孝ポスター美術館長岡サポーターズ倶楽部 発行 2009年4月1日
 事務局・準備室 〒940-1105
 新潟県長岡市摂田屋5-6-22(株式会社高田建築事務所内) TEL 0258-36-1230

秋山孝ポスター美術館長岡 〒940-1106新潟県長岡市宮内2-10-8

APM news 002

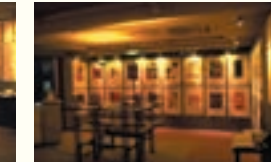


秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新潟県長岡市にある受発信するポスター美術館

「秋山孝ポスター美術館 長岡」とは？



イラストレーションとポスターを国際的に研究する美術館

ミュージアム(Museum)は紀元前3世紀、エジプトのアレキサンドリアに設けられた総合学術機関ムセイオン(Mouseeion)に由来します。本美術館はイラストレーションとポスターを国際的に研究する美術館です。秋山孝は多摩美術大学グラフィックデザイン学科の教授です。イラストレーションとポスターをテーマとして研究し、イラストレーションスタディーズのプロジェクトの始まりは1997年で、フィンランドのヘルシンキ美術大学アルトマ&ピッポクラスと多摩美術大学秋山孝クラスのジョイントプロジェクトで、同時に東京とヘルシンキの学生達の表現するイラストレーションを相互交換するという、新しい授業の試みから始まりました。イラストレーションスタディーズのプロジェクトは今年で12年目になります。例えば、研究成果として多摩美術大学美術館での多摩美術大学70周年記念事業「東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本」、韓国・光州の「光州デザインビエンナーレ2007」での展示などが挙げられます。

目的・必然性・内容を大切にしたい展示を目指す美術館

ギャラリー展示コンセプトは3つあり、年間2回の展覧会を行うことを基本とします。1.秋山孝ポスター作品やオリジナル作品展、2.長岡の地域に貢献するポスター展、3.特別企画展、とイラストレーションとポスターをテーマとした研究成果に基づいた発表の展示を中心にし、目的・必然性・内容などを大切にしたい展示を目指しています。

小林虎三郎の教育精神を受け継いだ美術館大学

小林虎三郎の「米百俵の精神」にあるように、1868年(慶応4)の戊辰戦争に敗れた長岡藩において「どんな苦境にあっても教育をおるそかにできない」と主張し、1869年(明治2)5月1日から、焼け残った長岡城下四郎丸村の昌福寺の本堂を仮校舎として、国漢学校を開校しました。また教育が「戊辰戦争後の長岡を立て直す一番確かな道」と説きました。このように長岡市は教育を大切にしたい歴史のある街です。本美術館もこの精神ののっとり、年5回の「美術館大学」という名の講演会を行い、教育を大切にしたい美術館です。

休館日の長い美術館(開館日4月~10月 / 閉館月11月~3月)

本美術館は、4月から10月まで開館し、展示します。11月から3月まで研究調査、展示準備のため閉館を基本とします。それは、あくまで小美術館ですので、展覧会準備や研究に膨大な時間がかかるため、季節の良い時に開館いたします。



Fax Art Tokyo-Helsinki (王子ペーパーショップ銀座) 1997年
1,2:会場、3:カタログ
多摩美術大学70周年記念事業「東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本」展 (多摩美術大学美術館) 2007年
4:カタログ、5:入口・国旗、6:会場
7:藤谷直人・多摩美術大学理事長/秋山孝
「光州デザインビエンナーレ2007」韓国
8:会場、9:金大中・韓国元大統領/秋山孝

秋山孝ポスター美術館長岡サポーターズ倶楽部 発行 2009年5月1日
事務局・準備室 〒940-1105
新潟県長岡市撰田屋5-6-22 (株式会社高田建築事務所内) TEL 0258-36-1230

秋山孝ポスター美術館長岡 〒940-1106新潟県長岡市宮内2-10-8

イラストレーションポスターの巨匠たち・海外編

ワルシャワを中心としたラティ・メキシコ・トヤマ 他 (国際ポスタービエンナーレ) 1985年～2007年



エリク・リピンスキ / Eryk Lipinski / Poland (1908 - 1991) ポーランド



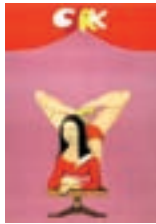
ポール・ランド / Paul Rand / U.S.A. (1914 - 1996) アメリカ



ヘンリク・トマシェフスキー / Henryk Tomaszewski / Poland (1914 - 2005) ポーランド



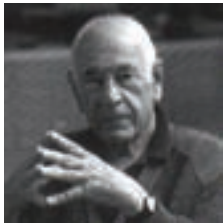
ヴィクトル・ゴルカ / Wiktor Gorka / Poland (1922 - 2004) ポーランド



マチェイ・ウルバニェツ / Maciej Urbaniec / Poland (1925 - 2004) ポーランド



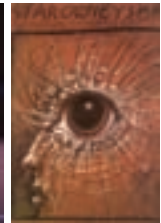
ヤン・レニツァ / Jan Lenica / Poland / France (1928 - 2001) フランス



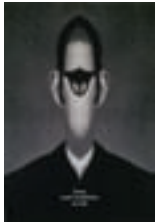
アンドレ・フランソワ / Andre Francois / Romania / France (1915 - 2005) ルーマニア / フランス



ヤン・ムドゼニェツ / Jan Mlodzieniec / Poland (1929 - 2000) ポーランド



フランチェク・スタロヴェイスキ / Franciszek Starowieyski / Poland (1930 - 2009) ポーランド



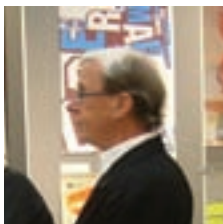
ロマン・チスレヴィツ / Roman Cieslewicz / Poland / France (1930 - 1996) ポーランド / フランス



ヴァルデマル・シュヴェジ / Waldemar Swierzy / Poland (1931 -) ポーランド



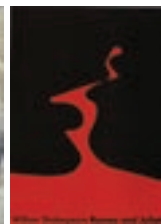
シーモア・クワスト / Seymour Chwast / U.S.A. (1931 -) アメリカ



キヨスティ・バリウス / Kyosti Varis / Finland (1932 -) フィンランド



フランコ・ balan / Franco Balan / Italy (1934 -) イタリア



ボルトルロッチ / Gianni Bortolotti / Italy (1937 - 2007) イタリア



タパニ・アルトマ / Tapani Aartomaa / Finland (1934 -) フィンランド



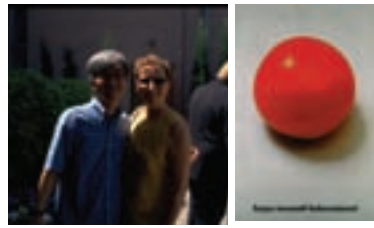
ロスマリー・ティッシ / Rosemarie Tissi / Switzerland (1937 -) スイス



ポール・デイビス / Paul Davis / U.S.A. (1938 -) アメリカ



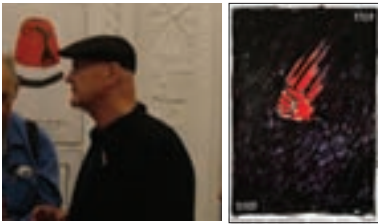
ミッシェル・クワレーズ / Michel Quarez / France (1938 -) フランス



キリッキ・サルミネン / Kylliki Salminen / Finland (1938 -) フィンランド



マーシャル・アリスマン / Marshall Arisman / U.S.A. (1938 -) アメリカ



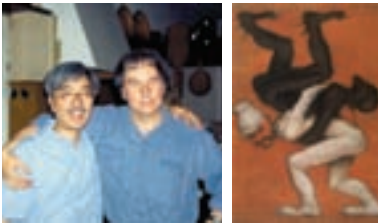
ギュンター・ランボー / Gunter Rambow / Germany(1938 -) ドイツ



オルガー・マチス / Holger Matthies / Germany(1940 -) ドイツ



アントニオ・ペレス・ニニコ / Antonio Perez Gonzalez Niko / Cuba/Mexico (1941 -) キューバ / メキシコ



ミェチスワフ・グロフスキー / Mieczyslaw Gorowski / Poland (1941 -) ポーランド



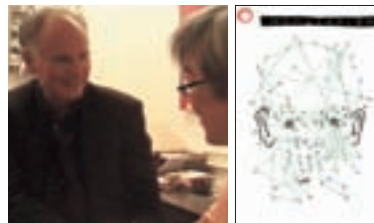
ミェチスワフ・ヴァシレフスキ / Mieczyslaw Wasilewski / Poland (1942 -) ポーランド



ピエール・ベルナル / Pierre Bernard / France (1942 -) フランス



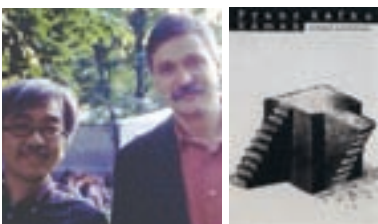
ジェラルド・パリス・クラベル / Gerard Paris Clavel / France (1943 -) フランス



ラニー・ソマーズ / Lanny Sommese / U.S.A. (1943 -) アメリカ



アラン・ル・ケルネック / Alain Le Querne / France (1944 -) フランス



カレル・ミシェク / Karel Misek / Czech (1945 -) チェコ



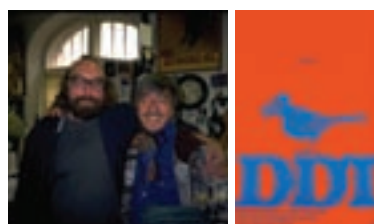
ヴィエスワフ・ロソハ / Wieslaw Rosocha / Poland (1945 -) ポーランド



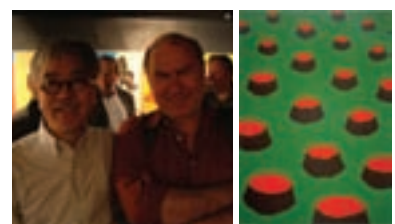
カリ・ピッポ / Kari Piippo / Finland (1945 -) フィンランド



ペッカ・ロイリ / Pekka Loiri / Finland (1946 -) フィンランド



ユッカ・ベイトローラ / Jukka Veistola / Finland (1946 -) フィンランド



ニクラウス・トロクスラー / Niklaus Troxler / Switzerland (1947 -) スイス



レフ・マエフスキ / Lech Majewski / Poland (1947 -) ポーランド



アレックス・ジョーダン Alex Jordan / France (1947 -) フランス



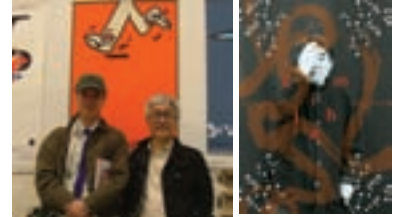
スタシス・エイドリゲヴィチウス / Stasys Eidrigevicius / Lithuania / Poland (1949 -) リトアニア / ポーランド



ピーター・ポーチ / Peter Pocs / Hungary (1950 -) ハンガリー



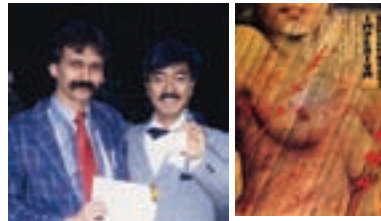
イシュトゥヴァン・オロス / Istvan Orosz / Hungary (1951 -) ハンガリー



アン・サンズー / Ahn Sang-Soo / Korea (1952 -) 韓国



ハビエル・ベルムデス / Xavier Bermudez / Mexico (1953 -) メキシコ



アンジェイ・ボンゴスキー / Andrzej Pagowski / Poland (1953 -) ポーランド



ヴラデミール・チャイカ / Vladimir Chaika / Russia (1955 -) ロシア



フィン・ニュゴール / Finn Nygaard / Denmark (1955 -) デンマーク



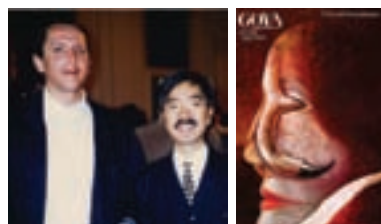
ヴィエスワフ・ヴァウクスキ / Wieslaw Walkuski / Poland (1956 -) ポーランド



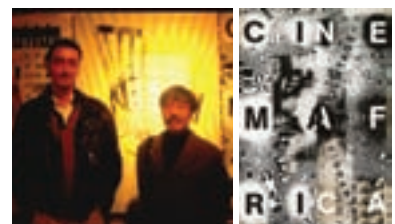
ピオトロ・ムドゼニエツ / Piotr Młodzieniec / Poland (1956 -) ポーランド



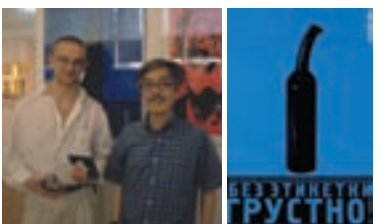
メルク・インボーデン / Melchior Imboden / Switzerland (1956 -) スイス



ヴィクトル・サドフスキ / Wiktor Sadowski / Poland (1960 -) ポーランド



ラルフ・シュライボーゲル / Ralph Schraivogel / Switzerland (1960 -) スイス



アンドレイ・ログビン / Andrey Logvin / Russia (1964 -) ロシア



ヤニナ・フィヤコフスカ / Janina Fialkowska / Poland (不詳) ポーランド (ヴィラヌフポスター美術館 前館長 / ワルシャワ)



マリア・クルピク / Maria Kurpiak / Poland (1956 -) ポーランド (ヴィラヌフポスター美術館 館長 / ワルシャワ)



秋山孝 Takashi AKIYAMA

社会の出来事

- 1952年 (昭和27)
 - ・血のメーデー事件
 - ・ヘルシンキ五輪大会、日本も初参加
 - ・PTAが誕生
 - 「Graphis Annual」創刊 (スイス)

1953年 (昭和28)

- ・キューバ革命 (1953-59)
- ・中国「第一次5カ年計画開始」
- ・ヨシフ・スターリン死去 (ソビエト)
- ・朝鮮休戦協定
- ・吉田茂首相「バカヤロウ解散」
- ・NHKがテレビ放送を開始
- ・横綱羽黒山引退
- ・日本初のスーパー「紀ノ国屋」が東京青山に開店
- 第3回日宣美展 (日本橋・三越) この回から一般公募始まる

1954年 (昭和29)

- ・アメリカ、ビキニ環礁で水爆実験「第五福竜丸」
- ・中華人民共和国憲法制定、毛沢東が国家主席に
- ・日本初のSF映画「ゴジラ」公開
- ・日本テレビ系プロレス中継、力道山活躍
- 東京ADC第1回展 (銀座・資生堂画廊)
- グロピウスとパウハウス展 (東京国立近代美術館)
- 「プッシュピンスタジオ」設立 (米国)

1955年 (昭和30)

- ・10月1日新潟市で大火
- ・ロサンゼルス、ディズニーランド開園 (ディズニー55歳)
- ・広島で第1回原水爆禁止世界大会開催
- ・森永ヒ素ミルク事件
- ・トランジスタラジオ、リコー、電気釜発売
- 原弘、河野鷹思、亀倉雄策、伊東憲治、早川良雄、山城隆一
- グラフィック55〜今日のグラフィックデザイン展 (日本橋、高島屋)

1956年 (昭和31)

- ・日本、国際連合に加盟
- ・フルシチョフによるスターリン批判
- ・スエズ動乱
- ・ハンガリー暴動
- ・弥彦神社2年参り福もちの奪い合いで124人圧死
- ・「宗谷」で第一次南極観測隊が出発
- 横山光輝「鉄人28号」連載開始

1957年 (昭和32)

- ・ソ連、世界初の人工衛星「スプートニク」打ち上げ成功
- ・東京人口世界一
- ・三種の神器 (テレビ、冷蔵庫、洗濯機)
- 東京ADC賞制定。金賞=大橋正「明治製菓の新聞広告イラストレーション」

1958年 (昭和33)

- ・日米安保条約改定交渉開始
- ・中国「大躍進政策」開始
- ・東京タワー完成
- ・一万円札発行
- ・NASA (アメリカ航空宇宙局) 発足
- ・特急「こだま」運転開始
- ・即席「チキンラーメン」
- ・「フラフープ」流行
- ・マイカー時代
- 年間広告費1000億突破

1959年 (昭和34)

- ・中国国家主席が毛沢東から劉少奇に交代
- ・キューバ革命政府が成立
- ・皇太子 (現=天皇) と結婚
- ・伊勢湾台風。死者5041人
- ・中ソ間イデオロギー対立激化
- ・トランジスタ使用のコンピュータ「IBM1401」登場
- ・テレビ朝日系「ローハイド」始まる
- ・「黒いのはなびら-南国土佐を後にして」がヒット
- ・トランジスタグラマー、カミナリ族

1960年 (昭和35)

- ・安保条約反対闘争
- ・自民党所得倍増計画・高度経済成長政策発表
- ・チリ地震津波襲来
- ・カラーテレビ放送開始
- 日本専売公社が「ハイライト」のデザインを公募
- 多摩美大生だった和田誠のデザインが採用となる

1961年 (昭和36)

- ・中国「大躍進政策」停止
- ・ソ連が世界初の有人宇宙旅行 (ボストーク1号) に成功
- ・ベルリンの壁構築
- ・韓国で軍事クーデター
- ・新潟36年豪雪
- ・「コカ・コーラ」日本発売
- ・「上を向いて歩こう」がヒット
- 東京ADC賞。金賞=亀倉雄策「東京オリンピック公式ポスター」

秋山孝年譜

●1952年 (昭和27) …0歳

・5月18日、新潟県長岡市宮内 (古志郡上組村宮内) に生まれる (1954年古志郡上組村が長岡市に編入合併)

●1953年 (昭和28) …1歳

●1868年 (慶応4) 5月2日から6月21日の北越戊辰戦争で、長岡は焦土化した。

●曾祖母・タカは、慶応2年の生まれ、祖父・愷七は明治生まれ、その仔まいは近付きがたいものがありました。

●1954年 (昭和29) …2歳

●1955年 (昭和30) …3歳

●1956年 (昭和31) …4歳

●1957年 (昭和32) …5歳

●1958年 (昭和33) …6歳

●1959年 (昭和34) …7歳 - 小学1年

・長岡市立上組小学校に入学する (4月) 担任: 内藤先生
・「新潟県小学校画展覧会」佳作
主催: 新潟相互銀行



上組小学校入学式 秋山孝 (1959)

●1960年 (昭和35) …8歳 - 小学2年

●1961年 (昭和36) …9歳 - 小学3年



母・トシの快気祝い 秋山孝 (1961)



父 誠治 (大正7~平成20) 母 トシ (大正9~平成5)

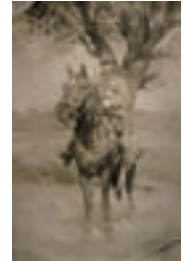
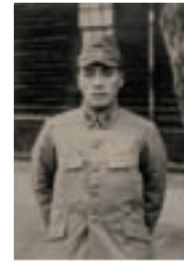


曾祖母 秋山タカ



祖父 秋山愷七

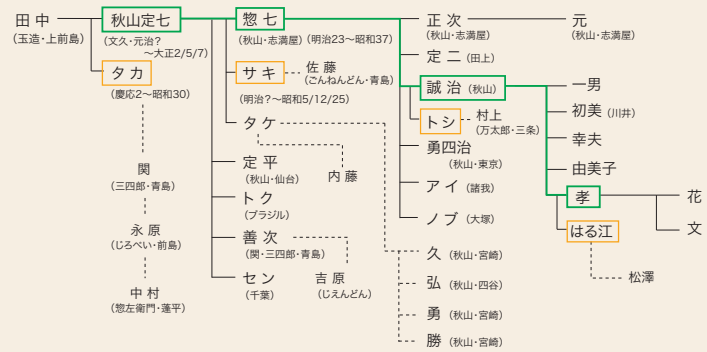
●父・誠治が第2次大戦中国出兵中、長岡は、1945 (昭和20) 年8月1日22:30から翌2日の1時間40分アメリカのB29戦略爆撃機125機による焼夷弾爆撃を受けた。投下された焼夷弾の量は925トン、16万発余の焼夷弾子弾が豪雨のように長岡に降りそそいだ。市街地の約80%が焦土化し、学童約300名を含む1,470余名の生命が失われた。そして、宮内駅前の我家、親戚も全焼した。



●2005 (平成17) 年4月30日に秋山誠治米寿を祝う会に際し、秋山家系図を制作することにした。ところが家系を追っていくと、託念寺の過去帳に出会ったが明治17 (1884) 年に寺が火災に遭い記録を失ったとのことだった。そこで、過去は止まった。

秋山家系図

制作: 秋山 孝 平成21 (2009) 年6月2日



※明治17年、託念寺 (前島) 火災のため記録を失う。

●「長岡の自然 (風景) から与えられるもの・『自然の音と形と色』

人間は、ある物・事・風景に出会うと心が動きます。それを人に伝える表現したい欲求、それが芸術 (美術・音楽・文学など) へと昇華するのです。ぼくは、長岡の生まれで長岡育ちです。代々長岡の土着で信濃川のふもとで生活を営んできました。そう考えると生粋の長岡っ子で祖先から親、子に受けつがれたDNAによって基本的な部分が形作られているのです。

●「ぼくの原風景」

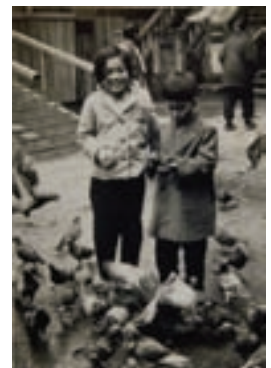
ときどき長岡に帰郷すると、長岡の東山や信濃川などの自然の美しさに、ぼくの美の根拠となる基準を垣間見るような思いに駆られることがある。真っ白な雪の風景や生活、それに秋の黄金色の収穫の時期、夏の花火の華麗な世界など美的な調和のとれた風景からだ。それが、ぼくの原風景といえる。



長岡の風景

●「描いた絵をほめられて」

小学生のときは、絵に対する興味がとくに強かったわけではありません。ぼくの通っていた小学校は、新潟県でいちばん美術の授業が進んでいる小学校で、1年生担任の内藤先生が美術の先生でした。その後、高校に入っても美術の先生には何かと縁がありました。折にふれて美術の先生に進路の相談をしたり、そう考えれば環境には恵まれていました。また、児童絵画コンクールなどに出品して賞をもらう喜びを味わいました。賞をとれば、みんながおだててくれます。それに自分も乗って、ひょっとしてぼくは絵が好きかもしれないと思うようになったのです。それが、ぼくの子も時代でした。



姉・由美子と成田山新勝寺 (千葉) にて (1960)

社会の出来事

- 1962年(昭和37)
・キューバ危機
・ソビエト、世界初の有人宇宙船打上げ
・ビートルズユーロデビュー
・東京モック深刻化
・東京都の人口が1000万人を突破
・あんぱん15円、牛乳16円、銭湯19円、髪型250円

- 1963年(昭和38)
・米、英、ソ部分的核実験停止条約調印
・ケネディー大統領暗殺
・38年豪雪(新潟)
・力道山刺殺事件
○テレビアニメ第1作「鉄腕アトム」
○「太陽」創刊(平凡社刊)
○コンピューターグラフィック元年(スケッチパッドシステムが生まれる)

- 1964年(昭和39)
・東海道新幹線
・第18回オリンピック東京大会
・新潟大地震
○NHK「ひよっこりひょうたん島」
○長岡現代美術館開館(長岡市)
○鉄腕アトムテレビキャラ初の商品化
○東京イラストレーターズクラブ結成。早川良雄、和田誠、宇野亜喜良、横尾忠則ら
○ICOGRADA第1回総会と会議(チュリュリッピ)テーマ「商業美術家それともグラフィックデザイナー」

- 1965年(昭和40)
・米、北ベトナム爆撃開始
・朝永一郎、ノーベル物理学賞受賞
・新潟水俣病発生
・大学生が100万人突破、受験戦争激化
・エレキギター流行
○ベルソナ展(松屋)。福田繁雄、永井一正、田中一光、和田誠、宇野亜喜良、横尾忠則、ポール・テイヴィス、他

- 1966年(昭和41)
・中国で文化大革命起こる
・全日空羽田沖で墜落
・大学紛争激化
・ビートルズ、武道館でコンサート
○第1回ワシントン国際ポスタービエンナーレ開催
○第1回東京イラストレーターズクラブ賞。宇野亜喜良「絵本『あごこ』」
○東京イラストレーターズクラブ編「年鑑イラストレーション」(講談社刊)創刊

- 1967年(昭和42)
・美濃部亮吉、東京知事に当選
・佐藤首相、東南アジア訪問。抗議アモで京大生死亡
○ヒッピーやフーテン族の出現により、グループサウンズ、ミニスカート、デザインにもヒッピーカラーが流行

- 1968年(昭和43)
・文化庁発足
・川端康成、ノーベル文学賞受賞
・3億円強奪事件
・チェコ事件(プラハの春終わる)
・キング牧師暗殺
・東大・日大紛争
・大量消費時代、イザナギ景気、昭和元祿
○サイケデリックブーム

- 1969年(昭和44)
・中国・劉少奇死去
・東大安田講堂を学生が占拠し、機動隊と衝突。東大入試中止
・東名高速道路全線開通
・米のアポロ11号月面着陸
・エコノミックアニマル、三無主義、断絶の時代
・学園紛争続く
・ウッドストックロックフェスティバル(公民権運動、ベトナム反戦、環境保護、男女平等等見正)
○日宣美公券審査、日宣美粉砕共闘により阻止
○東京イラストレーターズクラブ第1回展開催
○デザイナー集団「サイレンサー」結成

- 1970年(昭和45)
・日本万国博覧会開催(大阪)
・三島由紀夫と盾の会会員、自衛隊員にクーデターを呼びかけ、割腹自殺
・日航よど号事件
・日米安保条約調印
○日宣美解散式全国5会場で同時開催
○ベン・シャーン展(東京国立近代美術館)

- 1971年(昭和46)
・中国・林彪事件
・環境庁発足
・円、変動相場制へ移行
・第2次ベビーブーム
○伊坂芳太郎「イラスト展」(パルコ)
○写真家白川義員がイラストレーター、マッド・アマノを著作権侵害で告訴、論議を呼ぶ

- 1972年(昭和47)
・沖縄返還、沖縄県発足
・アメリカ・ニクソン大統領が訪中
・田中内閣発足、田中角栄首相就任(列島改造論)
・田中角栄首相中国訪問、国交正常
・連合赤軍による浅間山荘事件
・横井庄一元軍曹、グアムから帰国
・札幌冬季オリンピック開催
○横尾忠則個展(ニューヨーク近代美術館)
○ブッシュピュスタジオ展(渋谷・東急)

秋山孝年譜

- 1962年(昭和37)・10歳-小学4年
・「新潟県小学校図画展覧会」佳作
主催：新潟相互銀行

- 1963年(昭和38)・11歳-小学5年
・「夏休み学習帳表紙絵コンクール」入選
主催：新潟県学習帳研究会
・「わたしのおかあさん図画募集」佳作
主催：森永母をたたえる会、日本ユネスコ協会連盟

- 1964年(昭和39)・12歳-小学6年
・「長岡自動車学校7周年記念図画コンクール」奨励賞(2作品とも)主催：長岡自動車学校
・「中越地区学童展」入賞 主催：新潟県中越美術研究会
・「電波の日記念図画コンクール」1等 主催：信越電波管理局

- 1965年(昭和40)・13歳-中学1年
・長岡市立上組小学校を卒業する(3月)
・長岡市立宮内中学校に入学する(4月)

- 1966年(昭和41)・14歳-中学2年
●高校生時代は、商業美術部に入り、ポスターを制作したりしました。ポスターは軽快でフットワークがよく、現代的なアート表現に思えた。

- 1967年(昭和42)・15歳-中学3年
●風景画などはスーラの点描技法を実験したり、スパッタリングでグラデーションをつかい、イラストレーションを描いた。またターナーの新製品「αカラー」を使い、ポスターを制作した。

- 1968年(昭和43)・16歳-高校1年
・長岡市立宮内中学校を卒業する(3月)
・新潟県立長岡商業高等学校に入学する(4月)

- 1969年(昭和44)・17歳-高校2年
・「第9回新潟県高等学校商業美術展」奨励賞(商業ポスター部) 新潟日报社
・「第9回新潟県高等学校商業美術展」奨励賞(商業ポスター部) 新潟広告協会

- 1970年(昭和45)・18歳-高校3年

- 1971年(昭和46)・19歳
・新潟県立長岡商業高等学校を卒業する(3月)
・高澤学院すいどーばた美術学院に入学(4月)
・板橋区蓮根に転居

- 1972年(昭和47)・20歳
・杉並区下高井戸に転居

●小学生3、4年生
マーブルチョコレートの鉄腕アトムおまけシールをコレクションし下敷き裏表にびっしりと貼っていた。秋山孝コレクション(1961〜63頃)



小学6年(1965)

●ぼくが中学生のころのことです。ビートルズが来日して全国の若者が熱中している時代で、ご他聞にもれず、兄・幸夫の部屋に入るビートルズのポスターが貼ってあるわけですが、そのデザインが何とも格好良いのです。暗い空間にビートルズの4つの顔が浮かび上がって、それも、4人が一本のマフラーを首に巻いているのです。それを見たときに、すばらしいなと思いました。どこに感動したのかという「友情」なんですね。4人が同じ1本のマフラーをしている姿から伝わる、温かさに強くひかれたというわけです。それがきっかけで、兄・幸夫の影響もあり、ぼくは、ポスターを作るデザイナーをめざそうと思うようになったのです。



中学3年(1967)

●高校1年生のときに、美大に進学したい、と強く思うようになっていました。そこで、長岡の大きな本屋に出かけてはグラフィックデザインの専門誌などを買ってきたり、当時、グラフィックデザインの世界で巨匠といわれていた人の本をこつこつと買ったりしたものです。毎日のように有名なデザイナーの作品が出ている専門書を眺めているので、その人たちの名前が全部頭に記憶するわけです。作品が教科書代わりに、その作品をまねしたりして、デザインを独学していました。ませた高校生だったのでしょね、ぼくの周りには話が通じる友だちは一人もいませんでした。



高校時代・ポスターデザイン

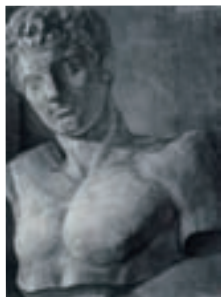


高校時代・風景スケッチ



高校時代・イラストレーション

●高校を卒業後、まず、めざしたのは東京芸術大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学でした。そして、すいどーばた美術学院(予備校)で受験勉強して多摩美術大学に合格しました。当時、東京の私立の美大は多摩美術大学と武蔵野美術大学が、双へきで、それぞれ多摩美、武蔵美とよばれていました。武蔵美は雰囲気の良い学校だと感じていて憧れていました。多摩美の方は、ちょっと軟派な感じで、おしゃやかな感じもありました。結局、ぼくは多摩美でグラフィックデザインのコースに入学しました。当時の社会では、美大にいくと不良だという風潮がありました。どうして早稲田大学や慶応大学に行かないのという感じで、美大に通う学生はドロップアウトしている人というイメージで見られていました。



予備校時代の石膏デッサン(木炭) ヘルムス、シーザー、モリエール

●ぼくたち4人組(秋山、市川、木曾、宮崎)は予備校で受験勉強後、多摩美(グラフィックデザイン)に入学した。



予備校時代、すいどーばた美術学院の屋上、秋山、市川、木曾、宮崎



立体造形(プラ板)



立体造形エレベーション(油土)

社会の出来事

1973年(昭和48)
・金大中事件
・水俣病裁判患者側勝訴
・米、ウォーターゲート事件
・江崎玲於奈、ノーベル物理学賞
・オイルショック、卸売物価暴騰
・電話FAX全国サービス開始
○「年鑑日本のイラストレーション72」(講談社刊)

1974年(昭和49)
・中国・批林、批孔運動開始
・ニクソン米大統領、ウォーターゲート事件で辞任、フォード副大統領が昇格
・佐藤栄作前首相、ノーベル平和賞受賞
・戦後最大の不況を迎える
・連続企業爆破事件
・田中金脈事件
○アンディ・ウォーホル展開催
○グラフィック4(池袋・東武)
○アンドリュウ・ワイエス展(国立近美)

1975年(昭和50)
・中国・周恩来による4つの近代化報告
・蒋介石死去
・ベトナム戦争終結(サイゴン陥落)
・カンボジア・ポルポト政権、大虐殺始まる
・沖縄海洋博開催
○ポーランド現代ポスター展(神奈川近美)
○ドーム工展(神奈川近美)

1976年(昭和51)
・中国・周恩来死去
・中国・毛沢東死去、4人組追放、文化大革命終了
・ロッキード事件、田中角栄前首相、逮捕
・三木武夫首相退陣、福田起夫新内閣成立
・超高速旅客機コンコルド就航
・ジーンズやフォークソングが流行する

1977年(昭和52)
・中国・文化大革命収束
・アメリカ大統領にカーターが就任
・王貞治、国民栄誉賞受賞第1号
・ふるさと指向起きる
○日本のイラストレーション展(ハリ、ロンドン)
○ボンビドーセンター開設(ハリ)

1978年(昭和53)
・イラン革命
・植村直己、単独犬ぞりで北極点到達
・新東京国際(成田)空港開業
・アメリカで初のエイズ患者
・サンシャイン60完成
・「不確実性の時代」という言葉が流行
○広告にイラストレーションを起用することが流行
○日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)結成

1979年(昭和54)
・米ペンシルバニア州スリーマイル島原子力発電所事故、住民が被爆
・英、サッチャー初女性の女性首相
・米中国交正常化
・国立大学初の共通一次試験実施
・朴大統領射殺される
・大光相互銀行乱脈融資事件
○ポストモダニズムが定着する

1980年(昭和55)
・モスクワ五輪、アフガン問題で西側諸国ボイコット
・ジョン・レノン射殺
・CD(コンパクトディスク)開発
・アメリカでヒト・インシュリンの合成に成功
○第1回日本グラフィック展(ハルコ)



「バードカービング」(朝日ソノラマ)

1981年(昭和56)
・ポーランドに戒厳令
・フレサ連帯委員長軟禁
・アメリカでスペースシャトルコロロンビアが初飛行
・イランの米大使館占拠で人質444日ぶり解放
・朱鷺全羽捕獲
・コンピューター時代の到来を告げる
・パリ人肉事件
・チャールズ・ダイアナ結婚

秋山孝年譜

●1973年(昭和48)・21歳
・中野区弥生町に転居

●1974年(昭和49)・22歳



手・油土(受験時代)

●1975年(昭和50)・23歳
・多摩美術大学入学
(グラフィックデザイン専攻)1年生
・神奈川県相模原市橋本に転居

●1976年(昭和51)・24歳
・多摩美術大学
(グラフィックデザイン専攻)2年生
・すいどーばた美術学院・夏期講習会・講師

●1977年(昭和52)・25歳
・多摩美術大学
(グラフィックデザイン専攻)3年生

●1978年(昭和53)・26歳
・多摩美術大学(グラフィックデザイン専攻)4年生
・すいどーばた美術学院(デザイン・工芸科)非常勤講師となる(～1984)



卒業制作会場(1979)

●1979年(昭和54)・27歳
・多摩美術大学グラフィックデザイン専攻を卒業する(3月)
・東京藝術大学大学院入学(視覚デザイン専攻)
高田正二郎クラス・大学院・1年生
・豊島区西池袋に転居
・松澤はる江と結婚(長岡・達平温泉・蓬萊館)
・バードカービングを始める

●1980年(昭和55)・28歳
・東京藝術大学大学院(視覚デザイン専攻)常勤講師として着任、福田繁雄クラス・大学院・2年生
・出版:「バードカービング」共著
日本鳥類保護連盟編
(朝日ソノラマ)

●1981年(昭和56)・29歳
・東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻を修了する(3月)
・東京芸術大学大学院研究生・助教福田繁雄クラス
・第2回単縮ポスター国際デザインコンテスト(国内優秀賞(国連主催))
・第13回日本イラスト展・コマースイラスト部門賞
ホルベイン賞・いづみや賞(渋谷・東急プラザ)
・出版:「TOKI」イラスト集
・「第6回アンコーナ国際スポーツユーモア画展」(イタリア・アンコーナ)
・埼玉県大里郡寄居町鉢形に転居



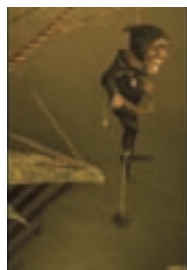
安井曾太郎人体デッサン模写(受験時代)



セントジョセフ・木炭デッサン(1975)



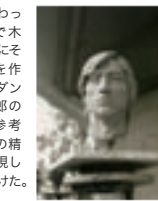
秋山孝(1976)



卒業制作・軽業師シリーズ自業自得(1979)



松澤はる江と結婚(長岡・達平温泉・蓬萊館)



静物デッサン(1975)



静物デッサン(1975)



木曾君・塑像首(受験時代)



油画(1976)



油画(1976)

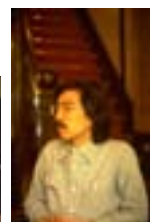


風景(1977)



イラストレーション(1977)

●グラフィックデザインとイラストレーションの関係は、絵画表現を使い言葉にしづらいメッセージと美を視覚伝達すること。だからその表現技術をもにしなければならぬと考えた。卒業制作の軽業師シリーズはローブと軽業師の不安定なバランスを風刺的表現で孤独な空間を描こうとした。わずかなエレメントと色彩だからこそ考え切ることができたような気がする。しかもあくまでも学生の域を出ない思い込みの強さがあるので気恥ずかしいものがあつた。グラフィックデザインとイラストレーションのもっている乗り越えられない軽快感のある表現に憧れがあつたのだが、どうすることもできなかった。その後、それを克服するために大学院があつたのかもしれない

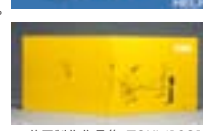


大学院時代(1979)

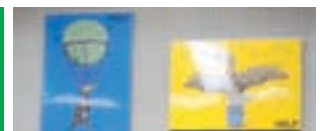


大学院アトリエ(1979)

修了制作ポスター・HELP(1981)



修了制作作品集・TOKI(1981)



修了制作展・旧東京都美術館(1981)

社会の出来事

- 1982年(昭和57)
 - ・フォークランド紛争(英・アルゼンチン紛争)
 - ・ホテルニュージャパン火災、33人死亡
 - ・日航機、逆噴射で羽田空港沖海面に墜落 24人死亡
 - ・上越新幹線開業(新潟・大宮間)
 - コピーライター人気
 - コンピュータグラフィックスへの関心が高まる



バードカービングクラブ展覧会カタログ

- 1983年(昭和58)
 - ・東京ディズニーランド(浦安)開園
 - ・田中元首相に実刑判決
 - ・大韓航空機撃墜事件
 - ・おしんブーム
 - 第1回JACA日本イラストレーション展
 - イラストブーム・ヘタウマ調
 - 写真週刊誌フォーカスブーム

- 1984年(昭和59)
 - ・第23回オリンピック・ロサンゼルス大会(初の民間運営が大成)
 - ・グリコ森永脅迫事件
 - ・植村直己、アメリカマッキンリーで遭難
 - ・ガンジー暗殺
 - コンピュータ低価格、デザイン制作現場CAD導入高まる

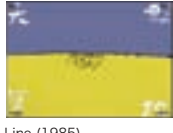


「バードウォッチング図鑑」(凱風社)

- 1985年(昭和60)
 - ・ソ連、ゴルバチョフ共産党書記長につきば科学万博開催
 - ・日航機ジャンボ墜落事件
 - ・田中角栄入院
 - ・関越道、長岡東京間全通
 - ・メキシコ大地震



「吉本隆明」(現代書館)



Line (1985)

- 1986年(昭和61)
 - ・ソ連チェルノブイリ原発で爆発
 - ・米、英で円の急騰、日本では円高不況
 - ・スペースシャトル「チャレンジャー」が発射直後爆発、乗員7名全て死亡
 - ・ダイアナフィーバー
 - ・三原山噴火
 - 多摩美術大学創立1/2世紀の軌跡「Graphic Design TAMU」
 - 前衛芸術の日本展
 - 日本のイラストレーション1986展(西武アート・フォーラム)

- 1987年(昭和62)
 - ・国鉄、分割民営化により7のJR新法人へ
 - ・新生JRスタート
 - ・エイズ汚染が深刻化
 - ゴッホ「ひまわり」58億円で落札(ロンドン)安田火災
 - 東京芸術大学100周年記念展
 - 東京タイポディレクターズクラブ結成

秋山孝年譜

- 1982年(昭和57)・30歳
 - ・第4回NAAC展・TGC賞(銀座・セントラル美術館)
 - ・個展:「鳥類保護のためのポスター展」(代々木・ギャラリーこーしゅ)
 - ・出版:「バードカービング」共著・日本鳥類保護連盟編(講談社)
 - ・出版:「Little Museum」作品集
 - ・バードカービングクラブ発足
 - ・「秋山孝事務所」設立
 - ・豊島区目白に転居



「バードカービング」(講談社)

- 1983年(昭和58)・31歳
 - ・日本ボーイスカウト埼玉県連盟 川口第七団より感謝状を受ける
 - ・「第5回ラハティ国際ポスタービエンナーレ」(フィンランド)以後、毎回出品
 - ・「第7回アンコーナ国際スポーツユーモア画展」(イタリア・アンコーナ)
 - ・「昭和59年度全国愛鳥週間ポスターコンクール」審査委員(環境庁)以後1987まで
 - ・豊島区西池袋に転居



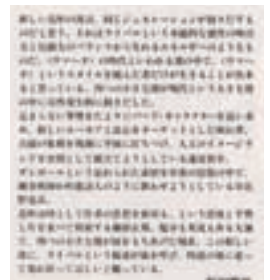
「バードカービング」講座テキスト(日本ヴォーク)



すいどーばた美術学院 講師時代(1985) 田中信行、甲賀正彦、佐藤可士和、金原次郎、永瀬公彦、玉川竜、他



すいどーばた美術学院 講師時代 若尾真一郎、宮田亮平、山崎稔、阿部定、秋山孝、他



Poster Exhibition'83 (電通ギャラリー)コメント:福田繁雄

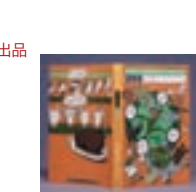
- 1984年(昭和59)・32歳
 - ・すいどーばた美術学院(デザイン・工芸科)専任講師となる(～1989)
 - ・アフリカ統一機構21周年記念「アフリカ自然保護ポスターデザインコンテスト」チュニジア大使館賞
 - ・第5回NAAC展・NAAC奨励賞(銀座・セントラル美術館)
 - ・個展:「秋山孝のトリエ展」(池袋・西武・ホビーハウスギャラリー)
 - ・個展:「秋山孝個展」(六本木・AXIS・青画廊)
 - ・出版:「バードウォッチング図鑑」(凱風社)
 - ・出版:「自然食」共著(現代書館)
 - ・出版:「バードカービング」講座テキスト(日本ヴォーク)
 - ・「日本グラフィックデザイン・ニューヨーク展」(アメリカ)に出品
 - ・「日本・オランダ通商375周年記念総合日本展'84」(Japan Rotterdam'84) (オランダ)に出品
 - ・日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員
 - ・長女・花、生まれる(2月13日国際聖母病院)



秋山孝(1984)

- 1985年(昭和60)・33歳
 - ・第24回消費者のために広告コンクール・新聞広告優秀賞(日本広告主協会)
 - ・国連40周年記念国際ポスターデザインコンテスト・国内佳作(国連主催)
 - ・「Images for Survival・日米平和ポスター展」(アメリカ・ニューヨーク、他)
 - ・「第1回世界ポスタートリエンナーレ トヤマ」(富山県立近代美術館) 3回/7回8回展出品
 - ・出版:「吉本隆明」共著(現代書館)
 - ・「おしやれ」資生堂提供(日本テレビ)出演
 - ・つくば科学万博、ブラザーアベニュー壁面デザイン
 - ・豊島区目白に事務所を転居

- バードカービング 自然・野鳥保護活動で生まれたバードカービング・アートは木で鳥を彫刻し、自然保護と芸術が融合したものだ。発足したのは1979年に松田道生、且原純夫、秋山孝によって始まった。バードカービングクラブから現在は、バードカービング協会が設立され内山春雄が会長をし活動している。毎年大きな展覧会と審査を行い活気のある創作を行っている。リアリスティック・バードカービングからクリエイティブバードカービングまで範囲は幅広い。



「自然食」(現代書館)(1984)



バードカービング・水面(1985)

- 1986年(昭和61)・34歳
 - ・多摩芸術学園(デザイン科)非常勤講師(～1989)
 - ・第15回日本漫画家協会賞・優秀賞(日本漫画家協会)
 - ・第11回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞(ポーランド)以後毎回連続出品
 - ・第12回プルノ国際グラフィックデザインビエンナーレ・アルティア賞(チェコスロバキア)以後毎回連続出品
 - ・個展:「秋山孝のユーモアポスター展」(渋谷・109 Gee Club)
 - ・「第4回国際政治ポスターコンクール」(ソ連・モスクワ)
 - ・「現代日本漫画展インポーランド'86」(ワルシャワ カリカチュア美術館)プロデュース・出品
 - ・「日本のポスター展」招待出品(台湾・台北市立美術館)
 - ・次女・文、生まれる(6月22日、国際聖母病院)



ワルシャワ・ヴィラノフ・ポスター美術館、ポーランド(1986)



ワルシャワ・カリカチュア美術館館長 エリク・リビンスキ(1986)



第11回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞 Wild Life - Help (1986)

- 1987年(昭和62)・35歳
 - ・日本漫画家協会(JCA)会員
 - ・日本図書設計家協会会員(SPA)会員
 - ・ニューヨークADC国際展・Merit Award(アメリカ)(1987-2001)
 - ・個展:「秋山孝の遊鳥展 in 高崎」(高崎・山徳記念館)
 - ・「第16回日本漫画家協会賞」選考委員(1987-1990)
 - ・「第1回ユーモア広告大賞」(読売新聞社)企画運営委員・選考委員(1987-1993)
 - ・「ふなばしワンパク王国」(現アンデルセン公園)アートディレクター(船橋市公園協会)(1987～)
 - ・板橋区東新町に自宅を転居 豊島区西池袋に事務所を転居



船橋市公園協会キャラクター



Love Peace(1986)



スズメ雛(1986)



スズメ雛(1986)

社会の出来事

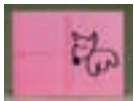
- 1988年(昭和63)
 - ・第24回オリンピック・ソウル大会
 - ・イラン・イラク戦争全面停止
 - ・リクルート疑惑事件
 - ・天皇陛下ご重体に陥る
 - ・東京ドーム完成



秋山孝、手塚治虫、他

- 1989年(平成元年)
 - ・1月7日天皇崩御、昭和が幕を閉じ、8日から平成へ
 - ・天安門事件(血の日曜日)
 - ・ベルリンの壁、28年ぶりに消滅
 - ・サンフランシスコ大地震
 - ・リクルート事件で江副前会長逮捕
 - ・バブル経済ピーク(12月29日)
 - 東京イラストレーターズソサエティ設立

- 1990年(平成2)
 - ・イラク軍クウェート侵攻
 - ・東西ドイツ統一
 - ・ソ連ゴルバチョフ大統領就任
 - ・11月ワレサ大統領就任(ポーランド)
 - ・大阪府の万博開催
 - ・バブル経済崩壊
 - 第1回メキシコ国際ポスタービエンナーレ開催



「らくがき」



「秋山孝の淡彩ABC」(日貿出版社)

- 1991年(平成3)
 - ・雲仙普賢岳噴火
 - ・カンザシーランド元首相暗殺
 - ・ソ連、8月政変共産党も解体
 - ・バルト三国が独立



こどもメガネ・アンファン・オグラ

- 1992年(平成4)
 - ・湾岸戦争
 - ・南ア、アパルトヘイト体制終結
 - ・佐川急便疑惑で金丸議員辞職
 - ・バルセロナ五輪
 - ・エイズ対策本腰
 - ・ソマリア飢饉深刻化
 - ・山形新幹線開通



「Love & AIDS」(情報センター出版局)

秋山孝年譜

- 1988年(昭和63)・36歳
 - ・女子美術短期大学別科・講師(～1999)
 - ・日本漫画家協会理事(1988-1992)
 - ・出版:「Bird Carving Takashi Akiyama」作品集
 - ・出版:「Humour Posters Takashi Akiyama」作品集
 - ・「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞受賞作家3人展」(ワルシャワ・ヴィラノフポスター 美術館)出品
 - ・「世界は笑う展」(ワルシャワ・カリカチュア美術館)出品
 - ・「婦人百科」(NHK)出演

- 1989年(平成元年)・37歳
 - ・高澤学園・「デザイン学校設立」準備委員(～1990)
 - ・「文芸春秋漫画賞」ノミネート
 - ・第28回日本工業広告賞・銅賞(日本工業新聞社)
 - ・個展:「秋山孝のバードアートウィーク展」(六本木・ストライプハウス美術館)
 - ・出版:「Takashi's Characters Book」作品集
 - ・「セルフイメージ展」イスラエル美術館(イスラエル)出品
 - ・姉・由美子(39歳)11月7日死去

- 1990年(平成2)・38歳
 - ・多摩美術大学2部(デザイン科)非常勤講師(～1993)
 - ・第8回FCC英文広告賞・産業広告部門・入賞
 - ・個展「秋山孝のユーモアポスター展」(池袋・西武・アートエヌボー)
 - ・個展「秋山孝左手のこぼれ展」(銀座・クリエイションギャラリーG8)
 - ・個展「秋山孝展 ふなばし1990」(船橋・ワンパク王国)
 - ・個展「秋山孝展 Signboards」(銀座・ギャラリーホワイトアート)
 - ・出版:「秋山孝 左手のこぼれ」作品集(日貿出版社)
 - ・出版:「秋山孝の淡彩ABC」(日貿出版社)
 - ・出版:「らくがき」
 - ・特別講義:東京芸術大学大学院「情報特論」
 - ・「ターナー・クリスマスコンテスト」審査委員(ターナー色彩)
 - (以後「ターナーアワード」と名を変え現在まで審査員を継続) 「じゃらん」表紙(1990-2007)
 - ・「じゃらん」表紙イラスト担当のちアートディレクション担当(1990-2007)
 - ・「大分城島後楽園ゆうえんち」アトラクション制作
 - ・秋山孝事務所、マッキントッシュ・コンピューター導入

●作品を通して理解し合うことができる
こんなに外国のクリエイターたちとつき合い、友人が多くなるとは想像もしなかった。しかし、言葉は通じなくても、作品を通して理解し合うことができ、尊敬する念が湧くのだ。それは同じ創作者としてしか理解し合えない以心伝心や、阿吽の呼吸のようなものがある。そこには作品から受ける美的感動があり、気持ちが高揚する。日本人も外国人も全く変わらない、共通する芸術家魂があるのだ。

- 1991年(平成3)・39歳
 - ・創形美術学校・常勤講師(～1993)
 - ・第16回レンティエノ国際ユーモアアート ビエンナーレ・シサレ=マルコレッリ賞(イタリア)
 - ・個展:「秋山孝ポスター」展(イタリア・アオスタ・メゾン=ガブリエール)
 - ・個展:「秋山孝作品展 Gift to Earth・ハートの巣箱」(新宿・東京ガス)
 - ・出版:「屋根の上のこうのとりの」(ファアラ企画)出版
 - ・出版:「似顔絵入門のための対話」(共著)(ワンパク王国友の会)出版
 - ・出版:「ハートの巣箱-Gift to Earth-」(アーバンコミュニケーションズ)出版
 - ・出版:「Save Tokyo Bay」(船橋市漁業協同組合)
 - ・「CHOICE」(雑誌「イラストレーション」69号)審査委員
 - ・「第6回大宮市民漫画展」審査委員(大宮市)現在まで審査員を継続
 - ・イコグラダ・モントリオール、世界デザイン会議参加
 - ・秋山孝事務所を新宿区下落合に移転

- 1992年(平成4)・40歳
 - ・第2回メキシコ国際ポスタービエンナーレ1992・栄誉賞(メキシコ)以後、毎回出品
 - ・第3回ショーモンポスターフェスティバル(フランス)5回12回13回出品
 - ・個展「コンドームくんとエイズウィルスくん」(渋谷・ガーデン)
 - ・個展「EARTH DAY POSTERS」(サンフランシスコ・Gallery PIAZZA)
 - ・個展「秋山孝エイズポスター in Atomi」(跡見学園女子大学)
 - ・出版:「Love & AIDS」(情報センター出版局)
 - ・出版:「Art is Long,Life is Short」版画集・秋山孝+若尾真一郎
 - ・「Japan Ecology Poster Exhibition in Warsaw」/青葉益輝、秋山孝、UG.サトー、松永真「プロデュース(ポーランド)
 - ・講演:「島根医科大学」
 - ・講演:「跡見学園女子大学祭」
 - ・「第1回グラフィック・アート3.3m2」(ガーデン・ガーデン)審査員(1992-2001)
 - ・兄・一男(48歳)死去



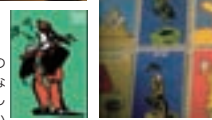
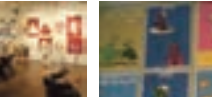
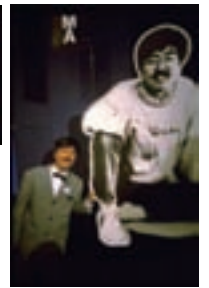
「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞受賞作家3人展」(ワルシャワ・ヴィラノフポスター 美術館) 秋山孝、キリッキ・サルミレン(フィンランド)、ロスマリ・ティッシュ(スイス)



秋山孝(1989)

●創作者

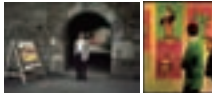
創作者の苦しみは計り知れない。自分の創作を否定し疑い、そこからまた新たな作品を作り上げる精神的な重労働をしなければならぬ。それに耐えうる強い精神性を持たなければ、この創作は実現出来ない。強烈な集中力を持って日常を過ごす。それにひきかえ、自己が認めたものに対する満足感はこちらもまた、計り知れないものがある。否定と肯定は繰り返してやる。振幅は大きくなるため静かで安定した状態を維持するのが困難になる。そうとうタフな精神構造がないと、肉体的病氣や精神的病氣に襲われるため、自己制御が絶対的に要求される。追求しすぎると身体と心が破滅するので、ほどほどが大切だ。



「Bird Art Week」展覧会(六本木・ストライプハウス美術館)(1989)

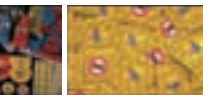
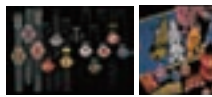


「大分城島後楽園ゆうえんち」アトラクション制作(1990)



「秋山孝ポスター」展(イタリア・アオスタ・メゾン=ガブリエール)

●エイズをテーマとしたキャンペーン
日本で初めてエイズキャンペーンを東京・ガーデンガーデンで行った。話題となった。秋となると大学の学園祭で呼ばれ、女子大、医大、一般大学などからシンポジウム、トークショーなどの出演依頼を多く受けた。また、テレビメディアなどにもよく取り上げられた。コンドームなどのキャラクターデザインが、エイズの難しい病気の理解を促すのに役立った。



渋谷・ガーデンガーデン(1992)

ストップエイズキャンペーン(1992)

社会の出来事

1993年(平成5)

- ・1月20日:米、ビル・クリントンが42代大統領に就任。
- ・カンボジアに暫定政府が発足。
- ・細川連立内閣発足
- ・北海道南西沖地震、奥尻島などで被害
- ・皇太子・雅子様ご成婚
- ・ゼネコ汚職拡大
- ・サッカーJリーグ開幕



「秋山孝・表紙のこぼれ集1・じゃらん編」

1994年(平成6)

- ・米、ロサンゼルス地震、死者61人。
- ・ルワンダ内戦で200万人が難民となった
- ・北朝鮮、金日成(キム・イルソン)主席が急死、権力は金正日(キムジョンイル)へ
- ・細川首相が辞任し、羽田首相が誕生
- ・向井千秋、宇宙へ
- ・大江健三郎、ノーベル文学賞
- ・有毒ガス・サリンで7人死亡
- ・1ドル100円突破
- ワルシャワ美術アカデミーにおいて、亀倉雄作、第1号の名誉博士号を受ける



「秋山孝のMacイラスト講座」(グラフィック社)

1995年(平成7)

- ・韓、ソウル百貨店崩壊、死者512人
- ・フランス核実験強行
- ・盧泰愚(ノテウ)前韓国大統領逮捕
- ・アメリカ連邦政府ビル爆発子口168人死亡
- ・全斗煥(チョンドファン)元韓国大統領逮捕
- ・中国が核実験
- ・阪神大震災、死者5502人
- ・地下鉄サリン事件、11人死亡
- ・オウム事件摘発
- ・全日空ハイジャック
- ・青島都知事、都市博中止



「エコユーモアアート展」カタログ合本(船橋市公園協会)

1996年(平成8)

- ・クリントン大統領再選
- ・イギリス皇太子夫妻が離婚
- ・インド上空で航空機衝突、349人が死亡
- ・全斗煥(チョンドファン)元大統領に死刑判決
- ・アトランタ・オリンピック
- ・O-157大量感染
- ・松本被告公判スタート
- インターネット膨張



「Takashi Akiyama's Dictionary (1)」ミニ本

秋山孝年譜

●1993年(平成5)・41歳

- ・多摩美術大学(グラフィックデザイン専攻)常勤講師(～1994)
- ・ニューヨークADC国際展・銅賞(アメリカ)
- ・第12回アンコーナ国際スポーツ・ユーモア画展TORO賞(イタリア)
- ・第17回トレンティーノ国際ユーモアアートビエンナーレ・シサレ＝マルコレリ賞(イタリア)
- ・個展:「コンドームくんとエイズウイルスくん・秋山孝イラストポスター展」(岐阜・バルコ・Space K 912)
- ・個展:「秋山孝の遊鳥展 Takashi Akiyama Bird Art」(札幌・西友西町店)
- ・個展:「秋山孝作品展 Love and Aids」(横須賀・ティースリー横須賀・東京ガス横須賀ショールーム)
- ・個展:「Takashi Akiyama's Eco Art in California Earth is Art Exhibition」(アメリカ・サンフランシスコ・Gallery Piazza)
- ・個展:「秋山孝Love and Aids展・Stop Aids Japan in Sapporo 開催記念」(札幌・西友西町店)
- ・個展:「Takashi Akiyama's Eco Art Earth is Art Exhibition」(表参道・Gallery Piazza)
- ・出版:「秋山孝・表紙のこぼれ集1・じゃらん編」
- ・出版:「Love Maguroou」絵本(扶桑社)
- ・出版:「Takashi Akiyama's Eco Art」版画集
- ・出版:「もりへいこうよ」CD-ROM(マルス)
- ・対談21世紀(日本テレビ)出演
- ・「Love Maguroou」(扶桑社)出版
- ・自宅・新宿区下落合に転居、7月1日
- ・母・トシ(73歳)死去



「Love Maguroou」絵本(扶桑社)



メキシコ・個展ポスター(1994)



新宿区下落合の自宅

●1994年(平成6)・42歳

- ・多摩美術大学(グラフィックデザイン専攻)助教就任(～2000)
- ・コンピュータアートビエンナーレジェシュフ・栄誉賞(ポーランド)
- ・第2回国際版画とポスター展「4th BLOCK」・奨励賞(ウクライナ)
- ・1、2、3色を使用したグレートデザイン・Color Count Award(アメリカ)
- ・個展「Takashi Akiyama Poster in Mexico」(カサ・デラ・ポエタ・メキシコシティ)
- ・個展「秋山孝展」(代官山・Art rush Gallery)
- ・個展「Takashi Akiyama's Eco Art 1994」(表参道・Gallery Piazza)
- ・出版:「秋山孝のMacイラスト講座」(グラフィック社)
- ・出版:「Character Concept Book」(ワンバク王国友の会)
- ・出版:「Takashi Akiyama's Poster in Mexico」(産商アドマーケティング)
- ・出版:「サントのひみつ」絵本(西友)
- ・「写楽生誕200年祭ポスター展1794-1994」毎日新聞社(渋谷・バルコ)
- ・講演:ベラルクス大学美術学部(メキシコ)
- ・講演:カサ・デラ・ポエタ(メキシコ)
- ・「第10回読売広告大賞」(読売新聞社)審査委員(1994～2000)
- ・東京イラストレーターズソサエティ(TIS)会員(1994～)



ハビエルベルムデスと秋山・ティオティワカン・(1994)



メキシコ・ハラッパ・ニコウの自宅(1994)

●1995年(平成7)・43歳

- ・第9回ニューヨークフェスティバル国際展・銀賞・銅賞(アメリカ)
- ・その後11回12回13回も共に出品
- ・個展:「エコ ユーモア・アート展」(船橋・市民ギャラリー)
- ・個展:「Thanks Mountain・Takashi Akiyama's Eco Art 1995」(表参道・Gallery Piazza)
- ・出版:「エコユーモアアート展」カタログ合本(船橋市公園協会)
- ・出版:「ネイチャーゲーム」共著(PHP研究所)
- ・出版:「Thanks Mountain 1996」展覧会カタログ(デサント)
- ・講演:ヘルシンキ美術大学(フィンランド)
- ・集中講義:金沢大学
- ・特別講義:女子美術大学
- ・「第11回ヘルシンキ国際ポスタービエンナーレ」国際審査員(フィンランド)
- ・「JAGDA年鑑1996」(JAGDA)選考委員
- ・ニューヨークアートディレクターズクラブ(N.Y.ADC)会員(A124)(1995～)



写楽生誕200年祭ポスター展



デサント見本市:「Thanks Mountain」スキーウェアブランド



デサント見本市:「Thanks Mountain」スキーウェアブランド

●1996年(平成8)・44歳

- ・ハリウッド・ラジオ・テレビ協会・IBA賞(アメリカ)
- ・個展:「Takashi's Dictionary -1 earth・tree」(六本木・Art Box Gallery)
- ・個展:「Takashi Akiyama's Eco Art 1996」(表参道・Gallery Piazza)
- ・個展:「秋山孝の夢工房Note」(高田馬場・Multimedia 夢工房)
- ・出版:「Takashi Akiyama's Dictionary (1)(2)」版画集
- ・出版:「Takashi Akiyama's Dictionary (1)」ミニ本
- ・出版:「Takashi Akiyama Poster」作品集(Art Box インターナショナル)
- ・出版:「夢工房対話1」対談集(東銀座印刷出版)
- ・「PLAKATOK/POSTERS'96」(ハンガリー)出品
- ・「反核FAXポスター展」(フランス・パリ)出品
- ・「世界とともクラフト・バードカーピング」(NHK)出演
- ・講義:世田谷美術館
- ・「夢工房」オープンにともない秋山孝事務所分室を開設(～2002)

「Takashi Akiyama Poster」作品集(Art Box インターナショナル)



「夢工房」

メキシコシティ・シケイロス美術館(1994)



●メキシコ講演前のあいさつ

只今、紹介にあずかりました秋山孝です。アジアにある小さな島、日本から来ました。東京からメキシコシティまでジェット機で約14時間かかります。日本の国土面積はメキシコの5分の1の38万7千平方メートル、人口はメキシコの1.5倍の1億2千万人います。メキシコは日本にとって100年前の1888年、初の平等修好通商条約が締結された国です。また、マヤ、アステカに代表される古代文明が、華麗に花開いたところです。この地で講演ができることを嬉しく思います。内容は、「秋山孝のグラフィックデザインの考え方」「秋山孝からみた日本の若手グラフィックデザイナーの傾向」「秋山孝のグラフィックデザインの技術」をスライドを交えて話したいと思います。

●デサントから出たスキーウェアブランド「Thanks Mountain」

ぼくが表参道の通りにあるギャラリー・ピアサで個展を開催中にデサントのディレクターがウェアデザインの依頼にきました。ぼくには今どういものが流行っていて、どういものが大量に売れているのか予測する基準がありません。もし、ぼくに作れるものがあるとすれば、「山に感謝する」というメッセージを伝えるデザインでした。そこでTシャツのようなメッセージを伝えるスキーウェアをぼくにデザインさせてほしいと言ったんですね。それで、スキーウェアブランド「Thanks Mountain」が生まれました。



「秋山孝の夢工房Note」(高田馬場・Multimedia 夢工房)

●反核FAXポスターデビュー
U.G.サトーさんから南太平洋核実験反対のポスターをフランスに送りましようという事で、そのU.G.サトーさんの呼びかけは大きな運動となり、世界にメッセージを発信しました。ポスターの語源でもある「プラカード」は大変な効果と抗議に繋がりました。パリ・レビューブリック広場からバスターユー広場まで反核実験のデモを行いました。ポスターのビジュアルメッセージは強力だと実感しました。



「反核FAXポスターによるデモ」(フランス・パリ)

社会の出来事

- 1997年(平成9)
 - ・鄧小平・中国最高実力者の死去
 - ・ノーベル平和賞に地雷禁止NGO
 - ・マザーテレサ死去
 - ・ダイアナ王妃パリで交通事故死
 - ・中国・香港がスタート、アヘン戦争以来155年の英国統治に幕を下ろす
 - ・ベルー日本大使公邸人質事件解決
 - ・神戸で小学生殺傷事件
 - ・サッカーのワールドカップ・アジア地区予選で、日本が初出場決定
 - ・ヤオハン倒産



「Fax Art Tokyo-Helsinki」カタログ

- 1998年(平成10)
 - ・インド、パキスタンが核実験
 - ・アメリカ大統領不倫も消し疑惑で報告書公表
 - ・金大中(キムデジュン)韓国大統領に就任
 - ・長野オリンピック開催
 - ・和歌山カレー毒物混入事件、4人死亡
 - ・ワールドカップ開催、日本初出場



●インド核実験反対

個人のメッセージをビジュアル表現することは、今に始まったことではない。たとえば、フランスのドミニエ(1808-79)は、民主運動の進むパリで印刷メディアの風刺雑誌「カリカチュール」や「シャリバリ」で社会の問題を独自のイラストレーションで表現した。ドイツでは、急速な産業革命の進行と第一次大戦の危機に揺らぎながらグロス(1893-1959)は、人間の批判的良心を描いた。また、アメリカのベン・シャーン(1898-1969)は、アメリカの良心とよばれ死の灰の福竜丸事件をテーマに表現した。現代では、1999年に亡くなったイギリスのポール・ピーター・ビーチ(1920-1999)は、少数印刷で個人的メッセージをポスターで発信し続けた。多くのアトリエにはビーチの代表作ガンジーのポスターがいつも壁に掛けてある。今回の「インド核実験反対1998」のポスター作品は、「インドの知性」ガンジーが怒ってNo!と言っている姿をデザインした。ニューヨークフェスティバルで「国連賞」を受賞した。

- 1999年(平成11)
 - ・NATO軍、ユーゴスラビアを空爆
 - ・単一通貨ユーロが誕生
 - ・ソコボ紛争
 - ・全日空機乗っ取り、機長刺され死亡
 - ・海上自衛隊、初の海上警備行動
 - ・新都知事に石原慎太郎氏
 - ・中国産朱鷺の誕生



Eco Art 1999 The Sun (表参道・Gallery Piazza)

- 2000年(平成12)
 - ・ロシア原潜沈没118人死亡
 - ・パリ郊外でコンコルド墜落
 - ・金大中韓国大統領、ノーベル平和賞
 - ・シドニー五輪

- ・三宅島噴火全島民避難
- ・小淵首相が緊急入院、政権交代、森内閣
- ・旧石器発掘をねつ造
- ・新潟不明少女、9年ぶりに保護
- 「IT革命」が流行語となる



「秋山長岡コレクション」カタログ

秋山孝年譜

- 1997年(平成9)・45歳
 - ・『八王子スーパー強盗殺人事件』捜査用告知ポスター制作・感謝状(警視庁)を受ける
 - ・第12回ヘルシンキ国際ポスタービエンナーレ1997・栄誉賞(フィンランド)
 - ・コエニ国際自然映画祭'99ポスター指名コンペ・1位(イタリア)
 - ・個展:「TAKASHI AKIYAMA-JAPAN HUMOR POSTERS」(チェコ・ウースティ・ステイト・ミュージアム&ライブラリー)
 - ・個展:「Takashi Akiyama's Eco Art 1997」(表参道・Gallery Piazza)
 - ・出版:「Fax Art Tokyo-Helsinki」監修・作品集、CD-ROM(マルチメディア夢工房)
 - ・「Fax Art Tokyo-Helsinki」展覧会プロデュース(王子ペーパーショップ銀座)
 - ・講演:J.E.Purkyne in Usti nad Labem大学(チェコ)
 - ・特別講義:京都精華大学
 - ・「第13回読売広告大賞」審査委員(読売新聞社)(~2001)
 - ・新宿区下落合4丁目にアトリエ完成(~2002)



新宿区下落合4丁目アトリエ

- 1998年(平成10)・46歳
 - ・第77回ニューヨークADC国際展・Merit Award(アメリカ)
 - ・個展:「TAKASHI AKIYAMA POSTER展」(大阪芸術大学芸術情報センター)
 - ・個展:「Takashi Akiyama's Eco Art 1998 My Globe」(表参道・Gallery Piazza)
 - ・出版:「Takashi Akiyama Bird Carving」作品集(Art Box インターナショナル)
 - ・展覧会:「多摩美術大学グラフィックデザイン学科・基礎デザインプロジェクト」(ガーデン・ガーデン)
 - ・講演:「エイズポスターの表現をめぐる」京都精華大学
 - ・講演:「秋山孝のイラストレーション学」大阪芸術大学/感謝状を受ける
 - ・講演:グアテマラ国立美術大学(グアテマラ)
 - ・講演:ハラバ・デザインコンGRESS(メキシコ)
 - ・国際交流基金日本文化紹介派遣
 - ・「第5回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」(メキシコ)で国際審査員
 - ・「全日本バードカービングコンクール'98」審査委員(日本バードカービング協会)以後現在まで審査委員を継続



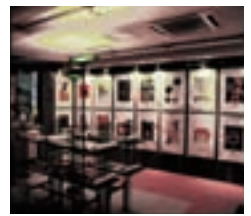
Takashi Akiyama Bird Carving



地雷廃絶日本キャンペーン



J.E.Purkyne in Usti nad Labem大学(チェコ)

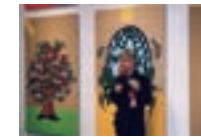


コンセプチュアルイラストレーションプロジェクト'98 (多摩美術大学・王子ペーパーショップ銀座)

- 1999年(平成11)・47歳
 - ・第10回国連賞・優秀賞(第42回ニューヨークフェスティバル)(アメリカ)
 - ・長岡市より感謝状を受ける(新潟)
 - ・個展:「秋山孝展」(銀座・ギャラリイイセヨシ)
 - ・個展:「秋山孝展 Eco Art 1999」(銀座・ギャラリイイセヨシ)
 - ・個展:「秋山孝ポスターの世界展・エコロジーとユーモア」(長岡・新潟県立近代美術館)
 - ・個展:「Takashi Akiyama's Eco Art 1999 The Sun」(表参道・Gallery Piazza)
 - ・コエニ国際自然映画祭ポスターコンペティション(イタリア)で国際審査委員
 - ・「大宮市ユーモアフォトコンテスト」審査委員(大宮市)
 - ・1997より現在まで審査委員を継続
 - ・ソサエティオブイラストレーターズ(S.I.)会員(A210)(1999~)

●「秋山孝ポスターの世界展」(長岡・新潟県立近代美術館) 1999年から2001年の3回に渡って「しなのがわ音楽祭」の企画として、「秋山孝ポスターの世界展」が新潟県立近代美術館で開催された。これを機に、約500点の作品が長岡市の「秋山長岡コレクション」となった。

- 2000年(平成12)・48歳
 - ・多摩美術大学グラフィックデザイン学科・教授就任
 - ・第11回CSデザイン賞実験部門・銀賞受賞
 - ・第12回ショーモンポスターフェスティバル2001・入賞(フランス)
 - ・個展:「秋山孝の近作ポスター展・エコロジーとユーモア」(名古屋・スペースブリズム)
 - ・個展:「San Francisco Earth Day 2000 Eco Art Takashi Akiyama」(アメリカ・サンフランシスコ・Gallery Piazza)
 - ・個展:「秋山孝ポスターの世界展2」(長岡・新潟県立近代美術館)
 - ・個展:「あぎやまたかし展・自然、子供、優しさ」(船橋・ふなばしアンテルセン公園 子ども美術館)
 - ・個展:「San Francisco Earth Day 2000 Eco Art Takashi Akiyama」(表参道・Gallery Piazza)
 - ・個展:「上組こだま美術館・秋山孝と子どもたち展」(長岡・新潟県立中央図書館ギャラリー)
 - ・出版:「The Great Characters-8」作品集
 - ・出版:「Takashi Akiyama's Dictionary (3)」版画集
 - ・出版:「Takashi Akiyama's Dictionary (4)」版画集
 - ・講演:上組小学校「美術とデザイン」(長岡・新潟)
 - ・日本広告学会(JAA)会員(2000~)



●国際コミュニケーションのツール
ポスターアートの魅力は、分かりやすさにある。伝えたい内容を誰もが理解でき、そこから生まれた美しい芸術的表現を身近に楽しむことができる。ある時は、そのポスターの役割が文化的イベントであったり、商品広告であったり、強烈な社会的メッセージであったりする。また、ポスターには、かならずその時代を代弁する記録的な要素があり、その時代を越えることはない。印刷というメディアを通過するために絵画とは異なり複製される印刷メディアの軽快なフットワークを感じざるを得ない。さらに現代の輸送システムの結果どこでも気楽に配送でき、インターナショナルなコミュニケーションのツールだ。

国内外の情勢

2001年(平成13)

- ・アメリカ、9.11同時多発テロ
- ・アメリカ、アフガニスタンを爆撃
- ・大阪府産池田小児童殺傷事件
- ・イチローが大リーグでMVP
- ・原潜事故
- ・国内初の狂牛病
- ・自衛隊が海外で軍事支援



多摩美術大学
校友会・缶バッジ(2002)

2002年(平成14)

- ・モスクワで劇場占拠事件
- ・バリ島で爆弾テロ
- ・初の日朝首脳会談
- ・ユーロ現金流通開始
- ・中国警察、日本公館内で拘束
- ・ノーベル賞に小柴昌俊氏、田中耕一氏
- ・牛肉偽装事件相次ぐ



「キャラクター・コミュニケーション入門」角川書店

2003年(平成15)

- ・米・英軍がイラク攻撃、フセイン政権崩壊
- ・新型は胃炎SARS集団発生
- ・スペースシャトル、空中分解
- ・中国初の有人宇宙飛行
- ・韓国地下鉄放火192人死亡
- ・アメリカ・カナダで大停電
- ・北朝鮮、核拡散防止条約から脱退
- ・自衛隊を戦地へ派遣
- 「千と千尋の神隠し」にアカデミー賞



「The Washington Post」(アメリカ)

2004年(平成16)

- ・スマトラ島沖地震、インド洋津波
- ・アテネオリンピック
- ・ニューヨーク原油至最高値を更新
- ・新潟中越地震
- ・イラクで日本人が人質、被害者バッシング
- ・鳥インフルエンザ騒動
- ・景気回復
- ・中国特需
- ・年金不安
- 冬のソナタなど韓流ブーム



秋山孝の記録

●2001年(平成13)・49歳

- ・大宮市、閉市式において感謝状を受ける(大宮市)
- ・ニューヨークフェスティバル国際展2001・Finalist Award(アメリカ)
- ・個展:「秋山孝のポスター&扇子展」展示・トークショー(奈良)
- ・個展:「秋山孝の世界展2001・エコロジーとユーモア」(長岡・新潟県立近代美術館)
- ・個展:「秋山孝ポスター展」(関西文化芸術学院)
- ・出版:「新しいシルクスクリーン入門」共著・多摩美術大学校友会編(誠文堂新光社)
- ・広告博物館にポスターがコレクションされる(パリ・ルーブル・装飾博物館)
- ・講演:「上組小学校課外授業・学校は美術館」(長岡・新潟)
- ・講演:「多摩美術大学生涯学習プログラム特別講座・芸術と人生」
- ・パネリスト:秋山孝、岩倉信弥、佐藤見一、中森陽三(多摩美術大学)



東武動物公園・トッピー製作中(2002)



お米のたかさか(2002)



「秋山孝の世界展」
新潟県県央地域地場産業
振興センター別館



●2002年(平成14)・50歳

- ・上海応用技術学院(中国・上海) 終身客員教授となる
- ・長岡市より感謝状を受ける(新潟)
- ・米子市より感謝状を受ける(鳥取)
- ・個展:「Takashi Akiyama Posters 作品集出版記念展・秋山孝展」(銀座・Art Box Gallery)
- ・個展:「秋山孝のエコロジーブックアート展」(新潟・長岡・セントラル通りアーケード)
- ・出版:「キャラクター・コミュニケーション入門」(角川書店)
- ・出版:「Takashi Akiyama Posters-3」作品集(Art Box インターナショナル)
- ・「JAGDA Tokyo・学生の日」講師・JAGDA(リクルート)
- ・「夢工房」が終了し新工房ができる(～2004)
- ・新宿区下落合3丁目にアトリエ完成(2002～)



新宿区下落合3丁目新アトリエ

●2003年(平成15)・51歳

- ・個展:「秋山孝の世界展」(新潟・新潟県県央地域地場産業振興センター別館・三条・燕地域リサーチコア)
- ・個展:「秋山孝 長岡コレクション in やつお」(富山・坂のまち美術館)
- ・「MINI MINI MOTOR SHOW」(銀座・クリエイションギャラリーG8)
- ・「Icoagrada・世界グラフィックデザイン会議・名古屋・デザイン教育機関国際会議」パネルディスカッション(愛知・名古屋国際会議場)
- ・「作品交流展・上海応用技術学院・多摩美術大学」(中国国立上海図書館ギャラリー)
- ・講演:上海応用技術学院(中国・上海)
- ・シンポジウム:「日本デザイン学会50周年記念大会・デザイン学会・デザインに何が可能か」(東京芸術大学)
- ・「第5回 4th Block・国際エコロジーポスター&トリエンナーレ」(ウクライナ・クラコフ)国際審査員
- ・「The Washington Post Weekend 紙」(アメリカ)



第5回 4th Block国際審査員(ウクライナ・クラコフ)



●秋山孝の世界展

「秋山孝の世界展」を開催した燕三条にある新潟県県央地域地場産業振興センター別館リサーチコアのギャラリーは、上越新幹線三条駅から徒歩で5分位のところにあった。夏の稲穂がライトグリーンの輝きを見せて越後の風景の美しさと爽やかな風を感じながら歩いた。ほくの量みに入っている故郷の自然感だ。三条は亡くなった母親の故郷でもあったので多くの子供時代の昭和30年代を思い起こしながらだった。



Icoagrada・世界グラフィックデザイン会議(2003)

●2004年(平成16)・52歳

- ・個展:「ギャラリーピアザ・エコアート・秋山孝 エコポスター展」(原宿・ギャラリーピアザ)
- ・個展:「イラストレーション原画・秋山孝展」(銀座・アートボックスギャラリー)
- ・個展:「Takashi Akiyama Humor Illustration Poster in China」(上海・上海応用技術学院)
- ・個展:「Takashi Akiyama Humor Illustration Poster in China」(北京・清華大學美術學院)
- ・「ゴンプロヴィチ生誕100周年記念展」(ポーランド・ワルシャワ)
- ・「第8回テヘラン国際ポスタービエンナーレ2004」(テヘラン)
- ・「香港国際ポスタートリエンナーレ2004」(香港)
- ・「現代日本のポスター2004展」(中国・西安・陝西省美術展覧館)
- ・「第1回中国国際ポスタービエンナーレ」(中国・浙江省・杭州市)
- ・「OTOP-SME-BOT Made in Thailand」(タイ政府)講演と展示(タイ・バンコク)
- ・講義:「世界のイラストレーションを訪ねる」(東急セミナーBE渋谷)
- ・特別講演:「秋山孝のビジュアルコミュニケーション世界」日本熱電学会(湘南工科大学)
- ・卒業制作採点講評(桑沢デザイン研究所)
- ・生涯学習講座「芸術の意力」イラストレーションを見る楽しみ方(多摩美術大学)
- ・第1回出前アート大学・みんなの体育館を絵でかざろう多摩美術大学校友会(渋谷・渋谷区立本町小学校)
- ・ABC朝日放送ラジオ・ゲスト出演「アース・ドリーミング〜ガラスの地球を救え」
- ・「TECKNAREN (The Illustrator)特別号・挿絵画家」(スウェーデンイラストレーション協会)



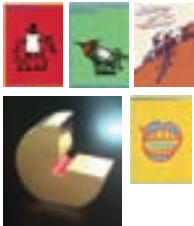
●個展「Takashi Akiyama Humor Illustration Poster in China」
ほくが初めて中国で行なう個展は2ヶ所で開催された。上海応用技術学院の芸術棟の落成記念のための記念展。北京の清華大學美術学院では、清華大學美術学院創立85周年記念のための記念展として開催された。

国内外の情勢

2005年(平成17)
 ・JR福知山線脱線事故
 ・耐震偽装発覚
 ・2月10日:北朝鮮が6者協議参加の無期限中断と核兵器の製造・保有を公式に宣言
 ・3月29日:スマトラ島沖地震が再び発生 死者1,000人以上

2006年(平成18)
 ・ジャバ島地震で死者約6000人
 ・北朝鮮がミサイル発射
 ・フェインに死刑判決
 ・韓国・ソウル大の黄教授、論文わづら
 ・胡錦濤・中国国家主席が初の公式訪米
 ・中国の外貨準備高が1兆ドル突破
 ・安倍内閣発足
 ・ライブドア事件で堀江貴文社長ら逮捕
 ・耐震偽装事件で姉崎秀次・元1級建築士ら逮捕
 ・村上ファンドの村上世彰代表を逮捕
 ・小泉首相の在任日数、戦後歴代3位

2007年(平成19)
 ・原油価格が高騰
 ・サブプライム問題表面化、世界的株安
 ・ミャンマーで長井健司さん射殺
 ・フランス大統領選でサルコジ氏が勝利
 ・アメリカで学生が銃乱射、32名死亡
 ・安倍首相退陣福田内閣発足
 ・「不二家」が洋菓子販売休止、老舗「赤福」など偽装相次ぐ
 ・「年金記録漏れ」5000万件判明
 ・新潟県中越沖地震
 ・民営郵政スタート
 ・長崎市長銃撃事件



グラフィック・ポスター・アニュアル2007 金賞(4個)(ニューヨーク・アメリカ)

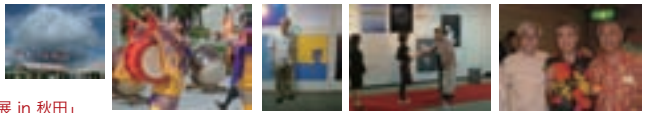


11月19日、直腸S状部ガン手術で、都立駒込病院・森武生院長に外科・開腹手術を受ける。



秋山孝の記録

- 2005年(平成17)・53歳
- ・中国新聞出版社・図書印刷・1等賞 (中国新聞出版社)
- ・個展:「秋山 孝のユーモア・イラストレーション・ポスター展 in 秋田」(秋田公立美術工芸短期大学・大学開放センターアトリエもさだ)
- ・出版:「秋山孝海报作品集(秋山孝ポスター作品集)」(中国・上海人民美術出版社)
- ・「47th Annual of American Illustration」展(アメリカ・Museum of American Illustration)
- ・「国際漢字海报邀請展」(台湾)
- ・「Finn Nygaard With Friends」展(デンマーク・The Danish Museum of Art & Design)
- ・「JAGDA Poster Exhibition 2005 - Water for Life-(生命の水)」JAGDA(沖縄)
- ・特別講演:「秋山孝のイラストレーション学」(秋田公立美術工芸短期大学・大学開放センター)
- ・講演:「Kyoung University美術大学」(韓国・Kyoung University)
- ・講演:美術大学、ゼロワンデザインセンター(国民大学校・アカデミージャングル、韓国)
- ・「秋山孝教授のイラストレーション学事始」連載(玄光社)

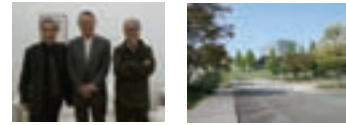


沖縄・JAGDA会議



●「秋田市民の皆様!!」秋田市長 佐竹 敬久
 秋田市は秋田公立美術工芸短期大学の開学10周年と付属高等学院の開校50周年の節目に、大学開放センター内に作品展示室を設置し、オープン記念事業を計画いたしました。世界中で活躍中の多摩美術大学教授の秋山孝先生をお招きし、イラストレーションの楽しさ、本物だけがもつ魅力について、市民の皆様へ伝えていただきたいと考えております。秋山先生には、講演会並びに作品展を開催していただく事にしております。秋田にいながら、秋山先生の作品に触れる機会には誠にございませんので、市民の皆様も是非この機会にご覧になり、イラストレーションの魅力を実感していただきたいと思っております。お待ちしております。

- 2006年(平成18)・54歳
- ・個展:「秋山孝ポスターinトヤマ『ポスターの街・とやま』(富山・元麻布ギャラリーTOYAMA)
- ・「日本のグラフィックデザイン巨匠展」The Cultural Centre in Zabki (ポーランド・ワルシャワ)
- ・「第1回国際ソーシャル - ポリティカルポスタービエンナーレ」(ポーランド・オシヴェンチム)
- ・「第6回ソウル-アジアグラフィックポスタートリエンナーレ」(韓国・ハンガム・デザイン美術館)
- ・「笑いをカチに・ユーモアポスター展・秋山孝xU.G.サトーx福田毅」展示・長岡デザインフェア(新潟県立近代美術館)
- ・特別講義:「文芸大学広報学科・情報表現・視覚言語」(神奈川・文教大学)
- ・「福田繁雄x秋山孝x福田毅トークショー」(新潟・長岡造形大学)
- ・「中国学生ポスター国際交流展 in 富山」展「ポスターの街・とやま」プロデュース(富山)
- ・「秋山孝教授のイラストレーション学原論」連載(玄光社)
- ・Alliance Graphique Internationale(AGI)招待(京都・東京)

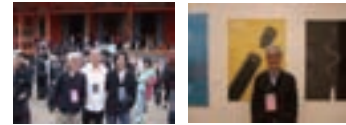


長岡デザインフェア

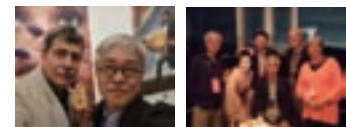


長岡デザインフェア

- 2007年(平成19)・55歳
- ・グラフィック・ポスター・アニュアル2007金賞(4個)(ニューヨーク・アメリカ)
- ・個展:「秋山孝展 ユーモア・イラストレーション・ポスター」(銀座・Art Box ギャラリー)
- ・個展:「秋山孝のイラストレーションポスター in 福島」(福島・元麻布ギャラリー福島)
- ・個展:「秋山孝エコロジーポスター展」(群馬・財団法人洞窟観音 山徳記念館)
- ・個展:「秋山孝イラストレーションポスター展 in 深圳」(中国・深圳)
- ・出版:「秋山孝海报作品集」作品集(中国・深圳・関山月美術館)
- ・「イラストレーター/それぞれの秋」展(ミヅラ・アート・プラザ)
- ・講演:「秋山孝のポスターデザイン」(中国・関山月美術館)
- ・講演:「学校法人高澤学園すいどーばた美術学院50周年記念」(池袋・自由学園 明日館)
- ・講演:「イラストスクール」(渋谷・スーパースタジオ)
- ・講演:「株式会社 竹尾 ギャラリートーク」(神田・株式会社 竹尾)
- ・講演:「大学で学ぶこと」(目黒・東京都立芸術高等学校)
- ・講演:「醸造の町撰田屋町おこしの会」(新潟・長岡市)
- ・特別講義:「新潟県中越地震ポスターデザイン支援プロジェクト」共同展示(東京工芸大学・中野校舎)
- ・「第1回中国イラストレーション展 深圳」審査委員(深圳・中国・関山月美術館)
- ・「全国消防イメージキャラクター・デザイン」審査委員(消防庁)
- ・「東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本」出品・プロデュース 主催:多摩美術大学(多摩センター・多摩美術大学美術館)
- ・「光州デザインビエンナーレ2007企画展・東方のイラストレーションポスター展 韓国・中国・日本」出品・プロデュース(韓国・金大中コンベンションセンター)
- ・直腸S状部ガン手術で、都立駒込病院・森武生院長に外科・開腹手術を受ける。



Alliance Graphique Internationale(AGI)



Alliance Graphique Internationale(AGI)

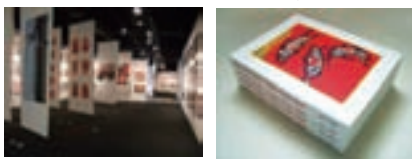


個展・元麻布ギャラリー福島

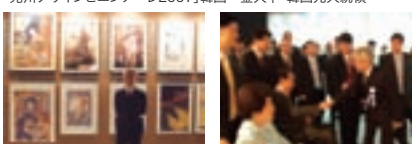
多摩美術大学70周年記念事業
 「東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本」展



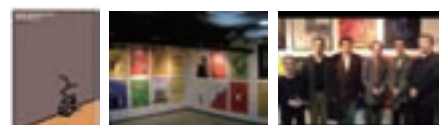
藤谷宣人・多摩美術大学理事長



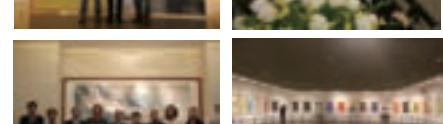
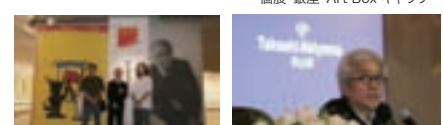
「光州デザインビエンナーレ2007」韓国 金大中・韓国元大統領



●東方のイラストレーションポスター展の報告書
 この報告書は、共同研究の成果としてまとめたレポートである。展覧会発表は、多摩美術大学美術館「東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本」(多摩美術大学創立70周年記念事業)と韓国の巡回展「光州デザインビエンナーレ2007」企画展「東方のイラストレーションポスター展 韓国・中国・日本」で行った。入場者総数は、多摩美術大学美術館では入館者3,009名、光州デザインビエンナーレ2007では、入場者251,220名であった。展覧会が巡回することの意義など国境を越えたということも含め、ある程度結果となったのではないかと考えられる。今後さらにこの展覧会が各地で企画展示されることを望んでいる。



個展・銀座・Art Box ギャラリー



●関山月美術館
 中国・深圳市中央部、蓮花山公園にある関山月美術館で「秋山孝イラストレーションポスター展 in 深圳」というタイトルの個展が2007年5月に開催された。秋山孝のイラストレーションポスター展で、約100点展示され、エコロジー、社会、文化、教育をテーマとしたポスターを一望するものである。関山月美術館は中国を代表する国画家、関山月の名をとった瀟洒な美術館だ。経済特区深圳市は、本土南部の広東省広州市と香港の間にある中国経済の最先端を走る鄧小平の政策で作られた都市である。

国内外の情勢

2008年(平成20)

- ・イージス艦が漁船と衝突
- ・北京オリンピック
- ・中国四川大地震
- ・中国製冷凍ギョーザ毒物検出
- ・原油高に物価高、「第3次オイル・ショック」
- ・福田首相辞任、麻生首相誕生
- ・秋葉原無差別殺傷事件
- ・岩手・宮城県地震
- ・イージス艦と漁船衝突
- 「崖の上のポニョ」大ヒット
- 赤塚不二夫氏死去



第10回メキシコ国際ポスタービエンナーレ (メキシコ)

2009年(平成21)

- ・米バラク・オバマ第44代大統領に就任
- ・北朝鮮が核実験、ミサイル発射
- ・メキシコで豚インフルエンザ感染拡大
- ・民主党小沢一郎代表を辞任、新代表に鳩山由紀夫
- ・裁判員制度がスタート
- 「つみきのいえ」アニメーション作品賞

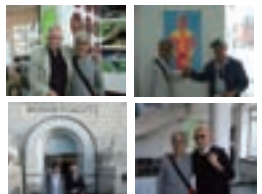
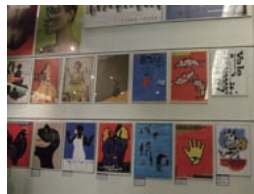
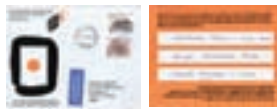


講演:「自分が選んだ道だから」(長岡・長岡商業高校)

秋山孝の記録

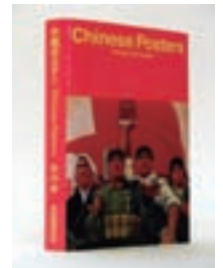
●2008年(平成20)・56歳

- ・中国・深圳、イラストレーション協会終身名誉会長の称号を受ける
- ・中国・深圳職業技術学院客員教授
- ・グラフィス・ポスター・アニュアル'08・09金賞(3個)(ニューヨーク・アメリカ)
- ・個展:「秋山孝・19冊の豆本展」(池袋・マルバギヤラリー)
- ・個展:「秋山孝メッセージポスター展 TOKI 1983 - 2008」(新潟・朱鷺メッセ)
- ・出版:「Chinese Posters」朝日新聞出版
- ・「Nipponia Nippon Poster Exhibition 2008」アートメッセージ展(新潟・朱鷺メッセ)
- ・「19世紀から21世紀へのポスターデザイナーへのオマージュ」(メキシコシティ・ハラッパ)
- ・第1回シカゴ国際ポスタービエンナーレ(シカゴ)
- ・第10回メキシコ国際ポスタービエンナーレ (メキシコ)
- ・「日本人作家の100点のポスター」(ハラッパ・メキシコ)
- ・「Society of Illustrators 50th Annual Exhibition」(アメリカ・ニューヨーク)
- ・「第2回国際ソーシャル・ポリティカルポスタービエンナーレ」展(ポーランド・オシヴェンチム)
- ・「第7回大垣国際招待ポスター展」(岐阜経済大学)
- ・「Ekoplagat'08」(チェコスロバキア・Museum of Arts in Zilina)
- ・「箔力展」日本図書設計家協会(竹尾 見本帖本店)
- ・講演:メキシコ Autonomia 首都大学・UAM(メキシコ)
- ・講演:「絵の言葉(イラストレーション・アートとは何か) / JIA Talk 2008」(社)日本建築家協会
- ・講演:「地震支援プロジェクト」東京工芸大学 中野校舎
- ・特別講義:大阪成蹊大学
- ・講義:「なぜ美術大学を受験するのか?」(東京・東京都立工芸高等学校)
- ・「Universiade Shenzhen 2011ポスターデザイン」審査委員(深圳・中国)
- ・「ビザ・オリンピック・オブ・イメージーション」審査委員、主催:読売新聞、ビザインターナショナル



●ポスターの街とやま

「ポスターの街とやま」は、ポスター文化を大切にし、ポスタートリエンナーレを24年間続けている世界に誇れる豊かな街だ。ポスターは人類がこれから考えたり、実行しなければならぬ重要な問題を人々に伝える機能を持っている。今回設置された、3基目のポスターギャラリー(ポスター塔)のメッセージイラストレーションポスターは、今回もシリーズとして、21世紀に解決しなければならぬ重要な問題「エコロジー」を取り上げた。富山の街から見える立山連峰は世界で最も美しい山々だ。そこからの恵みは計り知れない喜びと豊かな生活を与えてくれる。毎日暮らしているとその恵みは、当たり前前の出来事に思いがちだが、遠くからの訪問者にとってはその美しさに驚きと感動をもって驚嘆の声をあげる。タイトルはやはり「Thanks Mountain」だ。感謝の気持ちが湧き起こる。人間にとって自然が与える美の力は絶大なものだとならためて再認識する。



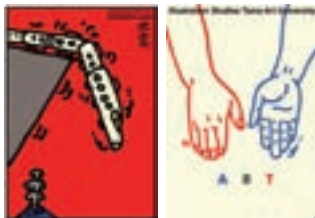
多摩美術大学授業・ポスター講評会(2009-06-12)



●「Chinese Posters」が、朝日新聞出版全国で発売
2008年10月30日に秋山孝著書「Chinese Posters」が、朝日新聞出版より全国で発売された。中国の建国初期から文化大革命期に制作されたポスターは、これまでほとんど美術研究の対象となっていなかった。そのことに疑問をもったことがきっかけで、2002年から6年間にわたって約300点のポスターを収集した。本の内容は、1949年中華人民共和国成立・1966年文化大革命を経て2008年四川大地震までの激動の中国現代史をポスターで見ることができる。

●沈黙の声

ポスターは、いったい何を語っているのだろうか。ポスターはメッセージを含んでいるビジュアル・コミュニケーション表現だ。大きな声で叫んではいない。ポスターは、音も出ない声も出ない静かにそこに佇んでいる「沈黙の声」である。だからこそ熟考した含みのある「沈黙の声」が響き渡っているのである。聞こえない人には全く聞こえない。目で聞こえる人だけが理解できる。だから視覚芸術と呼ばれる所以なのである。



・グラフィス・ポスター・アニュアル2010金賞(2個)(ニューヨーク・アメリカ)

●福田繁雄先生に捧げるオマージュ
「Homage Shigeo Fukuda」古今図案師似顔挿絵之図福田繁雄

Third International Biennial of Poster Bolivia
福田繁雄先生は日本の侍だ。彼は厳しき、静けさ、そしてユーモアを兼ね備えていた。東京藝術大学でぼくは福田先生から多くのことを教わった。(2009年1月11日、クモ膜下出血で逝去された)



●秋山孝ポスター美術館長岡が開館

2009年7月12日に「秋山孝ポスター美術館長岡」が開館する。秋山孝の出身地である新潟県長岡市に誕生する。美術館は歴史的建造物・旧北越銀行宮内支店を修復し、イラストレーションとポスターを国際的に研究し発信するポスター美術館となる。目的・必然性・内容を大切に展示を目指し、地元・小林虎三郎の教育精神を受け継いだ教育を大切に美術館である。「美術館大学」という名で年に5回の講演会を行う予定である。

「秋山孝ポスター美術館長岡」

運営委員会

館長： 秋山孝 (多摩美術大学教授)
会長： 豊口協 (長岡造形大学理事長)
副会長： 牧野忠昌 (長岡藩牧野家17代当主)
副会長： 高田清太郎 (高田建築事務所代表取締役社長)
幹事： 田上紘三郎 (田上商店社長)
幹事： 中村隆 (NPO法人藤造の町撰田屋町おこしの会・会長)
幹事： 高田勉 (高田事務所専務取締役)
幹事： 稲葉崇 (北越銀行宮内支店長)
監事： 宮下孝一 (NPO法人藤造の町撰田屋町おこしの会・副会長)

"Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka"

発行日 : 2009年7月11日
発行者 : 秋山孝
デザイン: 秋山孝・大河原一樹・中里寛
発行所 : 秋山孝ポスター美術館長岡
〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8
連絡先 : 秋山孝ポスター美術館長岡サポーターズ倶楽部 事務局
〒940-1105 新潟県長岡市撰田屋 5-6-22
(株式会社高田建築事務所内) TEL 0258-36-1230
印刷所 : 東銀座印刷出版株式会社
協力 : 多摩美術大学・秋山孝研究室イラストレーションスタディーズ
末房志野・御法川哲郎・高橋庸平・大河原一樹・中里寛・にしざかひろみ・大石晃裕

※無断で複写、複製および使用を禁ず。

© 2009 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

"Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka"

Date of issue : 2009.07.11
Publisher : Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan
Contact : 5-6-22 Settaya Nagaoka-city Niigata 940-1105 Japan
Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2009 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording,or by any information storage and system,without permission in writing from the publisher.

・かがり角背上製本/A4(天地297×左右210mm)／
・本文:OKブラナスホワイトAY60.5kg
・表紙:コート4/6Y110kg
・見返し:タント4/6Y100N-58
・花布:伊藤65、チップボール#32